

平成25年度

北栄町教育行政評価(内部評価)

事業評価シート

北栄町教育委員会

※評価は、次のとおりで行うこととします。

1. 事業が計画どおりできたか。
2. 事業の成果が計画どおり得られたか。
3. 事業を継続すべきか。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	1
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	認定こども園・保育所における保育・幼児教育に関する指導の実施							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	1 就学前教育の充実へのシステムづくり							
事業の目的・概要	<p>【目的】 充実した就学前保育・教育を推進していく。</p> <p>【概要】 各園(所)の保育・教育活動の現状や園経営上の成果と課題についてその実情を把握し、就学前保育・教育の充実に向けて支援する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ○職員の資質向上につながる。(個として、集団として)</p> <p>○保育教育内容の充実につながる。</p> <p>・ひとりひとりの子に十分な発達支援ができる。</p> <p>・職員、保護者、関係機関等が連携しながら、こどもの発達を保障する。</p>								
具体的な取り組み	<p>【町】 ○各園(所)が目標・研究テーマの設定を設け、具体的な取り組みを実施</p> <p>○園(所)内研修の実施</p> <p>○教育委員会による計画訪問 年2回</p> <p>○指導主事及び保育リーダーによる訪問指導等</p> <p>【外部】○各種講演会、研修会に参加</p> <p>○県教委による要請訪問の実施</p> <p>○外部評価の導入(評議委員会設置・保護者アンケート等)</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
	主な予算科目								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会による計画訪問 年2回 ・指導主事及び保育リーダーによる訪問指導 ・町幼児教育研究会(各部会・公開保育)への指導助言 ・園内研修(支援会議等)の指導助言 ・部長・副所長研修の企画・運営・指導助言 				
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 0		
	成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の充実を図ることにより、保育者一人ひとりの保育教育に対する意識の向上が見られる。 ・計画訪問等での教育委員会の指導が、日々の保育教育の内容に活かされている。 						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育総務課・福祉課・健康推進課・現場(保育所・こども園)の発達支援に係る連携の部分で、スムーズにいかない点もあるので、一つ一つ課題を洗い出し、改善をしていくことが必要である。 							
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の連携を密にし、より良い子どもに対する発達支援が実施できるよう実務者会議(仮名)を開催する。 ・指導主事・保育リーダーが連携しながら、訪問指導をすすめていく。 							
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会による計画訪問 年2回実施 ・指導主事及び保育リーダーによる訪問指導を実施 ・町幼児教育研究会(各部会・公開保育)への指導助言を実施 ・園内研修(支援会議等)の指導助言を実施 ・部長・副所長研修の企画・運営・指導助言を実施 ・就学指導を実施 ・園評価の実施と最終報告(評議委員会) 						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 0		
	成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の充実を図ることにより、保育者一人ひとりの保育教育に対する意識の向上が見られた。 ・計画訪問等での教育委員会の指導が、日々の保育教育の内容に活かされた。 						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各課との連携を密にし、子どもの成長・発達の保障を滑らかにつなげていける体制を構築する。 							
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・取組のさらなる充実を図る 							
内部評価	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の充実を図ることにより、保育者一人ひとりの保育教育に対する意識の向上が見られた。 ・計画訪問等での教育委員会の指導が、日々の保育教育の内容に活かされている。 					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	1
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	家庭の教育力アップ事業						今年のごと	チラシ等	
							P26	有 1	
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	3 親と子どもがともに育つ教育の充実						1-4	3-4
事業の目的・概要	<p>【目的】 子ども達が、生きる力の基礎となる基本的な生活習慣を身につけ、心身ともにたくましく、健やかに育つことができるよう、保護者等に向けた学習機会を提供する。</p> <p>【概要】 子育て学習講座の実施 「家庭教育12か条」「630運動」の推進</p>								
事業の効果	<p>【効果】 基本的な生活習慣の定着 親子のコミュニケーションを図る</p>								
具体的な取り組み	<p>子育て学習講座の実施(町内こども園・保育所(園))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりシートの実施 4月を「家庭教育推進月間」とした「家庭教育12か条」「630運動」の啓発(チラシ配布、広報誌、HP、放送) ・告知放送での子どもたちによるあいさつ呼びかけ運動に併せた家庭教育に係る啓発の実施 								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		回						
	開催回数		6						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		832	36					
	予算額(千円)		912	94	115				
	主な予算科目		報償費(謝礼) 消耗品 印刷製本	報償費(謝礼) 消耗品	報償費(謝礼) 消耗品				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	不参加の保護者に対し、いかに伝えるのかが課題である。	
	C	C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
	C	C							
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		回						
		子育て学習講座開催回数		4						
		事業費 (千円)	今年度予算額	115	今年度 決算見込額		差引	115【説明】		
		前年度決算額	36				36			
成果・効果	子育て学習講座において、保護者が「家庭教育12か条ふりかえりシート」を記入し、各家庭での生活習慣等を振り返り、具体的な目標を立てることを呼びかけた。 子ども達による告知放送の中、あいさつの後、12か条などメッセージを伝える。									
課題										
改善方針										
外部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	子育て学習講座の実施(町内こども園・保育所(園)) 4月を「家庭教育推進月間」とした「家庭教育12か条」「630運動」の啓発(チラシ配布、広報誌、HP、放送、児童・スポ少等による放送)								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位								
		子育て学習講座開催回数								
		事業費 (千円)	今年度予算額	115	今年度 決算見込額	27	差引	88【説明】講師謝金等26千円、消耗品		
		前年度決算額	36				36	1千円		
成果・効果	基本的な生活習慣の定着(講座、振り返りと目標設定) 親子のコミュニケーションを図る 町全体で「家庭教育12か条」「630運動」を認識(子ども達による告知放送であいさつと併せ実施)									
課題	講座に不参加の保護者への働きかけ									
改善方針	より関心のある講座内容 みんなが参加する雰囲気づくり 不参加者への資料配付と呼びかけ									
内部評価	評価	B	【意見等】ふりかえりシート配布 ・聞くことが主の講座から、行動につなぐきっかけづくりを行った。 子ども達による告知放送 ・子ども達の声であいさつに続き、メッセージを伝えることで、啓発をより素直に受け取り、より多くの方に知り、気づく機会の提供。							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	2
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	ブックスタート事業						今年のごと	チラシ等	
							P31	無	
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						その他共通ビジョン項目 6-8	
	具体的な目標	3 親と子どもがともに育つ教育の充実							
事業の目的・概要	<p>【目的】 地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆつくり心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる。</p> <p>【概要】 町の健康推進課が行っている乳児検診時に、図書館司書と読みきかせボランティアが出向き、ブックスタート事業の趣旨を説明した後、赤ちゃんとその保護者に読みきかせの実際を行う。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・目標－生後7ヶ月のすべての赤ちゃんに100%この事業が届けられること。これを機に、図書館利用につながる。</p> <p>・効果－事業を行うことで、絵本に無関心だったり図書館を利用したことがなかった保護者が図書館に来館され、利用者カードを作って本を借りられるようになった。また、おはなし会に参加されるようになった。</p>								
具体的な取り組み	<p>生後7ヶ月検診時に、一組一組の赤ちゃんと保護者に、絵本を開く時間の楽しさを体験してもらいながら、「赤ちゃん、すくすく幸せに育ってね」「地域みんなで子育てを応援していますよ」などのあたたかなメッセージを伝え、絵本を手渡す。また、おはなし会の開催や活動事業なども紹介し、利用促進を図る。その後、読みきかせボランティアによる絵本の読みきかせの実際を行う。保護者も一緒に、赤ちゃんのかわいい反応を見ながら、絵本の楽しさを体験してもらうことが、家庭でもそうした時間をもつきっかけになることを願う。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
	ブックスタートバック配布率		100%						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		116	125					
	予算額(千円)		116	125	89				
	主な予算科目		消耗品費	消耗品費	消耗品費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
			B						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
			C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		これまでの受診者への配布率		100%				
		事業費 (千円)		今年度予算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
				前年度決算額			0	
	成果・効果	ブックスタートを機に、図書館へ来館される親子がある。赤ちゃんコーナーやおはなし会を知っていただくきっかけとなっている。						
課題								
改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	対象児の赤ちゃんと保護者にブックスタート事業の趣旨説明を行い、ブックスタートパックを手渡した(12月末現在で87組の親子へ)また、絵本の読み聞かせも行った。館内のおはなし会への参加も呼びかけた。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		ブックスタートパック配布率		100%				
		事業費 (千円)		今年度予算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
				前年度決算額	89	89	125	
	成果・効果	ブックスタートを機に、図書館へ来館される親子がある。赤ちゃんコーナーやおはなし会を知っていただくきっかけとなっている。						
課題	この事業のフォローアップとして、館内で行っているおはなし会への参加を呼びかけたが、参加が伸びない。							
改善方針	来年度に向けて、子育て支援センターへ出前おはなし会を実施する予定である。また、「年齢別のおすすめ本」のリストも作成していく。							
内部評価	評価	【意見等】						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	3
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	お話し会の開催							今年のごと	チラシ等	
									無	
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	3 親と子どもがともに育つ教育の充実						6-8		
事業の目的・概要	<p>【目的】 小さい頃から絵本に親しみ、お話に集中することで、想像力や豊かな感性が芽生え、安定した心を育むことを目的に実施する。</p> <p>【概要】 館内-毎週日曜日に開催。昼のコーナーで親子に絵本の読みきかせを行う。 館外-こども園や保育所、小学校に毎月1回読みきかせに出かける。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 効果-ブックスタート事業の効果もあり、最近はおはなし会後に、保護者が赤ちゃん用の絵本や自分用の本を借りて行かれ、利用促進にもつながっている。</p>									
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・館内-図書館司書が、毎週日曜日午前10時30分から、来館者に放送等で声かけをし、おはなし会を開催。 ・児童コーナーの昼のスペースで、絵本の読み聞かせを行う。時間はおよそ30分程度。 ・館外-(大栄地区)大誠こども園、由良こども園、大谷保育所の3箇所に、毎月1回絵本の読み聞かせに出かけていく。 ・(北条地区)読み聞かせボランティア「つくしんぼ」が、毎月1回、北条こども園や北条小学校へ読み聞かせに出かけていく。 									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位									
	館内の参加者数		5名							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)									
	予算額(千円)									
		主な予算科目								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
			C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
			C							
※評価委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了							
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位								
		館内の参加者数		毎週2~10名						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0		
	成果・効果	館内のおはなし会は、日曜日の開催ということで、きょうだいで参加やお父さんの姿も見られている。8月に開催したぬいぐるみのおはなし会では、初めての来館者があったほか、おはなし会には29名(大人10人・子ども19人)もの参加者があった。ぬいぐるみに絵本を読み聞かせする子どもの姿も見られた。								
課題										
改善方針										
外部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	今年度から毎週日曜日午後10時30分からに変更。赤ちゃんコーナーの畳のスペースで、年齢に合わせておはなし会を開催。また、8月には新企画として「ぬいぐるみのおとまり会」を開催。好評につき、年度末の3月に再度開催予定。								
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位								
		館内の参加者数		毎週2~10名						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0		
	成果・効果	日時や回数を変更したこと、館内放送や呼びかけ等で、少しずつ参加者が増えつつある。								
課題										
改善方針	今後も広報周知を徹底し、より多くの方に参加してもらうよう努力する。									
内部評価	評価	C	【意見等】 赤ちゃん向けのおはなし会は、昨年まで隔週の水曜日を実施していたが、参加者が伸びなかったため、今年度からは赤ちゃん向け、幼児以上向けを問わず、毎週日曜日に開催するよう、日程と時間を変更した。また、広報周知を徹底し、より多く参加してもらうよう努力する。							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	4
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	学校給食の地産地消の取り組み							今年のごと	チラシ等	
								P22	無	
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	6 食育の充実								
事業の目的・概要	<p>【目的】 学校給食等への地元農林水産物の積極的な利用促進の推進により、子供達に郷土の農業、食の重要性に対する理解を深めさせ、ごはんを中心とした日本型食生活の普及を図るとともに、生産者の意欲向上と地産地消の推進を図る。</p> <p>【概要】 JA女性会との地産地消検討会を毎月実施し、野菜や果物、加工品等の供給量について協議を行う。それらを学校給食の献立に生かすことで、地元産の食材を多く使うことができる。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 ○地元産の食材を多く取り入れた献立を出すことで、子どもたちに旬や地域の産業について知らせることができる。その結果、自分たちが住んでいる地域のよさを知ることができ、ふるさとを愛する心を育てることができる。</p> <p>○食材の提供だけでなく、子どもたちとの交流給食などを行うことによって、食育の推進にもつながる。</p>									
具体的な取り組み	<p>○毎日…給食メッセージ(給食時放送原稿)で地元産食材の紹介</p> <p>○毎月…地産地消検討会(JA女性会・センター長・栄養士・調理員)</p> <p>○学期ごと…学校給食用食材の生産地別使用状況調査報告</p> <p>○1月(学校給食週間)…交流給食(JA女性会)</p>									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位									
	食材地産地消率		80%							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		-		-					
	予算額(千円)		-		-					
	主な予算科目		学校給食費 学校給食センター管理費		学校給食費 学校給食センター管理費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※評価委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・毎日の給食メッセージ(給食時放送原稿)で地元産食材の紹介、毎月の地産地消検討会は順調に実施中、1学期の学校給食用食材の生産地別使用状況調査報告は実施済み。 ・学校給食週間への取り組みは、3学期に予定のため未実施。			
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H24	H25		
		県内産使用率(1学期分)		79%	73%		
		事業費(千円)		今年度予算額	0	今年度	0
			前年度決算額	0	決算見込額	0	差引
成果・効果	地元産の食材を多く取り入れた献立を出すことで、子どもたちに旬や地域の産業について知らせることができる。その結果、自分たちが住んでいる地域のよさを知ることができ、ふるさとを愛する心を育てることができる。						
課題	野菜の規格が不均一、良質でないもの、加工品で異物の混入した物もあり、調理が順調に進まないことがある。 地産地消率は重量で決まるが、猛暑のため大根など重量のある物が不作だった。						
改善方針	北条、大栄地区に出向き、規格の確認と留意事項を確認した。加工品は特に目視を気を付けてもらう。センターの手間ではなく、配送時間に間に合わなければ児童生徒に迷惑がかかることを強調する。						
外部評価	予算編成に対する意見	・農業・食の重要性はどう定着されているか。目的に掲げる以上何か図るものが必要ではないか。⇒尺度や具体的なものはなし。H26民営化後、食育に専念する。その時には尺度を決めたい。 ・食生活がどう変化があったかアンケートをしてはどうか。					

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・毎日の給食メッセージ(給食時放送原稿)で地元産食材の紹介、毎月の地産地消検討会は順調に実施できた。 ・1月24日～30日の給食週間には地元生産者と小学生との交流給食や、中央公民館での展示に地元生産者の作品も展示して、生産者と児童・生徒の距離を縮めることができる。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H24	H25		
		県内産使用率(1学期分)		79%	73%		
		県内産使用率(2学期分)		75%	79%		
			事業費(千円)	今年度予算額	0	今年度	0
		前年度決算額	0	決算見込額	0	差引	0
成果・効果	地元産の食材を多く取り入れた献立を出すことで、子どもたちに旬や地域の産業について知らせることができる。その結果、自分たちが住んでいる地域のよさを知ることができ、ふるさとを愛する心を育てることができ、「食」の大切さや感謝の気持ちを育めた。1学期は天候の関係で地元産・県内産の利用が減ったが2学期は優先するよう気をつけた。						
課題	・地元生産者とも会合を持ち、野菜の規格を改めて共通認識したが、やはりその時の天候に左右されやすい。センターも各圃場の見学を計画していたが、時間がなくてできなかった。 ・加工品の異物混入があった。地元生産者の高齢化に伴い、町内産加工品の確保が難しくなる。 ・発注ミス等がある。						
改善方針	・地元生産者には露地ものより、安定しているハウス栽培の作物で計画的に耕作してもらうようにする。 ・加工品の保管管の衛生管理を徹底してもらう。 ・万が一異物混入が発生した場合は、原因解明と今後の改善策を明確にしてもらう。 ・発注ミスがないよう電話のみのやり取りではなくファクシミリを必ず使用する。						
内部評価	評価	【意見等】 地元産の食材を多く取り入れた献立を出すことで、子どもたちに旬や地域の産業について知らせることができた。 1学期は天候の関係で地元産・県内産の利用が昨年より減ったが2学期は優先するよう気をつけた結果、増加した。					
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	5
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	小中学校における栄養職員による食育の実施							今年のごと	チラシ等
								P22	無
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	6 食育の充実							
事業の目的・概要	<p>【目的】 児童生徒に食に関する指導を行うことにより、「食に関する知識」「食を選択する力」「望ましい食習慣」を家庭や地域と連携しつつ身に付けさせ、健全な食生活を実践することができる人間を育てることが大きな目的である。</p> <p>【概要】 学校給食を生きた教材とし、給食を通して「食に関する知識」「食を選択する力」「望ましい食習慣」を身につけさせる。学校との連携をはかり、全体計画を立てて指導を行う。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ○児童生徒が食に対して興味関心を持ち、食に関する正しい知識や選択する力を持つことができる。</p> <p>○計画的に指導を行うことで、児童生徒の健康や食に対する興味関心が高まり、残菜を減らすことができる。</p> <p>○朝食欠食率の低下につながる</p>								
具体的な取り組み	<p>○食に関する指導の全体計画を作成する</p> <p>○給食訪問を行い、給食を教材として指導を行う(全クラス)</p> <p>○学校と連携し、学級活動等で食に関する指導を行う</p> <p>○試食会において保護者への食育についての講話を行う</p> <p>○献立表、給食だよりを通して家庭への食育を推進する</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		通年						
	給食時学級訪問								
	学級活動食育指導								
	給食だよりの発行		毎月発行						
事業費	試食会での講話		年3回						
			H23		H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)				—	—			
	予算額(千円)				—	—			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	給食たよりは毎月発行している。試食会の講和も依頼のあった学校にはすべて実施した。食育の指導を栄養士の本務校(北条小)は全学年実施済。今後、大栄小・北条中・大栄中とこども園の実施予定あり					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		全学年	全学年				
		食育指導(北条小)		実施済	10月2回目実施予定				
		食育指導(大栄小)		現在実施中					
		食育指導(北条中)		文化祭終了後予定					
食育指導(大栄中)		調整中							
事業費 (千円)		今年度予算額	0	今年度 決算見込額	0	差引	0	【説明】予算措置なし	
前年度決算額		0							
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が食に対して興味関心を持ち、食に関する正しい知識や選択する力を持つことができる。 計画的に指導を行うことで、児童生徒の健康や食に対する興味関心が高まり、残菜を減らすことができる。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、センターの予定などで、調整が取りづらい。 								
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にも食育指導をして、関心を持ってもらう。 今以上に学校と連携を持つ。 								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	給食たよりは毎月発行している。試食会の講和も依頼のあった学校にはすべて実施した。食育の指導を栄養士の本務校(北条小)は全学年実施済。こども園の保護者対象の講演会は実施済で、子どもたちへの食育指導は2月以降に実施する。毎月各学校の給食主任と献立検討会を実施して連携が取れ、学校への周知が徹底できた。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		1回	2回目	3回目	家庭科指導	保護者対象講演
		食育指導(北条小)		実施済	実施済	実施中		実施済
		食育指導(大栄小)		実施済			実施済	実施済
		食育指導(北条中)		実施済				
食育指導(大栄中)		2月に実施予定						
事業費 (千円)		今年度予算額	0	今年度 決算見込額	0	差引	0	【説明】予算措置なし
前年度決算額		0						
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が食に対して興味関心を持ち、食に関する正しい知識や選択する力を養う。 食育指導を行うことで、児童生徒の健康や食に対する興味関心が高まり、残菜を減らすことができた。 こども園は保護者に講演会を実施し、園児には2月に食育指導を行う予定である。 							
課題	<ul style="list-style-type: none"> 食育指導にあまり出られなかった。 							
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 各学校に食育指導が実施できるよう年間計画をたてる。できれば1校集中ではなく、曜日ごとに学校を決めて回るようにして、学校、センターとも「食育指導」を定着させたい。食育指導の後は、残菜が減る傾向があるなど指導の効果もあるので、今年度より回数を増やしたい。 							
内部評価	評価	【意見等】年度中途からセンターの栄養士加配職員が病休となり、一部、計画どおりの食育指導が出来なかった。						
	D							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	6
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	民間委託(一部業務)への円滑な移行						今年のごと	チラシ等
							P22	無
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域					その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	6 食育の充実						
事業の目的・概要	<p>【目的】・調理業務の委託の目的は、民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、柔軟な勤務時間などによる業務効率の向上による経費節減の効果と、調理業務を委託することにより、従来事務職が行っていた、調理職員管理業務(賃金計算、休暇に伴う代替対応など)が削減される事による事務軽減で、事務職員、栄養士らが給食センター管理運営業務、食育の推進、アレルギー対応、献立内容の充実、安全・衛生管理の一層の推進を図る。</p> <p>【概要】・町が献立の作成、食材の購入、調理の指示、調理物の検査を行い、調理作業、配缶作業、洗浄・消毒・保管作業、清掃作業などを民間業者に委託する。</p>							
事業の効果	<p>【効果】◆食育 近年、児童・生徒の食生活においては、偏食、朝食欠食、偏った栄養摂取などによる食生活の乱れ、肥満傾向の増加などが指摘されている。これらの課題を解決するための食育が推進できる。</p> <p>◆アレルギー対応、献立内容の充実 学校給食においては、献立内容の充実、地産地消の推進による安全な食材の使用、近年増加傾向、多様化する食物アレルギーのある児童・生徒へのよりきめ細かな対応が推進できる。</p> <p>◆安全・衛生管理の徹底 センター長、学校栄養士により安全・衛生管理の徹底により安全で安心な給食の提供が図れる。</p> <p>◆給食業務全般のコスト削減・効率的運営 センター全体の管理運営の徹底、給食費徴収の促進が図れる。</p>							
具体的な取り組み	<p>《今後のスケジュール》</p> <p>5月……………町議会全員協議会説明・学校給食会総会説明</p> <p>6月……………6月議会・債務負担行為の計上・北条校区・大栄校区において保護者・PTA説明会開催</p> <p>7月～8月……業者公募・説明会(業者選定方式の検討 公募型プロポーザル方式)</p> <p>9月～10月…業者選定・契約</p> <p>11月～ 3月…業者準備・業務引継ぎ</p> <p>4月……………委託業務開始</p>							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位	7月～8月	9月～10月	4月				
	業者公募・説明会							
	業者選定・契約 業務開始							
事業費	決算額(千円)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	予算額(千円)		38,748	39,923				
	主な予算科目		学校給食費 学校給食センター管理費	学校給食費 学校給食センター管理費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

平成26年度から実施する調理業務等を民間委託するために公募方式で参加事業者を募る。募集要項を公示。町ホームページにアップさせた。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了								
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H25							
		8/21第1回選定委員会開催		9/10参加							
		9/20公示・要綱等公表		実施済							
		事業費(千円)		今年度予算額	30,000	今年度					
		前年度決算額	0	決算見込額	30,000	差引		0	【説明】		
								0			
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の充実、アレルギー対応の充実、安全衛生管理の徹底、民間のノウハウを生かした、効率的な経営。 										
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の職員の雇用。検収体制の確立。異物混入の事故防止と対応。女性会の品質向上。 										
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・業者の検収時間を午前中に限定するよう協議する。 										
外部評価	予算編成に対する意見										

(3) 最終評価

事務局	事業実績	平成26年度から実施する調理業務等を民間委託するために公募方式で参加事業者を募る。募集要項を公示。プレゼン・選定委員会を経て、業者を選定し契約書を交わした。現在引継ぎ作業中。									
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H25							
		10/4現地説明会		4社参加							
		10/22プレゼン・第2回選定委員会		3社参加・委員全員出席							
		12/6契約書の締結		実施済							
		引継ぎ協議		12月中旬から実施中							
		事業費(千円)	今年度予算額	30,000	今年度						
			前年度決算額	0	決算見込額	16,000	差引	14,000	【説明】		
								0	業者選定委員会報償費(2回)		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の充実、アレルギー対応の充実、安全衛生管理の徹底、民間のノウハウを生かした、効率的な経営。 ・地産地消の推進。 										
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現地採用者の優先。検収体制の確立。異物混入の事故防止と対応。女性会の品質向上。 ・余裕のある調理設備管理を実施するために、こども園の稼働日を年間3日くらい休業としたい。 										
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・業者の検収時間を午前中に限定するよう協議する。 ・こども園と協議し理解を得たい。 										
内部評価	評価	【意見等】保護者、関係者、議会等の説明了解を得てスケジュールどおり進行しており、受託業者とは4月からの円滑な業務委託のために調整をしている。									
		C									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	7
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	同日公開参観日							今年のごと	チラシ等		
								有	2		
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域							その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	7 地域で育てる教育の充実									
事業の目的・概要	<p>【目的】 町民に、子ども園での生活や遊び、学校での学習場面での様子を知っていただくため。</p> <p>【概要】 年2回、町内の全保育所・こども園、小学校中学校を1日公開する。誰でも好きな時間に参観することができる。</p>										
事業の効果	<p>【効果】 ○自分の子どもの学習の様子だけでなく、学校全体の施設や子どもちの様子を見ることができる。</p> <p>○地域の専門家やゲストティーチャーを迎えての授業、小学校の外国語活動の様子など、子どもたちの様々な学びの様子を見ていただける。</p>										
具体的な取り組み	<p>○広報活動を行い、多くの町民に参観していただけるようにする。</p> <p>・広報「北栄」、TCC文字放送・データ放送、町告知放送、チラシ、町のホームページ等。チラシは、自治会長会、民生委員会でも配布し、広く呼びかける。</p> <p>○アンケートを実施してまとめ、結果をその後の園や所、学校の取り組みに活かす。</p>										
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位										
	参観者総数		1200名								
		うち、地域の方		180名							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28			
	決算額(千円)		0	0							
	予算額(千円)		0	0	0						
	主な予算科目										
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28				
		B	B								
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28				
		C	C								
※評価委員記入欄 事業メモ											

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	同日公開参観日 公開施設: とも園・保育所・小学校・中学校 期日: (春)平成25年6月11日 (秋)平成25年10月11日 周知: 町報、ホームページ、チラシ、ケーブル放送、町内放送			
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H22	H23	H24	H25
		参観者総数/名		前980・後1162	前1077・後1127	前1527・後1315	前1520・
		合計/名		2142	2204	2842	
		うち、地域の方/名		-	-	後197	前292
合計/名		-	-	-			
事業費 (千円)		今年度予算額	今年度	差引	0【説明】		
		前年度決算額	決算見込額		0		
成果・効果	多くの方が参観し、所・園や学校の様子、様々な場面での子どもたちの様子を知る機会になっている。所・園では、保育のねらいと活動を書いたチラシを作成し配布した。アンケート項目の評価Aが大幅に増えたことから、就学前保育・教育について理解が進んできたと考えられる。						
課題	昨年は、後期の参観者数が前期よりも200名減った。前期同様、多くの方に参観していただき、子どもの成長の様子を見ていただけるようにすること。						
改善方針	同日公開参観日のチラシに、参観の視点を加える。						
外部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	同日公開参観日 公開施設: とも園・保育所・小学校・中学校 期日: (春)平成25年6月11日 (秋)平成25年10月11日 周知: 町報、ホームページ、チラシ、ケーブル放送、町内放送					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H22	H23	H24	H25
		参観者総数/名		前980・後1162	前1077・後1127	前1527・後1315	前1520・後1409
		合計/名		2142	2204	2842	2929
		うち、地域の方/名		-	-	後197	前292後162
合計/名					454		
事業費 (千円)		今年度予算額	今年度	差引	0【説明】		
		前年度決算額	決算見込額		0		
成果・効果	保護者及び地域の多くの方に参観していただくことができ、所・園や学校の様子、様々な場面での子どもたちの様子を知っていただく機会になっている。後期の参観者が、昨年よりも100名近く増えた。アンケートの結果を職員で共有し、より良い取り組みにつないだ。						
課題	地域の方に前期も後期も見ていただき、子どもたちの成長の様子を見ていただくこと						
改善方針	同日公開参観日のチラシに、参観の視点を加える						
内部評価	評価	【意見等】 家庭や地域と連携して子どもを育てていくためにも、今後も続けていく。子どもから地域への発信をしていくことにより、より多くの地域の方の参観が得られるのではないかと					
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	8
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	自治会等地域での学習活動支援事業							今年のごと	チラシ等					
教育ビジョン	小項目	1 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭や地域						P19	有 3					
	具体的な目標	7 地域で育てる教育の充実						その他共通ビジョン項目 2-1						
事業の目的・概要	<p>【目的】「地域の子どもたちは地域で育てる」環境づくりの推進と児童生徒が計画的な生活習慣や自ら取り組む学習姿勢の定着を図りながら地域への愛着心や社会性を身につける。</p> <p>【概要】自治会や地域の有志が、長期休業中に自治公民館等で地域の児童生徒を対象に実施する学習活動を消耗品等を支給することにより活動の運営を支援する。</p>													
事業の効果	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が、「地域の子どもたちを育てる」環境づくりが図れる。 ・児童生徒は、規則正しい生活習慣や自ら取り組む学習姿勢の定着が図れる。 ・児童生徒の地域への愛着心や社会性が身に着くとともに将来の地域貢献が期待できる。 ・町は、支援事業の継続・拡大に取り組み、町内全体への波及を効果を目指す。 													
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度：3団体支援(予定) ・支援方法：運営に係る消耗品等の支援⇒上限1万円の現物支給支援(年間1回限り) ・対象：長期休業中(夏休み、冬休み等)に自治会や地域有志が地域の小・中学校児童生徒を対象に行う学習活動 ・募集方法：自治会長・地域座談会・学校PTA・教育懇話会PR、ホームページ・町報掲載 													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25		H26									
	支援団体(自治会等)		3											
		※ 町内63自治会												
事業費			H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	決算額(千円)		-		-		30							
	予算額(千円)		-		-		30							
		主な予算科目						消耗品費						
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※評価委員記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	夏休み期間中の事業は完了:4自治会へ支援 ※自治会長、学校PTA、町ホームページで周知 冬休み及び春休み:実施予定								
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25								
		支援団体(自治会等)		3	⇒	4						
	事業費 (千円)		今年度予算額	40	今年度 決算見込額	30	差引	10	【説明】夏休み:4自治会:消耗品費 0/29,324円			
	前年度決算額		0									
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 町内63自治会中4自治会を支援し、町内地域における学習活動の取り組みを推進した。 児童生徒の計画的な生活習慣の定着、自ら学習に取り組む姿勢、地域への愛着心を図った。 地域住民が地域の子どもたちを育てる環境づくりの推進を図った。 											
課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治会における事業取り組みの継続 63自治会への事業の広がり 事業における取組内容や期間、支援教材費等の不明確化による申請への迷い 											
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「内容を見直して継続」 今年度事業を振り返り、支援事業への要件(内容、期間等)の明確化を図る。 支援した自治会への事業継続の仕掛けを図る。 											
外部評価	予算編成に対する意見											

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中:4自治会へ支援 ※自治会長、学校PTA、町ホームページで周知 冬休み期間中:実施なし 春休み実施希望者に対し受け入れ対応予定 										
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25								
		支援団体(自治会等)		3	⇒	4						
	事業費 (千円)		今年度予算額	40	今年度 決算見込額	30	差引	10	【説明】夏休み:4自治会:消耗品費 0/29,324円			
	前年度決算額		0									
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 町内63自治会中4自治会を支援し、町内地域における学習活動の取り組みを推進した。 児童生徒の計画的な生活習慣の定着、自ら学習に取り組む姿勢、地域への愛着心を図った。 地域住民が地域の子どもたちを育てる環境づくりの推進を図った。 											
課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治会における事業取り組みの継続 63自治会への事業の広がり 実施検討者の事業における取組内容や期間、支援教材費等の不明確化による申請への迷い 											
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ●「内容を見直して継続」 今年度事業を振り返り、支援事業への要件(内容、期間等)の明確化、取り組みやすい内容とする。 支援した自治会への事業継続の仕掛けを図る。 未実施自治会等への取り組みを推進する。 											
内部評価	評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で子どもを育てる環境づくりのきっかけづくりとなった。 子どもたちが地域や地域の方への愛着や感謝を感じる事ができた。 全町へ取り組みが広がるような内容検討が必要である。 										

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	9
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	職場体験学習(ワクワク)						今年のごと	チラシ等	
							P22	有 4	
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	1 地域との連携を深め特色ある教育活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 職場体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを学ぶ。また、そのことを今後の進路について考えることに役立てる。</p> <p>【概要】 事業所において、4日または5日間の職場体験実習を行う。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを学ぶことができる。</p> <p>・自分の能力や特性を発見・理解することにつながる。</p> <p>・社会の一員としての自覚をもち、社会の規律やマナーを学ぶことができる。</p>								
具体的な取り組み	<p>○事前指導 ・目的、心構え ・電話のかけ方 ・日誌、名札等</p> <p>○職場体験学習(4日または5日間) 北条中 7/2~7/5 大栄中 6/17~6/21</p> <p>○事後指導 ・まとめ</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25				
	職場体験実施日数(北条中)/日		4	4	目標 4				
	職場体験実施日数(大栄中)/日		5	4	目標 5				
	事業所数(北条中)/事業所		12	37	目標 38				
事業所数(大栄中)/事業所		21	28	目標 29					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		101	121	114				
	予算額(千円)		144	132	126				
	主な予算科目		保険料	保険料	保険料				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	<p>・受け入れ事業所を増やしていく必要がある。</p> <p>・子どもの意欲があまり感じられないとの声を各事業所から聞くことがある。取り組みとしては良いが、方法として生徒自身が、自分で体験したい職場を考え、自分でお願ひしに行くとか。(他の学校で取り組んでいる)</p>	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	<p>・保護者に新たな事業所を紹介してもらったり、商工会へ協力を要請したりして、事業所の拡充に努めた。</p>	
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み	予定通り実施				
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25		
		職場体験実施日数(北条中)/日		4	4	4		
		職場体験実施日数(大栄中)/日		5	4	5		
		事業所数(北条中)/事業所		12	37	26		
		事業所数(大栄中)/事業所		21	28	31		
	事業費(千円)	今年度予算額	126	今年度決算見込額	114	差引	12	【説明】
	前年度決算額	121				121		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを学んだ。 自分の能力や特性を発見・理解することにつながった。 社会の一員としての自覚をもち、社会の規律やマナーを学んだ。 							
課題	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ事業所を増やしていく必要がある。 							
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 商工会との連携、保護者の協力を得て受け入れ事業所を増やしていく。 							
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	職場体験学習を北条中 7/2~7/5(4日間)、大栄中 6/17~6/21(5日間)実施した。 事前学習や事後の指導も行った。 (目的、心構え、電話のかけ方、日誌や名札等の作成、お礼状の書き方)						
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25		
		職場体験実施日数(北条中)/日		4	4	4		
		職場体験実施日数(大栄中)/日		5	4	5		
		事業所数(北条中)/事業所		12	37	26		
		事業所数(大栄中)/事業所		21	28	31		
	事業費(千円)	今年度予算額	126	今年度決算見込額	114	差引	12	【説明】
	前年度決算額	121				121		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを学んだ。 自分の能力や特性を発見・理解することにつながった。 社会の一員としての自覚をもち、社会の規律やマナーを学んだ。 							
課題	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ事業所を増やしていく必要がある。 							
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 商工会との連携、保護者の協力を得て受け入れ事業所を増やしていく。 							
内部評価	評価	C	【意見等】 学校内では学べないことを体験を通して学ぶことができている。					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	10
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	サマースクール(夏休み小学生勉強会)						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども					P19	有 5
	具体的な目標	1 地域との連携を深め特色ある教育活動の推進					その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】小学生が夏休みにおいて、学習習慣を持続させるとともに、講師のアドバイスや指導を受けることで学習内容や学習方法を学び、意欲を持って学習に望めるようにする。</p> <p>【概要】小学生の夏休み期間中の勉強会を1日あたり1時間30分、計10日間実施する。</p>							
事業の効果	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣を持続させる。 ・学習内容や学習方法を学び、意欲を持って学習に望める。 ・地域の人と交流することができる。 							
具体的な取り組み	<p>対象:小学校児童 期日:7月24日~26日、7月30日~8月2日、8月6日~8日 計10日間 午前10時~11時30分 場所:北条地区は中央公民館大研修室、大栄地区は図書館研修室・AV室 講師:教職経験者、大学生 内容:各児童が学習教材を準備して学習をすすめ、質問があれば講師に訊く。 講師は、児童の質問に答えたり、様子を見て、適宜、助言や指導をしたりする。</p>							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H24		H25			
	参加児童数/延べ 人		191		目標 200			
	参加講師数/人		9		目標 10			
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)		170	91	71			
	予算額(千円)		500	228	140			
	主な予算科目		報償費 需用費	報償費 需用費	報償費			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
		C	B					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
		C	C					
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日数 9日(10日を予定していたが、8月1日は大雨のため中止) ・指導者11人の内1人は大学生 ・申し込みが、会場の定員をかなり上回ったため、学年ごとに参加日を指定して定員以下の人数で実施。 					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H24	H25				
		参加児童数/延べ 人		191	420				
		参加講師数/人		9	11				
	事業費 (千円)		今年度予算額	140	今年度				
		前年度決算額	91	決算見込額	71	差引	69【説明】	91	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣を持続させることに役立った。 ・学習内容や学習方法を学び、意欲を持って学習に望むことにつながった。 ・地域の人と交流することができた。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申込者数が会場の定員をかなり上回った。 								
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・会場確保をする。 								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日数 9日(10日を予定していたが、8月1日は大雨のため中止) ・指導者11人の内1人は大学生 ・申し込みが、会場の定員をかなり上回ったため、学年ごとに参加日を指定して定員以下の人数で実施 							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H24	H25				
		参加児童数/延べ 人		191	420				
		参加講師数/人		9	11				
	事業費 (千円)		今年度予算額	140	今年度				
		前年度決算額	91	決算見込額	71	差引	69【説明】	91	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣を持続させることに役立った。 ・学習内容や学習方法を学び、意欲を持って学習に望むことにつながった。 ・地域の人と交流することができた。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申込者数が会場の定員をかなり上回った。 								
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・会場確保をする。 								
内部評価	評価	【意見等】	児童生徒の参加希望をすべてかなえることができなかったのは、残念である。						
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	11
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	ゲストティーチャー招聘(地域人材の活用)							
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども					今年のごと	チラン等
	具体的な目標	1 地域との連携を深め特色ある教育活動の推進					P22	有 6
事業の目的・概要	【目的】 地域の人とかかわりあいながら、よりよく生きようとする態度を養う。 【概要】 地域の人材を招いての授業や総合的な学習等を行う。							
事業の効果	【効果】 ・身近な人の生き方に学ぶことができる。 ・地域の一員であるという自覚がうまれる。 ・地域の活動に参加しようという意欲につながる。							
具体的な取り組み	○中学校 ・運動部外部指導者(国10/10・県:1/2事業) 指導者研修1回、謝金:上限10万円(目安:38回分) ・社会人に学ぶ授業の講師 ○小学校 ・クラブ活動の指導 ・ほうじょうっ子ふれあいフェスティバル							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23		H24		H25	
	運動部外部指導者数/人(北条中)		3 国2		4 国1		4 国1	
	運動部外部指導者数/人(大柴中)		3 県4		4 県7		4 県7	
	指導:講座・人(北条小)		24 65		24 59		24 60	
指導:事業・回数・人(大柴小)		3 12 45		3 12 43		3 12 42		
事業費			H23		H24		H25	
	決算額(千円)		586(町186)		798(町348)			
	予算額(千円)		610		842		835(町385)	
	主な予算科目		保険料、研修参加旅費、謝金(国200、県200)		保険料、研修参加旅費、謝金(国100、県350)		保険料、研修参加旅費、謝金(国100、県350)	
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
		C	B					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
		C	C					
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の運動部外部指導者による指導は実施中。 大栄中バレーボール指導者: 出産のため辞退(後任なし) ・小学校のゲストティーチャー招聘は実施中。 ・北条小のほうじょうっ子ふれあいフェスティバルについては、本年度より中止。 					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25			
		運動部外部指導者数/人(北条中)		3 国2	4 国1	4 国4			
		運動部外部指導者数/人(大栄中)		3 県4	4 県7	2 国2			
		指導: 講座・人(北条小)		24 65	24 59				
		指導: 事業・回数・人(大栄小)		3 12 45	3 12 43	3			
事業費(千円)		今年度予算額	今年度決算見込額		差引	0	【説明】	0	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の生き方に学ぶことができる。 ・地域の一員であるという自覚がうまれる。 ・地域の活動に参加しようという意欲につながる。 								
課題									
改善方針									
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の運動部外部指導者による指導 大栄中バレーボール指導者: 出産のため辞退(後任なし) ・小学校のゲストティーチャー招聘を実施 ・北条小のほうじょうっ子ふれあいフェスティバルについては、本年度より中止 							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25			
		運動部外部指導者数/人(北条中)		3 国2	4 国1	4 国4			
		運動部外部指導者数/人(大栄中)		3 県4	4 県7	2 国2			
		指導: 講座・人(北条小)		24 65	24 59	0			
		指導: 事業・回数・人(大栄小)		3 12 45	3 12 43	3 14 182			
事業費(千円)		今年度予算額	今年度決算見込額		差引	0	【説明】	0	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の生き方に学ぶことができた。 ・地域の一員であるという自覚につながる体験ができた。 ・地域の活動に参加しようという意欲につながる体験ができた。 								
課題	北条小のほうじょうっ子ふれあいフェスティバルが大きい事業であったが、本年度より実施しないことになった。日頃の道徳や特別活動にゲストティーチャーを招聘しており、これらの取組を来年度は指標に上げる必要がある。								
改善方針	北条小の指標を変更していく。								
内部評価	評価	【意見等】各学校において、計画に従って実施された。							
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	5
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	転入教職員の町内めぐり							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	2 地域文化とのふれあいを深める教育の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】・北栄町のよさを知るとともに関心を持ち、北栄町を好きになるきっかけとする。 ・児童生徒が北栄町を好きになるために、授業や活動等を考える際の参考にする。</p> <p>【概要】 転入職員が、児童生徒が生まれ育った北栄町の歴史・文化などに触れる</p>								
事業の効果	<p>【効果】 北栄町について興味関心を持つきっかけになる。 子どもや保護者と話すきっかけになる。 授業づくりや授業展開等の参考になる。</p>								
具体的な取り組み	町のマイクロバスで、鳥取藩由良藩倉跡、由良台場跡、北条砂丘風力発電所、山菜の里、北条八幡宮、北条歴史民俗資料館を見学する。(史跡の案内は生涯学習課、「北条砂丘風力発電所」の説明は、地域整備課) また、車窓よりラッキョウ選果場、ラッキョウ畑、ブドウハウス、スプリンクラー、青山剛昌ふるさと館、日置黙仙の墓所等についても説明する。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
	アンケート								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		0	0	0				
	予算額(千円)		0	0	0				
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み	時期:4月初めに実施 対象:本町への転入教職員 内容:北栄町の歴史・文化などに触れる(鳥取藩由良藩倉跡、由良台場跡、北条砂			
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位					
	事業費(千円)		今年度予算額	今年度決算見込額	差引	0:【説明】 0:	
成果・効果	参加者へのアンケートの結果、「北栄町について興味関心を持つきっかけになった」に対して、肯定的な回答が96%、「(家庭訪問、校外学習、行事で)町内に出かける際に役立った」に対し、肯定的な回答は84%。特に歴史民俗資料館が授業づくりに活用された。						
課題	転入職員が多く、バスと公用車に分乗したため、車中の説明が全員にできなかった。アンケートの設問「授業づくりや授業展開等に参考にしたり利用したりした」への肯定的な回答が、35%で、横ばいである。						
改善方針	移動自動車が増えた場合、車中の説明が全員にできるように準備をする。参加者が、授業づくりに役立てられるよう、参考となる資料、町報等の紹介をする。						
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	時期:4月初めに実施 対象:本町への転入教職員 内容:北栄町の歴史・文化などに触れる(鳥取藩由良藩倉跡、由良台場跡、北条砂丘風力発電所、山菜の里、北条八幡宮、北条歴史民俗資料館等)				
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位				
	事業費(千円)		今年度予算額	今年度決算見込額	差引	0:【説明】 0:
成果・効果	参加者へのアンケートの結果、「北栄町について興味関心を持つきっかけになった」に対して、肯定的な回答が96%、「(家庭訪問、校外学習、行事で)町内に出かける際に役立った」に対し、肯定的な回答は84%。特に歴史民俗資料館が授業づくりに活用された。					
課題	転入職員が多く、バスと公用車に分乗したため、車中の説明が全員にできなかった。アンケートの設問「授業づくりや授業展開等に参考にしたり利用したりした」への肯定的な回答が、35%で、横ばいである。					
改善方針	移動自動車が増えた場合、車中の説明が全員にできるように準備をする。参加者が、授業づくりに役立てられるよう、参考となる資料、町報等の紹介をする。					
内部評価	評価	【意見等】転入教職員が北栄町を好きになるきっかけとなり、指導に役立てるために、来年度も継続する。(4月実施)				
	C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	6
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	こどもエコクラブ活動(こども園・全小中学校)								
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども					今年のごと	チラシ等	
	具体的な目標	3 環境教育の推進					その他共通ビジョン項目		
事業の目的・概要	<p>【目的】 こども園幼児、小学校児童、中学校生徒の発達段階に合わせた環境教育活動を実践し、生き物の大切さや生活環境、地球環境の保護についての意識を高める。</p> <p>【概要】 幼児期から自然や生活、地球環境の保護について学習し、環境保護の重要性を認識したり、自ら美化活動に取り組む姿勢などを養う。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・自然物に親しみを持ち、飼育・観察したりして生命を大切にすることを学ぶ。</p> <p>・空き缶やごみ拾いなど生活環境の中できれいにしようとする気持ちを育てるとともにエコ意識を高める。</p> <p>・割り箸や・ペットボトルキャップ・はがきの回収を通して物や自然を大切にすることを学ぶ。</p> <p>・グリーンカーテンの設置による教室の冷房効果の向上の実践や節電・節水の活動を通じて省エネと地球環境保護への意識の高揚と実践を図る。</p>								
具体的な取り組み	<p>●こども園：・自然物観察、生き物飼育。園外活動時の空き缶ごみ拾い。リサイクルセンター見学。廃材を利用した工作。レインキャッチを利用した菜園の水やり活動。</p> <p>●小学校：玄関前花壇やプランターの花の苗植え、水やりと草取り。使用済み割りばし・はがきの回収。リサイクル学習。坑内外の美化活動。グリーンカーテンの実践。</p> <p>●中学校：グリーンカーテンの設置。節電・節水の掲示等による呼び掛け活動。室温電波時計の設置。文化部による川の水質調査。玄関にソーライルミネーションライトの設置。プールにEM菌を投入し水質保全実施。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名／単位								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0:【説明】 0:	
		成果・効果					
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に興味を持ち、生き物の世話や観察をし命の大切さを養った。 ・ごみの減量化やリサイクルの大切さを学んだ。 ・グリーンカーテンの設置など自ら環境保護に取り組む姿勢を養った。 ・自らが生活する学校やこども園施設の美化活動やリサイクル活動などに取り組み環境保全の意識を高めた。 				
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位				
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0:【説明】 0:
		成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や生き物に触れ合っ命の大切さを実感し、心をはぐくんだ。 ・リサイクルすることに関心を持ち資源ごみを分別したりするなどエコ意識が高まった。 ・グリーンカーテンの設置や節電・節水などの取り組みで学校全体が環境保護意識を高めた。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の時間が足りなかった。 ・生徒主体の活動ができなかった。 ・グリーンカーテンの設置では冷房効果の向上が限定的であった。長期休業中の管理が困難であった。 				
改善方針	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒と幼児としっかりと話し合い年間計画をたてていく必要がある。 ・生徒会主体のエコ活動を推進する。 ・子どもたちの主体的な取り組みや環境意識が高まるよう狙いをしっかりと考え学習する。 					
内部評価	評価	【意見等】	・環境意識の高い北栄町らしく学習を継続し環境意識の高揚を図る。			
	C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	7
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	鳥取県版環境管理システム(TEAS)登録							今年のごと	チラシ等					
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目						
	具体的な目標	3 環境教育の推進												
事業の目的・概要	<p>【目的】 学校が主体的、継続的に環境配慮活動を行い、児童生徒及び教員が環境保護への意識を高める。 ※ISO14001などと同じ「環境マネジメントシステム」(EMS)の鳥取県版</p> <p>【概要】 「電気使用量を減らす」、「ごみの減量」などの取り組みにより、学校全体で環境をよりよくするための意識の高揚と実践を行う。</p>													
事業の効果	【効果】 学校生活において節電・節水やごみの減量化に取り組むことで環境保護への意識を高揚する。													
具体的な取り組み	<p>学校美化活動、節電、節水、不要紙の回収・再生リサイクル、用紙の裏面利用、ごみの減量、エコキャップ回収など。 …環境委員会や教員が主体的に実施する。 ・認定：北条小(H17. 3)、北条中(H17. 3)、大栄中(H21. 1)</p>													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位													
事業費									H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)													
	予算額(千円)													
主な予算科目														
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位							
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0	
	成果・効果								
課題									
改善方針									
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日常や集団一斉での学校美化活動の実施。 ・エコキャップ回収 ・教室等の節電への取り組み。 ・バケツ使用による節水の取り組み。 ・不要用紙の回収、再利用リサイクル実施。 							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位							
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動で学校環境を良好にできた。ごみの減量、節電、節水をととして環境を大事にする心を育てることができた。 								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の省エネ活動がどの程度環境保護につながっているかを実感させる工夫が必要。 ・給食の残菜の減量や身の回りの資源をより大切にすることを実践が必要。 								
改善方針	<p>【継続して実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ実践の成果を各種資料から可視化を図っていく。 ・環境資源の学習の場面を増やしていく。 								
内部評価	評価	【意見等】	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数値目標を設定し取り組むことも必要。 ・主体的な環境学習や活動で実感することが必要。 						
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	12
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	歴史探訪ウオークの実施							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						P27	無
	具体的な目標	4 町の自然や歴史に触れ合えるイベントの開催						その他共通ビジョン項目 2-9 6-5 6-6	
事業の目的・概要	<p>【目的】 町内の史跡・名勝・文化財などを徒歩で訪れ、町の成り立ちの歴史や文化に直接触れることで、「北栄町」への愛着・思い入れをさらに深めてもらう。</p> <p>【概要】 町内の史跡・名勝・文化財などを徒歩でめぐり、それぞれのポイントで開設をおこなう。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 身近な地域の歴史を知ることで「北栄町」への認識を新たにしてもらい、今まで以上に「我が町」の意識と愛着を持ってもらう。「我が町」の意識を高めることで、町の他の分野への参加も見込める。</p>								
具体的な取り組み	<p>身近にある歴史スポット(史跡・名勝など)をめぐるコース設定だが、これまで当たり前に見ていたもの(由良台場・六尾反射炉など)を具体的に取り上げ、目で見て手で触れて心で感じてもらえるようにする。(検証は出来ないが、帰宅後、夕食や団らんの場で「今日はこんな話が聞けた」という話題になれば理想。)</p> <p>目標参加人数：20名</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		人						
	参加人数		20						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		18	15					
	予算額(千円)		18	15	10				
主な予算科目		消耗品(印刷用紙・缶パッチ材料代等)		消耗品(印刷用紙等)	消耗品(印刷用紙等)				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	ウォーキングの町北栄との連携・統一も視野に入れ歴史探訪だけでなく、「歩き方」「ウォーキング」の楽しみ方についても考慮に入れたい。	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	ウォーキングの町北栄との連携・統一も視野に入れ、「歩き方」「ウォーキング」の楽しみ方も考慮に入れたい。	
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額	今年度決算見込額	差引	0【説明】		
			前年度決算額			0		
成果・効果								
課題								
改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	10月20日(日) てくてくウォーク事業と共催の形で「幕末の郷土探訪ウォーク」として開催。						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		参加者数 26 名						
	事業費 (千円)		今年度予算額	10	今年度決算見込額	5	差引	5【説明】事務用品
			前年度決算額	15				15
成果・効果	参加者26名。由良台場築造150年記念事業と連動、町内の江戸時代以降の史跡等をめぐりコース設定。荒天の中、参加者全員が完歩、説明にも耳を傾けてもらえ、築造の意義、誇れる歴史の発見、町への再認識の声が届いた。							
課題	実際に手で触れて・・・という部分に工夫が必要と感じた。悪天候にせよ、参加者数をもっと増やしていくことが必要。							
改善方針	ただ単に耳で聞く説明だけでなく、いろいろなものに触れて実際に感じてもらう工夫を盛り込む。(町の歴史に実際触れることで、町に対して、親しみ、愛着、そして誇りを持っていただくための工夫)							
内部評価	評価	【意見等】ウォーキングの町北栄との連携・統一も視野に入れ、「歩き方」「ウォーキング」の楽しみ方も考慮に入れたい。						
	B							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	8
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	歴史民俗資料館展示事業						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども					その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	4 町の自然や歴史に触れ合えるイベントの開催					6-5	
事業の目的・概要	【目的】 歴史民俗資料館の展示を通じて、北栄町の文化・自然・歴史に触れる機会を設ける。 【概要】 歴史民俗資料館での展示(常設:生田和孝陶芸作品 企画:年間6本 巡回展示館:由良宿など、歴史民俗資料館の資料を出張展示。) 資料収集・整理(鳥取県立公文書館との合同事業)							
事業の効果	【効果】 町内で活動する作家の作品や町の歴史・民俗資料などの展示を通じて、北栄町独自の文化の情報発信。							
具体的な取り組み	地元で活躍した(現在、活躍する)作家の展示。(前田寛治、増田英一、前田利三、生田和孝他) 地元の歴史を知る史料の展示。(砂丘開拓のあゆみ、埋蔵文化財など) 地元の自然を知る史料の展示。(鳥取県立博物館アウトリーチプログラム) 美術展入賞作品展など。 目標 入館者数:1000名 収集資料の整備・公開に向けての準備(県立公文書館との合同事業)							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		人					
	入館者数		1000					
資料整理				完了				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)		1,283	1,176				
	予算額(千円)		1,610	1,280	1,669			
	主な予算科目		報償費(謝礼) 印刷製本(ポスター等製作) 監視委託料	報償費(謝礼) 印刷製本(ポスター等製作) 監視委託料	報償費(謝礼) 印刷製本(ポスター等製作) 監視委託料			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※教育委員 記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
						0	
	成果・効果						
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	企画展示の実施(郷土の作家たち、砂丘開拓のあゆみ、県立博物館アウトリーチプログラムなど) 入館者数 1,645名(平成26年1月現在) 収蔵資料の整理、収蔵資料の貸出 図書館での収蔵資料の展示(特に郷土史入門講座と連動させ、タイムリーな展示を実施)							
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
		入館者数	1645						
		資料整理	継続						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	1,669 1,176	今年度 決算見込額	1,125	差引	544 1,176	【説明】印刷製本費(ポスター等) 委託料
	成果・効果	学校の資料利用が少しずつ増え、「こんなものはないですか?」という質問も増えてきたこともあり、資料の利用が定着してきた感がある。 県立公文書館と合同で収蔵資料の整理をおこなった。(来年度も継続) 郷土史入門講座受講者が関連資料に触れることで講座への理解がより深まり、図書館の貸し出しなども含め広がりが期待される取り組みとなる。							
課題	来館者がどのようなものを望んでいるのか、精査していく必要がある。 小・中学生の来館・利用者増。								
改善方針	来館者のニーズを捉えるよう、アンケート等で情報収集を図る。								
内部評価	評価	【意見等】	図書館などの既存の事業との連携は、収蔵資料への関心を高め、魅力を再発見する機会を提供することにつながる。推進が望ましい。						
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	9
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	巡回展示館の実施							今年のごと	チラシ等		
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目			
	具体的な目標	5 地域文化の鑑賞機会の提供									
事業の目的・概要	<p>【目的】北栄町の歴史や自然などを展示し、「北栄町」をしまおう。</p> <p>【概要】夏休みなどの期間を利用して歴史民俗資料館収蔵資料を町内の施設などで展示する。</p>										
事業の効果	【効果】北栄町の歴史や自然などを展示し、「北栄町」をしまおう。										
具体的な取り組み	夏休み期間に由良宿・遠藤本店の車庫を借り、歴史民俗資料館の収蔵資料を展示する。(北栄町を知る鍵となる砂丘地独特の風物などを中心に展示する。)										
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位										
	巡回展示館開催		1								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28			
	決算額(千円)										
	予算額(千円)										
主な予算科目											
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28				
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28				
※教育委員 記入欄 事業メモ											

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了							
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位								
		事業費 (千円)	今年度予算額	0	今年度 決算見込額	0	差引	0	0	
	成果・効果									
	課題									
改善方針										
内部評価	予算編成に 対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	7月末～8月末までの1ヶ月間、由良宿 遠藤本店の車庫を利用して、機織り機(高機)と耕製品、綿花と糸つむぎの道具を展示した。								
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位								
		巡回展示館開催			1					
		事業費 (千円)	今年度予算額	13	今年度 決算見込額		差引	13	【説明】報償費(遠藤本店)	
	成果・効果	歴史民俗資料館の資料を展示、現在の砂丘地農業の元となった「綿花」と耕についてミニ展示をおこなった。								
	課題	資料館の収蔵品だけでなく、観光・産業方面との連携(より多くの人に見てもらうための工夫)								
改善方針	単に昔の道具だけでなく、北栄町の魅力を伝える要素を入れる。(農産物に関する展示など)									
内部評価	評価	D	【意見等】夏休みのコナン関連イベントのルートが変わり、見ていただくための人の流れが少なくなった可能性があるため、来年度は展示場所の工夫を行う。							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	10
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	地域子ども教室(子どもほくえい塾)の実施							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	1 地域との連携を深め特色ある教育活動の推進								
事業の目的・概要	<p>【目的】 子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりの促進</p> <p>【概要】 地域住民からボランティアの講師を募集し、様々な体験活動を実施</p>									
事業の効果	<p>【効果】 地域住民を講師とすることで地域の大人との交流が促進されるとともに、地域で活動することで地域に愛着をもつ子どもの育成につながる。</p> <p>ボランティアに参加する方の地域活動への参加意欲が促され、地域の教育力の向上につながる。子どもの居場所づくりにもなっている。</p>									
具体的な取り組み	<p>ボランティア(地域住民講師)の募集。</p> <p>週末(土日)、長期休業日(夏休み等)に事業の実施(チラシを学校を通じて配布)。</p> <p>ボランティアカードを配布し、自治会等でボランティアをした子どもにシールを配布(学校で表彰)。</p>									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位									
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		572	618						
	予算額(千円)		635	619	597	1,264				
主な予算科目		報償費(謝礼)消耗品	報償費(謝礼)消耗品	報償費(謝礼)消耗品	報償費(謝礼)消耗品					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額	今年度決算見込額	差引	0【説明】		
			前年度決算額			0		
	成果・効果							
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	(H25. 4~12)実施回数 140回 参加人数 子ども 1118人 大人 511人 サポーター 503人					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費(千円)	今年度予算額	今年度決算見込額	差引	27【説明】	
			前年度決算額	618	570	618	
	成果・効果	子どもたちに様々な体験活動を提供することが出来た。 子どもから大人まで幅広い年齢層での活動・交流をととしてコミュニケーション能力の向上も期待できる。					
課題	ボランティアサポーターの固定化						
改善方針	新規のボランティアサポーターの開拓、事業を広報等を活用してPR						
内部評価	評価	C	【意見等】				

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	11
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	中央公民館青少年対象講座							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	6 地域の教育力の向上を目指す取り組み							
事業の目的・概要	<p>【目的】 幅広い年代に多様な学習機会を提供するという公民館の役割を果たすため、これまでの生涯学習課で実施していた青少年地域活動事業をH25より公民館事業として実施する。</p> <p>【概要】 工作教室、自然体験教室等によって、青少年の直接体験、仲間づくり、親子のふれあいなどを深める事業を実施する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 公民館を子どもの集まる場、地域の魅力を伝える場とするため、青少年を対象として事業を実施する。また、指導者として、地元の人々の協力いただくことによって、地域人材の活動の場を提供する。</p>								
具体的な取り組み	<p>* 親子木工教室</p> <p>* 親子クッキング教室</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25						
	親子クッキング教室参加数		18						
	親子木工教室参加数		22						
事業費			H25						
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】
							0	
	成果・効果							
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	幅広い年代に多様な学習機会を提供し、「こどもの顔の見える公民館」をめざして実施。地域の指導者とともに活動する中で地域の魅力を伝える公民館の役割を果たすことができた。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25				
		親子クッキング教室参加数		18				
		親子木工教室参加数		22				
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	25	今年度 決算見込額	25	差引	0	【説明】H25事業開始
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域の指導者の協力を得て実施する中で、地域の方との触れ合いの素晴らしさを伝えることができた。 自然体験の中で親子とともに身体を動かし、工夫し体感する喜びを味わう事業となった。 							
課題	子ども対象の事業の日程決定が他の事業と重なり、参加者の確保が難しい							
改善方針	学校や事業年間計画との兼ね合い調整を十分に作る。							
内部評価	評価	C	【意見等】よりたくさん子ども、子育て家庭が関わることのできる事業として、周知を含めた見直しを図ること。					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	14
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	国史跡由良台場150年事業							今年のごと	チラシ等					
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目						
	具体的な目標	4 町の自然や歴史に触れ合えるイベントの開催						2-4						
事業の目的・概要	<p>【目的】 国史跡由良台場の築造150年の節目にあたり、由良台場をさらに知ってもらい、身近に感じられるようなイベントをおこなうと同時に北栄町にこんなものがある、という情報発信を目的とする。</p> <p>【概要】 「由良台場大掃除大会(仮称)」の開催 「由良台場フォトコンテスト」の開催</p>													
事業の効果	<p>【効果】 国史跡として地元の貴重な財産である由良台場をさらに知ってもらうことで、台場公園周辺の目玉の一つとして情報発信の一助とする。</p>													
具体的な取り組み	<p>「由良台場大掃除大会(仮称)」……台場の現状をリアルに感じてもらうと共に、地元の手で美しく、という文化財保護の啓発もおこなう。(地域の自立活性化事業で紙芝居製作が実施されるのでそちらの披露ができればおこないたい。)参加目標人数:20名 「由良台場フォトコンテスト」……由良台場を題材にしたフォトコンテストの実施。目標出品数20点</p>													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		人		点数									
	参加者(大掃除)		20											
		出展者(フォトコンテスト)		20										
事業費			H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	決算額(千円)													
	予算額(千円)						258							
		主な予算科目				フォトコンテスト賞金								
		印刷製本費												
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員 記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位								
		事業費(千円)		今年度予算額	今年度決算見込額	差引	0【説明】			
				前年度決算額			0			
	成果・効果									
課題										
改善方針										
内部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<p>10月5日 郷土史入門(図書館事業と共催)に鳥取県立博物館学芸員による講座を開催。 10月20日 「幕末の郷土探訪ウオーク」(てくてくウオークと共催)を開催、参加者26名。同時に由良台場の清掃活動も実施。ウオークの内容として「由良台場清掃ボランティア」を開催、ゴミ拾いを行った。併せて道の駅登録20周年事業とコラボすることで台場の知名度を上げる取り組みをした。 11月18日よりフォトコンテストの作品募集を開始。</p>							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位							
		参加者(大掃除)		20					
		出展者(フォトコンテスト)							
	事業費(千円)		今年度予算額	258	今年度決算見込額	170	差引	88【説明】印刷製本費	フォトコンテスト
		前年度決算額	0				0	賞金・謝金	
成果・効果	<p>郷土史入門の講座とウォーキングイベントで「話を聞いて現地を見る」という形を取った。企画政策課道の駅キャンペーンと連動させ、イベントをパッケージ化することで住民だけでなく、観光客への周知効果があった。</p>								
課題	<p>150年で完了、というわけではなく、今後も「由良台場」など郷土の歴史の証の情報発信が必要。</p>								
改善方針	<p>事業そのものは終わるが、今後も継続して情報発信を継続する。</p>								
内部評価	評価	【意見等】	<p>全国に誇れる史跡台場を文化資産及び観光資源として、今後も効果的なPRを続ける。</p>						
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	13
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	町学校教育研究協議会							
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども						
	具体的な目標	1 保・幼・小・中の連携の充実						
事業の目的・概要	<p>【目的】 町内こども園・保育所(園)・小学校・中学校が相提携し、幼児、児童、生徒の豊かな人間性と確かな学力を育て、本町教育の充実進展に努め、併せて関係諸団体との緊密な連携を図る。</p> <p>【概要】 園(所)、小・中学校が連携し、幼児、児童、生徒の豊かな人間性と確かな学力を育てる具体的な活動を推進する。</p>							
事業の効果	【効果】 園(所)、小・中学校が連携することが、幼児、児童、生徒の豊かな人間性と確かな学力を育てることにつながる。							
具体的な取り組み	専門部会を組織し、活動を進める。 学習指導部、生徒指導部、人権教育部、特別支援教育部、健康教育部、読書推進部、就学前教育部、学校事務部							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25					
	総会による成果と課題の確認/回		1					
	理事会による運営についての協議/回		3					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)		150	150	150			
	予算額(千円)		150	150	150			
	主な予算科目		町補助金	町補助金	町補助金			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
		C	C					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
		C	C					
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・4月22日総会(月) 会場 北条小学校 活動方針等協議 ・7月29日(月)全体研修会 講演 講師 小栗正幸氏(宇部フロンティア大学臨床教授) ・各部会の活動を実施中。				
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25				
		総会による成果と課題の確認/回		1				
		理事会による運営についての協議/回		1				
	事業費(千円)		今年度予算額	150	今年度決算見込額	150	差引	0【説明】
成果・効果	・園(所)、小・中学校が連携することが、幼児、児童、生徒の豊かな人間性と確かな学力を育てることにつながる。							
課題								
改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・4月22日(月)総会 会場 北条小学校 活動方針等協議 ・7月29日(月)全体研修会 講演 講師 小栗正幸氏(宇部フロンティア大学臨床教授) ・各部会の活動を実施 ・理事会 4月5日、1月6日						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25				
		総会による成果と課題の確認/回		1				
		理事会による運営についての協議/回		2				
	事業費(千円)		今年度予算額	150	今年度決算見込額	150	差引	0【説明】
成果・効果	幼児、児童、生徒の豊かな人間性と確かな学力を育てるため、園(所)、小・中学校が連携を図った。							
課題	特になし							
改善方針	取組のさらなる充実を図る							
内部評価	評価	【意見等】 町内の学校関係施設が校種、校区を超えて連携している。						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	14
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	レインボープラン(大栄小・中・中央育英高校)							今年のごと	チラシ等				
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども						有	8				
	具体的な目標	1 保・幼・小・中の連携の充実						その他共通ビジョン項目					
事業の目的・概要	<p>【目的】 同じ丘に大栄小学校・大栄中学校・鳥取中央育英高等学校があるという立地環境を活かし、小中高等学校が連携する中で、一人ひとりの児童生徒の発達を上級学校へと繋げると共に、進路意識の向上及び教職員の他校種理解を深めることを通して、学校が抱える共通の諸課題(学校不適應への対応、教科指導の一貫性、人権教育・特別支援教育の充実等)の解決策を見出す。</p> <p>【概要】 ・児童生徒の交流 ・教職員の交流</p>												
事業の効果	<p>【効果】 ・児童生徒の進路意識の向上につながる。 ・教職員の他校種理解を深めることができる。</p>												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の交流(吹奏楽、水泳等) ・大栄中学校3年生が鳥取中央育英高校で体験授業を実施 ・互いの授業研究会への参加 												
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位							H25					
	児童生徒の交流/回							6					
	大栄中学校2年生の鳥取中央育英高校における体験授業/回							1					
	互いの授業研究会への参加/回							3					
事業費								H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)												
	予算額(千円)												
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28						
		C	B										
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28						
		C	C										
※評価委員記入欄 事業メモ													

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> 小学生 ボードクライミング・水球交流(高校) 小学校プール開き 高校生の模範水泳 中学生の読み聞かせ(小学校) 授業研究会 			
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25			
		児童生徒の交流/回		8			
		大栄中学校2年生の鳥取中央育英高校における体験授業/回		1			
		互いの授業研究会への参加/回		3			
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	0 0	今年度 決算見込額	差引	0 0	【説明】
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の進路意識の向上につながる。 教職員の他校種理解を深めることができる。 						
課題							
改善方針							
外部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学生 ボードクライミング・水球交流(高校) 小学校プール開き 高校生の模範水泳 中学生の読み聞かせ(小学校) 授業研究会 					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25			
		児童生徒の交流/回		8			
		大栄中学校2年生の鳥取中央育英高校における体験授業/回		1			
		互いの授業研究会への参加/回		3			
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	0 0	今年度 決算見込額	差引	0 0	【説明】
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の進路意識の向上につながる体験ができた。 教職員の他校種理解を深めることができた。 						
課題	特になし						
改善方針	取組のさらなる充実を図る						
内部評価	評価	【意見等】 計画に基づいて実施することができている。広報活動もできている。					
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	15
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	ドリームプロジェクトX(北条小・中)							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを想いやる心根を持つ子ども						有	9
	具体的な目標	1 保・幼・小・中の連携の充実							
事業の目的・概要	【目的】 9年間を見通した連続性のある小中連携教育の推進 【概要】 学力向上、交流活動、小中の接続の3つのプロジェクトを中心に活動を推進する。								
事業の効果	【効果】 教育目標の一貫性、子どもの理解の一貫性、学習指導の継続性、学習内容の系統性を視点として、独自性と連続性を踏まえた9年間の一貫した教育の推進につながる。								
具体的な取り組み	○プロジェクトまなび(学力向上) ・小中合同授業研究会 ・小中合同教科・領域部会 ○プロジェクトきずな(交流活動) ・交流活動、行事交流 ○プロジェクトくらし(小中の接続) ・ノーメディアチャレンジの実施								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25						
	小中合同授業研究会の実施/回		2						
	小中合同教科・領域部会の実施/回		2						
	交流活動、行事交流の実施/回		5						
	ノーメディアチャレンジの実施/回		2						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	・旧大栄地区と旧北条地区の地区クロスの交流も実施してほしい。 ・教員同士の交流がもっと必要ではないか。 ・特に生活面での連携が感じられない。	
		D	C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	・北条小・大栄小の3年生の交流会の実施 ・北条小5年生、倉吉総合産業高校との家庭科交流学习の実施	
		C	C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> ・総会を実施。その中で教科部会を新たに実施。 ・夏季休業中に教科部会を実施。 ・その他 活動を実施中。 ・小学校において、中学校教員も指導に参加した授業を実施予定。 			
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25			
		小中合同授業研究会の実施/回		2			
		小中合同教科・領域部会の実施/回		2			
		交流活動、行事交流の実施/回		9			
	ノーマディアチャレンジの実施/回		2				
事業費 (千円)		今年度予算額	0	今年度		差引	0【説明】
		前年度決算額	0	決算見込額			0
成果・効果	教育目標の一貫性、子どもの理解の一貫性、学習指導の継続性、学習内容の系統性を視点として、独自性と連続性を踏まえた9年間の一貫した教育の推進につながる。						
課題							
改善方針							
外部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクトまなび(学力向上) ・小中合同授業研究会 ・小中合同教科・領域部会 ○プロジェクトきずな(交流活動) ・交流活動、行事交流 ○プロジェクトくらし(小中の接続) ・ノーマディアチャレンジの実施 					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25			
		小中合同授業研究会の実施/回		2			
		小中合同教科・領域部会の実施/回		2			
		交流活動、行事交流の実施/回		9			
	ノーマディアチャレンジの実施/回		2				
事業費 (千円)		今年度予算額	0	今年度		差引	0【説明】
		前年度決算額	0	決算見込額			0
成果・効果	教育目標の一貫性、子どもの理解の一貫性、学習指導の継続性、学習内容の系統性を視点として、独自性と連続性を踏まえた9年間の一貫した教育の推進を図った。						
課題	特になし						
改善方針	取組のさらなる充実を図る						
内部評価	評価	【意見等】 計画に基づいて実施できている。本年度、教科部会が充実していた。					
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	15
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	全教育課程で実施							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	2 道徳的実践力の向上 啓発活動							
事業の目的・概要	【目的】 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子どもを育成する 【概要】 全教育活動において道徳的実践力の向上を図る								
事業の効果	【効果】 全教育課程で実施することで、仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子どもの育成につながる								
具体的な取り組み	全体計画を作成し、全教育課程で実施する								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25						
	全体計画作成		1						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
						0	
	成果・効果						
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	全体計画を作成し、全教育課程で実施した				
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位	H25			
		計画作成	1			
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0
	成果・効果	全教育課程で実施することで、仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子どもの育成につなげた。				
	課題	特になし				
改善方針						
内部評価	評価	【意見等】年間を通しての取組を継続していくことが大切である				
	C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	16
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	中学校での心の教室相談事業						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども					P22	有 10
	具体的な目標	3 いじめ・不登校問題に対する学校の危機管理体制の充実					その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 生徒たちの抱えている悩みやストレス等を軽減するため、各中学校に生徒が気軽に相談でき、安心して学校生活を送れる環境整備として「心の教室」を設置する。</p> <p>【概要】 生徒たちが学校や家庭など内容を問わず抱えている悩みを心の教室相談員(町非常勤職員)が「心の教室」で聞き取り、生徒が安心して学校生活が送れるよう環境整備する。</p>							
事業の効果	<p>【効果】 ・悩み相談の場を設けることで生徒が安心して学校に通学できる環境を整備する。</p> <p>・生徒のいじめや家庭環境、学習(高校進学)への取り組みなど内容を問わず悩みを聞き取ること</p> <p>でいじめや不登校などの早期発見・対策につながる。</p> <p>・教員との情報共有ができ、教員は早期対応、学級経営に役立てることができる。</p>							
具体的な取り組み	<p>・「心の教室」開設日</p> <p>【北条中】</p> <p>毎週 月・木 8:30~12:30</p> <p>火・金 13:00~17:00 ※スクールカウンセラー:毎週水曜日</p> <p>【大栄中】</p> <p>毎週 月・火・水・金 10:00~14:00 ※スクールカウンセラー:毎週水曜日</p>							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25			
	相談回数・人数(北条中)		11	29				
相談回数・人数(大栄中)		75 38	79 23					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	
	決算額(千円)		1,380	1,260				
	予算額(千円)		1,440	1,440	1,440			
	主な予算科目		賃金2人	賃金2人	賃金2人			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	<p>・生徒の相談は解決できるのか。</p> <p>・教員への橋渡しはできるのか。</p>
		B	C					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	<p>・解決することが目的ではなく、話し相手となること。ストレス等を解消することで学校への居場所を確保する。</p> <p>・悩みを抱えている相談の場を確保する。</p>
		C	C					
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

・中学校に各1名配置し、相談活動を実施中。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25		
		相談回数・人数(北条中)		11	29			
		相談回数・人数(大栄中)		75 38	79 23			
	事業費(千円)		今年度予算額	1,440	今年度	差引	1,440	【説明】
			前年度決算額	1,260	決算見込額		1,260	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み相談の場を設けることで生徒が安心して学校に通学できる環境を整備する。 ・生徒のいじめや家庭環境、学習(高校進学)への取り組みなど内容を問わず悩みを聞き取ることによりいじめや不登校などの早期発見・対策につながる。 ・教員との情報共有ができ、教員は早期対応、学級経営に役立てることができる。 							
課題								
改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校に各1名配置し、相談活動を実施 ・昼休憩時に生徒が相談室を訪れ、相談員と会話をするなどして過ごす 						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25		
		相談回数・人数(北条中)		11	29	8 3		
		相談回数・人数(大栄中)		75 38	79 23	30 12		
	事業費(千円)		今年度予算額	1,440	今年度	差引	1,440	【説明】
			前年度決算額	1,260	決算見込額		1,260	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み相談の場を設けることで生徒が安心して学校に通学できる環境を整備した。 ・教員との情報共有ができた。 							
課題								
改善方針								
内部評価	評価	【意見等】	相談件数としては少ないが、昼休憩等に生徒との交流は盛んに行われている。					
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	17
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	いじめ対策のためのQ-U実施						今年のごと	チラシ等		
							P21 P22	無		
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	3 いじめ・不登校問題に対する学校の危機管理体制の充実								
事業の目的・概要	<p>【目的】 アンケートを実施し、学級経営のための有効な資料を活用して、いじめや不登校などの問題行動の予防と対策に役立てる。</p> <p>【概要】 アンケート結果を担任だけでなく、学年担当の複数の教員で分析して、学級経営等に役立てる。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 ・子どもの学校生活での満足度と意欲、学級集団の状態を把握できる。</p> <p>・教員が学級及び児童生徒の状況を把握し、子どもが豊かに育ち・まなぶための環境づくりや児童生徒指導に役立てる。</p>									
具体的な取り組み	<p>・1学期に1回目の調査を実施し、学級集団の状況を把握して指導にあたる。</p> <p>・2学期に2回目の調査を実施し、学級集団の状況やその変化を把握して、指導にあたる。</p> <p>・研修会を実施し、活用方法について学ぶ。</p>									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位	H25								
	分析検討会の実施/回	2								
	研修会の実施/回	1								
事業費		H23		H24		H25		H26	H27	H28
	決算額(千円)	575		281		960				
	予算額(千円)	628		593		956				
	主な予算科目	需用費 委託料		需用費 委託料		委託料				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
		C	C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
		C	C							
※評価委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に1回目の調査を実施した。分析をし、2学期の指導に活かしている。 ・2学期に第2回目を実施予定。 					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25					
		分析検討会の実施/回		1					
		研修会の実施/回							
	事業費 (千円)		今年度予算額	956	今年度 決算見込額		差引	956【説明】	281
		前年度決算額	281				281	本年度は、2回分	
	成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校生活での満足度と意欲、学級集団の状態を把握できる。 ・教員が学級及び児童生徒の状況を把握し、子どもが豊かに育ち・まなぶための環境づくりや児童生徒指導に役立てることができる。 							
	課題								
	改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・1学期と2学期にそれぞれ1回実施し、分析を指導に活かした。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25				
		分析検討会の実施/回		2				
		研修会の実施/回		1				
	事業費 (千円)		今年度予算額	956	今年度 決算見込額	960	差引	-4【説明】
		前年度決算額	281				281	
	成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校生活での満足度と意欲、学級集団の状態を把握できた。 ・教員が学級及び児童生徒の状況を把握し、子どもが豊かに育ち・まなぶための環境づくりや児童生徒指導に役立てることができた。 						
	課題	特になし						
	改善方針	取組のさらなる充実を図る						
内部評価	評価	C 研修会も各学校1回実施され、活用されている。						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	18
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	いじめに関する調査							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども						有	11
	具体的な目標	3 いじめ・不登校問題に対する学校の危機管理体制の充実						その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	【目的】 いじめの実態を把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見・早期対応等の指導に役立てる。 【概要】 調査方法 ・年2回 ・家に持ち帰って記入(小1、2は除く) ・無記名 ・同じ様式の調査票								
事業の効果	【効果】 ・いじめの実態を把握することで、今後のいじめの未然防止、早期発見・早期対応等の指導に役立てることができる。								
具体的な取り組み	実施時期：5月下旬、10月下旬 対象：全児童生徒 方法：小学校1、2年 学校で調査用紙に記入(無記名)、提出 小学校3年～中学校3年 調査用紙を持ち帰り、家で記入(無記名)、用紙を封筒に入れて担任に提出 活用：調査結果を全職員で把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見・早期対応等を図る。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25						
	調査の実施/回		2						
		全職員で結果の把握/回		2					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・5月に1回目を実施。実態を把握し、いじめの早期発見、未然防止に役立つつある。 ・10月に2回目を実施。				
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H25				
		調査の実施/回		1				
		全職員で結果の把握/回		1				
	事業費(千円)		今年度予算額	0	今年度	差引	0	【説明】
		前年度決算額	0	決算見込額		0		
成果・効果	いじめの実態を把握することで、今後のいじめの未然防止、早期発見・早期対応等の指導に役立てることができる。							
課題								
改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	5月と11月に調査を実施し、いじめの早期発見、予防に役立てた。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H25			
		調査の実施/回		2			
		全職員で結果の把握/回		2			
	事業費(千円)		今年度予算額	0	今年度	差引	0
		前年度決算額	0	決算見込額		0	
成果・効果	いじめの実態を把握することで、今後のいじめの未然防止、早期発見・早期対応等の指導に役立てた。						
課題	・無記名の調査なので、記入者から直接、話を聞くことができない。						
改善方針	・他の方法での実態把握を合わせて実施していく。(観察、教育相談、生活記録ノート)						
内部評価	評価	C	【意見等】いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の指導に役立てるとい目標は達成できている。				

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	19
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	児童生徒交流事業(滋賀県湖南市との交流)						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども					P6 P20	有 12
	具体的な目標	3 いじめ・不登校問題に対する学校の危機管理体制の充実					その他共通ビジョン項目 2-1	
事業の目的・概要	<p>【目的】 友好交流協定を締結している滋賀県湖南市との学校レベルでの相互交流を「第3回湖南市いじめをなくそうサミット」を通じて行い、児童生徒の豊かな育ち・学びに活かす。また、今後の児童生徒交流事業を促進する。</p> <p>【概要】 湖南市が主催する「第3回いじめをなくそうサミット」に参加し、ワークショップ-アピール文作成-全体発表を通じて交流する。交流の結果を学校に持ち帰り、校内発表を行うなど情報共有を行う。</p>							
事業の効果	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教員が、いじめをテーマとした「話し合い-まとめ-発表」による交流体験を行い、いじめに向き合うとともに学校内でのいじめ対策活動に活かすことができる。 ・児童生徒は、都市部の児童生徒との交流を通じて社会性の育成ができる。 ・教員は、学校における学習活動や指導に役立てることができる。 ・町は、湖南市との友好交流の幅を広げ、相互連携や子どもたちの育ちに還元できる。 							
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日：平成25年8月22日(木曜日) 午後、 行程：8月21日(水曜日)～22日(木曜日)1泊2日 ・参加者：北条小 6学年児童3名、教員1名、大栄小 6学年児童3名、教員1名 北条中 3学年生徒2名、教員1名、大栄中 3学年生徒2名、教員1名 教育委員会 職員1名 総勢 15名 ・内容：テーマ「いじめ」 湖南市指導主事講演-ワークショップ-アピール文作成-全体発表-各学校へ持ち帰り 							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位				H25	H26	H27	
	参加者児童生徒				10			
	参加者教員				4			
交流体験発表(校内)				9月ごろ				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	
	決算額(千円)							
	予算額(千円)				453			
主な予算科目				旅費、消耗品費、食糧費、保険料、バス借上料				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・平成25年8月21日(水)～22日(木): 滋賀県湖南市訪問 ・平成25年8月22日(木): 「第3回湖南市いじめをなくそうサミット」に児童生徒・教員が参加・交流 ・平成25年9月4日(水): 大栄小全校発表、平成25年9月18日(水)北条小全校発表、北条中: 人権学習会、大栄中: 全校発表を計画中							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25							
		参加者児童生徒		10							
		参加者教員		4							
		交流体験発表(校内)		小 済							
	事業費(千円)	今年度予算額	453	今年度決算見込額	393	差引	60	【説明】参加費用弁償214千円、バス借上152千円、保険7千円、消耗品20千円			
成果・効果	・「いじめ」への認識を深め、「いじめ」をなくするための意見交換、決意・願いをまとめ発表し、湖南市の関係者を含め情報を共有した。また、学校に持ち帰り、全校発表を通じていじめ撲滅の情報共有を図った。 ・参加した町内小・中学校児童生徒・教員の相互交流が図れた。										
課題	・交流が「サミット」の分科会内の参加児童と限定的であった。 ・湖南市と町内の児童生徒とが学校教育をテーマに継続して交流していくことが可能かどうか。										
改善方針	●「内容を見直して継続」 ・生涯学習など様々なテーマにより児童生徒の交流を継続する。										
外部評価	予算編成に対する意見										

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・平成25年8月21日(水)～22日(木): 滋賀県湖南市訪問 ・平成25年8月22日(木): 「第3回湖南市いじめをなくそうサミット」に児童生徒・教員が参加・交流 ・平成25年9月4日(水): 大栄小全校発表、平成25年9月18日(水)北条小全校発表、平成25年9月20日(金)大栄中学生会企画: いじめをなくそうサミット参加報告会(全校生徒対象意見交換) ・平成25年12月1日(日)北条町じんけんフェスタ2013									
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H25							
		参加者児童生徒		10							
		参加者教員		4							
		交流体験発表(校内)		小 済							
	事業費(千円)	今年度予算額	453	今年度決算見込額	408	差引	45	【説明】参加費用弁償・旅費230千円、バス借上152千円、保険7千円、消耗品20千円			
成果・効果	・「いじめ」への認識を深め、「いじめ」をなくするための意見交換、決意・願いをまとめ発表し、湖南市の関係者を含め情報を共有した。また、学校に持ち帰り、全校発表を通じていじめ撲滅の情報共有を図った。 ・参加した町内小・中学校児童生徒・教員の相互交流が図れた。 ・町民対象の「北条町じんけんフェスタ」において、大栄小参加者が活動状況を報告し、町民と情報共有した。										
課題	・交流が「サミット」の分科会内の参加児童と限定的であった。 ・湖南市と町内の児童生徒とが学校教育をテーマに継続して交流していくことが可能かどうか。										
改善方針	●「内容を見直して継続」 ・生涯学習など様々なテーマにより児童生徒の交流を継続する。 ・平成27年度以降北条町独自で「いじめをなくする」ための取り組み、「リーダー育成」を見据えて事業を実施する。										
内部評価	評価	B	【意見等】・湖南市児童生徒及び教員と「いじめをなくすること」をテーマとした交流と学習ができた。 ・各学校での情報共有と町民への情報発信をすることができた。 ・北条町内4校の児童生徒及び教員の交流もできた。								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	17
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	PTA活動費(研修会)補助金							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	2 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	5 PTA活動の充実								
事業の目的・概要	<p>【目的】 PTA活動に要する経費の一部を助成することにより、PTA相互の連携を図り、教育の振興、会員の研修に努め、児童生徒の健全な育成に資することを目的とする。</p> <p>【概要】 PTA活動のうち講演会、研修会等の講師等謝礼について助成する。婦人会活動のうち補助対象事業の活動経費2分の1以内について助成する。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 PTAとして自主的で自立した学習活動、青少年育成、会員研修等の活動を行うことにより、学校とともに子どもたちを育むという意識を喚起する。婦人会会員相互の連携と親睦を図る。知識と教養を深め、地域社会の福祉の増進、女性の自立と社会参加の促進を図り、男女共同参画社会の形成に資する。</p>									
具体的な取り組み	<p>小中学校PTA活動のうち講演会、研修会等の講師等謝礼について助成する。婦人会活動のうち補助対象事業の活動経費2分の1以内について助成する。</p>									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位									
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		202	185						
	予算額(千円)		210	210	210					
主な予算科目										
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】 0
		成果・効果						
	課題							
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	助成実績 小学校PTA のべ3回 20,000円 中学校PTA 1回 15,000円 婦人会 130,000円						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	210 185	今年度 決算見込額	165	差引	45 185
		成果・効果	PTAとして自主的で自立した学習活動、青少年育成、会員研修等の活動を行うことにより、学校とともに子どもたちを育むという意識を喚起した。 婦人会会員相互の連携と親睦を図る。知識と教養を深め、地域社会の福祉の増進、女性の自立と社会参加の促進を図り、男女共同参画社会の形成に資することができた。					
	課題	助成対象PTAを増やし、学習活動と組織の育成支援を広げる。						
改善方針	こども園PTAを助成対象とする。							
内部評価	評価	【意見等】						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	18
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	青少年育成北栄町民会議交付金事業(街頭補導・あいさつ運動の推進)						今年のごと	チラン等
教育ビジョン	小項目	3 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを想いやる心根を持つ子ども					その他共通ビジョン項目 1-8 2-7	
	具体的な目標	6 家庭教育の充実と青少年の健全育成						
事業の目的・概要	<p>【目的】 青少年問題の持つ重要性を認識し、広く町民の総意と自主活動を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。</p> <p>【概要】 各団体の連携、情報の共有化。社会環境の浄化活動。青少年の健全育成を図るための広報、啓発活動。</p>							
事業の効果	<p>【効果】 各団体の連携、情報の共有化、社会環境の浄化活動により、大人や親が青少年を見守る環境を整え、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。</p>							
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動(年2回) ・あいさつ通りモデル自治会募集 ・マナーアップさわやか運動(年2回) ・見守りパトロール(夏休み・冬休み) ・青少年育成連絡会(年2回) ・健全育成の広報啓発 ・子ども会リーダー研修検討 ・青少年育成鳥取県民会議との連携 ・倉吉地区少年補導センターとの連携 							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位							
	あいさつ通りモデル自治会新規認定		3	1	5			
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)		368	611				
	予算額(千円)			668	606			
主な予算科目		需用費 報償費 負担金	需用費 報償費 負担金	需用費 報償費 負担金				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※教育委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位							
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】	0
	成果・効果								
課題									
改善方針									
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動(年2回) ・あいさつ通りモデル自治会募集 ・マナーアップさわやか運動(年2回) ・見守りパトロール(夏休み6回・冬休み2回) ・青少年育成連絡会(年2回) ・子ども会リーダー研修検討 ・青少年育成鳥取県民会議との連携 ・倉吉地区少年補導センターとの連携 ・告知放送による子どもの声によるあいさつ運動の促進 							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		あいさつ通りモデル自治会新規認定		3	1	5			
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	606 611	今年度 決算見込額	376	差引	230	【説明】
	成果・効果	<p>各団体の連携、情報の共有化、社会環境の浄化活動により、大人や親が青少年を見守る環境を整え、地域ぐるみで青少年の健全育成を図った。 朝、告知放送で子どもの元気な声のあいさつが流れることで、放送を楽しみにする方も増え、あいさつの大切さが広く浸透し、啓発効果があった。</p>							
課題	<p>①あいさつ通りモデル自治会の認定数増加 ②既設啓発看板老朽化による修繕</p>								
改善方針	<p>①自治会長会及び既に認定しているモデル自治会からの働きかけ ②青少年を育む標語・図案を募集し看板により啓発する</p>								
内部評価	評価	(意見等)	<p>様々な形で啓発に取り組むこと、自主性に基づいた取り組みを進めること、子どもを主役にした取り組みを進めることで、相乗効果が生まれている。より効果的に住民主体の取り組みを進めることに期待。</p>						
	B								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	20
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	少人数学級の推進						今年のごと	チラシ等																																								
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育						P8 P19	有 13																																							
	具体的な目標	1 学校教育の充実						その他共通ビジョン項目 4-3 4-5																																								
事業の目的・概要	<p>【目的】 児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させることにより、学校生活や人間関係への円滑な適応、基本的な生活習慣の確立、基礎学力の定着を図る。</p> <p>【概要】 小・中学校の学級編成を国・県の基準を上回る(一部)町独自の基準で取り組み、小学校1年から中学校3年までの9年間をきめ細かく丁寧な学習指導を行う。</p>																																															
事業の効果	<p>【効果】 少人数学級編成をすることで、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させることができる。そのことにより、学校生活や人間関係への円滑な適応、基本的な生活習慣の確立、基礎学力の定着を図ることができる。</p>																																															
具体的な取り組み	<p>・次の基準(町基準)で学級編成を実施する。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>小1</td> <td>小2</td> <td>小3</td> <td>小4</td> <td>小5</td> <td>小6</td> <td>中1</td> <td>中2</td> <td>中3</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>県基準</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>33</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>町基準</td> <td></td> <td></td> <td>33</td> <td>33</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※県基準：小1・小2・中1 県費、その他は200万円協力金 町基準：500万円協力金</p>									小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	国	35	40	40	40	40	40	40	40	40	県基準	30	30	35	35	35	35	33	35	35	町基準			33	33					
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																																							
国	35	40	40	40	40	40	40	40	40																																							
県基準	30	30	35	35	35	35	33	35	35																																							
町基準			33	33																																												
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25																																													
	県・町基準による学級編成/学年		7																																													
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28																																								
	決算額(千円)		19,938	11,000	19,000																																											
	予算額(千円)		21,980	16,000	19,000																																											
主な予算科目		負担金	負担金	負担金																																												
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28																																									
		B	B																																													
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28																																									
		C	B																																													
※評価委員記入欄 事業メモ																																																

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	北条小 1年 2学級→3学級 3年 2学級→3学級 4年 2学級→3学級	大栄小 3年 2学級→3学級 北条中 3年 2学級→3学級	大栄中 1年 2学級→3学級 2年 2学級→3学級	
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25			
		県・町基準による学級編制/学年		7			
	成果・ 効果	事業費 (千円)	今年度予算額	19,000	今年度 前年度決算額	11,000	決算見込額
					19,000	差引	0【説明】
課題	少人数学級編成をすることで、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させることができる。そのことにより、学校生活や人間関係への円滑な適応、基本的な生活習慣の確立、基礎学力の定着を図ることができる。						
改善方針							
外部評価	予算編成に 対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	北条小 1年 2学級→3学級 3年 2学級→3学級 4年 2学級→3学級	大栄小 3年 2学級→3学級 北条中 3年 2学級→3学級	大栄中 1年 2学級→3学級 2年 2学級→3学級		
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25		
		県・町基準による学級編制/学年		7		
	成果・ 効果	事業費 (千円)	今年度予算額	19,000	今年度 前年度決算額	11,000
					19,000	差引
課題	特になし					
改善方針						
内部評価	評価	【意見等】 児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させることに役立っている。				
	C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	21
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	学びと指導の創造事業(北条小・中)						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育					P20	有 14
	具体的な目標	1 学校教育の充実					その他共通ビジョン項目 3-1	
事業の目的・概要	<p>【目的】・児童生徒の学習意欲の向上及び活用する力の向上 ・小中連携を生かした教師の授業力の向上</p> <p>【概要】協同学習と小中連携を活かした取り組みを進める。</p>							
事業の効果	【効果】協同学習と小中連携を活かした取り組みを進めることで、児童生徒の学習意欲の向上、活用する力の向上及び教師の授業力の向上につながる。							
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 協同学習の考え方を取り入れ、小集団学習を活用しながら、互いに深め合い高め合う場面を意図的に設定した授業をする。 学年初めのNRT、学年末のCRTの活用項目を継続して分析し、取り組みの効果の有無を見る。 一人一研究授業を実施するため、全体の研究授業だけではなく学年単位の研究授業を設ける。 小中連携の授業を増やす。そのために、例年実施している全体会だけではなく教科部会も実施し、まずは教員同士の交流を深める。(夏休み中に実施) 							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位							
	児童生徒が学習の中で自分の意見や思いを伝えようとする/創造事業児童生徒アンケート問5の3ポイントアップ NRT, CRTによる分析と対策/目標は3ポイントアップ 生徒会(学習委員会)が取り組む生徒の授業評価調べ/肯定的評価90%以上・・・内 A評価70%以上							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)			416				
	予算額(千円)			420	420			
主な予算科目			報償費 需用費 委託料	報償費 需用費 委託料				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
			C					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
			C					
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> ・合同授業研究会や合同教科部会を実施 ・全県への公開授業研究会 10月16日(水)北条中学校 						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位								
		児童生徒が学習の中で自分の意見や思いを伝えようとする/創造事業児童生徒アンケート問5の3ポイントアップ								
		NRT, CRTによる分析と対策/目標は3ポイントアップ 生徒会(学習委員会)が取り組む生徒の授業評価調べ/肯定的評価90%以上・・・内A評価70%以上								
	事業費 (千円)		今年度予算額	420	今年度 決算見込額	420	差引	0	【説明】	
		前年度決算額	416				416			
成果・効果	協同学習と小中連携を活かした取り組みを進めることで、児童生徒の学習意欲の向上、活用する力の向上及び教師の授業力の向上につながる。									
課題										
改善方針										
外部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・合同授業研究会や合同教科部会を実施 ・全県への公開授業研究会 10月16日(水)北条中学校 								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位								
		児童生徒が学習の中で自分の意見や思いを伝えようとする/創造事業児童生徒アンケート問5の3ポイントアップ								
		NRT, CRTによる分析と対策/目標は3ポイントアップ 生徒会(学習委員会)が取り組む生徒の授業評価調べ/肯定的評価90%以上・・・内A評価70%以上								
	事業費 (千円)		今年度予算額	420	今年度 決算見込額	420	差引	0	【説明】	
		前年度決算額	416				416			
成果・効果	協同学習と小中連携を活かした取り組みを進めることで、児童生徒の学習意欲の向上、活用する力の向上及び教師の授業力の向上につながった。									
課題	指標の取りまとめは、3月に実施する。									
改善方針	指標の取りまとめは遅いが、次年度の取組に活かす。									
内部評価	評価	【意見等】児童生徒の学習意欲の向上ができ、教員の授業力の向上もできた。								
	C									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	22
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	ICT教育活動支援員の配置						今年のごと	チラシ等																										
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育					P8 P19	無																										
	具体的な目標	1 学校教育の充実					その他共通ビジョン項目 4-4																											
事業の目的・概要	<p>【目的】 児童生徒の情報活用能力の向上や学習効果の高い情報機器を活用した授業を推進し、児童生徒の学力の向上を図る。また、ホームページの更新など学校の情報提供を行い開かれた学校を推進する。</p> <p>【概要】 ・学習教材の作成や授業における情報機器の操作補助を行う。 ・学校情報の発信のため、ホームページの更新などを行う。</p>																																	
事業の効果	<p>【効果】 ・児童生徒の情報活用能力の向上を図る。 ・情報機器を活用した授業を推進し児童生徒の学力の向上を図る。 ・学習教材の作成や情報機器の操作補助を行い教員の負担軽減し、教員の児童生徒の関わりを増加する。 ・ホームページの更新により開かれた学校づくりを推進する。</p>																																	
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校 1名(合計4名)配置 ※ICT教育活動支援員(臨時職員):週5日 7時間45分勤務 ・年間を見通した学習教材の作成補助を行う。 ・情報機器(電子黒板やプロジェクターなど)を活用した授業を推進するため、機器の操作補助や教職員に機器の操作説明を行う。 ・情報機器の点検・改善を随時行う。 ・学校ホームページの更新を行い、対外的な情報公開を行う。 																																	
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位																																	
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>7,028</td> <td>6,884</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>7,455</td> <td>7,454</td> <td>7,280</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主な予算科目</td> <td>賃金4人(国)</td> <td>賃金4人(国)</td> <td>賃金4人(国)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								H23	H24	H25	H26	H27	H28	決算額(千円)	7,028	6,884					予算額(千円)	7,455	7,454	7,280				主な予算科目	賃金4人(国)	賃金4人(国)	賃金4人(国)		
	H23	H24	H25	H26	H27	H28																												
決算額(千円)	7,028	6,884																																
予算額(千円)	7,455	7,454	7,280																															
主な予算科目	賃金4人(国)	賃金4人(国)	賃金4人(国)																															
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28																											
		B	B																															
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28																											
		B	C																															
※評価委員記入欄 事業メモ																																		

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校2校、中学校2校 各校1名(合計4名)配置済み ・各授業におけるICT機器を使用した学習教材の作成補助の実施 ・学校内ICT機器の点検・管理及び操作説明・補助の実施 ・学校ホームページの更新作業実施 			
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26
		4校:各1名配置		各校 1 名	各校 1 名	各校 1 名	
				全 4 名	全 4 名	全 4 名	
			※ 国事業		※ 国事業	※ 国事業	
事業費 (千円)		今年度予算額	7,280	今年度	差引	7,280	【説明】賞金
		前年度決算額	6,884	決算見込額		6,884	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の多忙感の解消及びICT機器による視覚等を活用したこと学習への関心を向上を図り、児童生徒の学力の向上に取り組んだ。 ・学校ホームページへ随時更新することにより開かれた学校を推進し、保護者や町民に児童生徒の学校での様子や学校の取り組みを情報共有することができた。 						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費(町費)に対し、子どもたちの学習への還元や学校運営の取り組み、教員の負担軽減にどれだけの効果があるのか検証する必要がある。 						
改善方針	-						
外部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校2校、中学校2校 各校1名(合計4名)配置済み ・各授業におけるICT機器を使用した学習教材の作成補助の実施 ・学校内ICT機器の点検・管理及び操作説明・補助の実施 ・学校ホームページの更新作業実施 					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26
		4校:各1名配置		各校 1 名	各校 1 名	各校 1 名	
				全 4 名	全 4 名	全 4 名	
			※ 国事業		※ 国事業	※ 国事業	
事業費 (千円)		今年度予算額	7,280	今年度	差引	7,280	【説明】賞金
		前年度決算額	6,884	決算見込額		6,884	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の多忙感の解消及びICT機器による視覚等を活用したこと学習への関心を向上を図り、児童生徒の学力の向上に取り組んだ。 ・学校ホームページへ随時更新することにより開かれた学校を推進し、保護者や町民に児童生徒の学校での様子や学校の取り組みを情報共有することができた。 						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費に対し、子どもたちの学習への還元や学校運営の取り組み、教員の負担軽減にどれだけの効果があるのか検証する必要がある。 ・H25までは国の事業を活用していたが、H26以降町費での雇用となるため、経費と効果の検証が必要である。 						
改善方針	<p>【引き続き継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、ICT機器を活用した教材及び授業の状況を調査把握し、効果の検証を図る。 ・学校ホームページの更新状況を確認するとともに、開かれた学校の推進を図る。 ・ICT機器に精通した者の採用を図る。 						
内部評価	評価	<p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後将来的に進んでいくと考えられる「教育の情報化」に対応していく必要がある。 ・教員が授業の指導に専念できるよう、また、学習指導の有効な手段として積極的にICT機器を使用していく必要があり、引き続き補佐員の配置が必要である。 ・開かれた学校を推進するため、積極的なホームページの活用が必要であり、随時、情報更新を行う必要がある。 					
		C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	20
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	講師招聘事業の実施							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	2 教職員の資質・指導力の充実							
事業の目的・概要	<p>【目的】 校内授業研究会に外部から学識経験者を招聘し、各学校の研究推進や当日の公開授業についてアドバイスをもらい、それをもとに授業力の向上を目指す。</p> <p>【概要】 校内授業研究会に外部から学識経験者を招聘して指導助言をもらい、実践に活かす。</p>								
事業の効果	【効果】 ・授業研究会の内容がより深まったり、授業研究の最先端の情報を知ったりすることができる。								
具体的な取り組み	外部から学識経験者を招聘して校内授業研究会を実施する。 北条小学校 島根大学 富安講師 大栄小学校 鳥取大学 矢部副学長 大栄中学校 講師未定								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25						
	授業研究会の実施/回		6						
		授業研究会のまとめ発行/回		6					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		271	264					
	予算額(千円)		350	350	300				
	主な予算科目		報償費	報償費	報償費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】
							0	
	成果・効果							
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	外部から学識経験者を招聘して校内授業研究会を実施した。 北条小学校 島根大学 富安講師 大栄小学校 鳥取大学 矢部副学長					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位	H25				
		授業研究会の実施/回	6				
		授業研究会のまとめ発行/回	6				
	事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	300 264	今年度 決算見込額	300	差引	0 264
成果・効果	校内授業研究会に外部から学識経験者を招聘して指導助言をもらい、実践に活かした。						
課題	実施時期が遅い学校があった。						
改善方針	計画を早く立て、実践するようにする。						
内部評価	評価	【意見等】 外部から講師を招聘することで、授業研究会がより効果的にできた。					
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	21
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	CRT検査等による状況把握・分析の実施							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	2 教職員の資質・指導力の充実								
事業の目的・概要	<p>【目的】 CRT検査等を利用して、児童生徒の状況把握・分析を行い、教職員の指導力の向上と児童生徒の基礎基本の定着を図る。</p> <p>【概要】 CRT検査等を行い、その分析を指導に活かす。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 ・CRT検査等の分析をすることで、児童生徒の状況が把握でき、指導のポイントが明確になり、児童生徒の基礎基本の定着につなげることができる。</p>									
具体的な取り組み	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NRT検査を1月に実施し、分析をする。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CRT検査を1月に実施し、分析をする。 									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位	H25								
	検査の分析まとめ/回	1								
事業費	決算額(千円)	H23		H24		H25		H26	H27	H28
	予算額(千円)					231				
	主な予算科目					需用費委託料(CRT検査のみ)				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】
							0	
	成果・効果							
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	小学校 ・NRT検査を1月に実施し、分析をする。 中学校 ・CRT検査を1月に実施し、分析をする。					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位	H25				
		検査の分析まとめ/回	1				
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	231	今年度 決算見込額	231	差引
	成果・効果	・CRT検査等の分析をすることで、児童生徒の状況が把握でき、指導のポイントが明確になり、児童生徒の基礎基本の定着につなげることができる。					
課題							
改善方針							
内部評価	評価	【意見等】1年間の学習の振り返りに用いることができた。					C

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	22
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	全国学力・学習状況調査・NRT検査による学力状況把握・分析の実施							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	3 基礎基本の定着								
事業の目的・概要	<p>【目的】 全国学力・学習状況調査・NRT検査を利用して、児童生徒の学力状況把握・分析を行い、児童生徒の基礎基本の定着を図る。</p> <p>【概要】 全国学力・学習状況調査・NRT検査を行い、その分析を指導に活かす。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 ・全国学力・学習状況調査・NRT検査の分析をすることで、児童生徒の状況が把握でき、指導のポイントが明確になり、児童生徒の基礎基本の定着につなげることができる。</p>									
具体的な取り組み	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査を実施し、分析をする。 ・NRT検査を1月に実施し、分析をする。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査を実施し、分析をする。 ・NRT検査を4月に実施し、分析をする。 									
	指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位	H25							
	検査の分析まとめ/回	各1								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)									
	予算額(千円)				1,437					
	主な予算科目				委託料 (NRT検査のみ)					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況								
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位								
		事業費 (千円)		今年度予算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】			
				前年度決算額			0			
	成果・効果									
課題										
改善方針										
内部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校において、全国学力・学習状況調査を実施して、分析を指導に活かした。 ・中学校において、NRT検査(4月)を実施し、分析を指導に活かした。 							
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25					
		検査の分析まとめ/回		各1					
		事業費 (千円)		今年度予算額	1,437	今年度 決算見込額	1,437	差引	0【説明】
			前年度決算額					0	
成果・効果	全国学力・学習状況調査・NRT検査の分析をし、児童生徒の状況が把握でき、指導のポイントが明確になり、児童生徒の基礎基本の定着につなげる取り組みができた。								
課題	分析をより効果的に活かすこと								
改善方針	分析に多くの教員が関わり、工夫や改善を進める								
内部評価	B	全国学力・学習状況調査、NRT検査を実施し、児童生徒の学力状況・生活状況が把握できた。これを分析し、課題を洗い出し次年度に向けた対策の検討が出来た。							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	23
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	問題データベースの導入							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	3 基礎基本の定着								
事業の目的・概要	<p>【目的】 個や目的に応じた問題を用いて、児童生徒の基礎基本の定着を図ったり、意欲の向上を図ったりする。</p> <p>【概要】 問題データベースからプリントを作成して、授業や家庭学習に用いる。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 個や目的に応じた問題を用いることで、児童生徒の基礎基本の定着を図ったり、意欲の向上を図ったりすることにつながる。</p>									
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・問題データベース 各学校1教科 北条小学校 国語 大栄小学校 算数 北条中学校 数学 大栄中学校 国語 ・問題データベースからプリントを作成して、授業や家庭学習に用いる。 									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位				H25					
	プリントを活用しやすいように印刷して保管/冊				各校1					
	プリントの活用回数/1学級月平均 回				2					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)				265					
	予算額(千円)				294					
主な予算科目				使用料						
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
						0	
	成果・効果						
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	問題データベースからプリントを作成して、授業や家庭学習に用いた。				
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位				
		プリントを活用しやすいように印刷して保管/冊 プリントの活用回数/1学級月平均 回				
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	294 今年度 決算見込額	265 差引	29 【説明】
	成果・効果	個や目的に応じた問題を用いることで、児童生徒の基礎基本の定着を図ったり、意欲の向上を図ったりすることに繋がった。				
	課題	活用状況にばらつきがあった。 教科書の出版社と問題データベースの出版社が違い、使いづらい面があった。				
改善方針	平成26年度は、町教育委員会が予算計上して使用することはしない。 他の教材を活用して、授業や家庭学習の充実を図る。					
内部評価	評価	【意見等】 個や目的に応じた問題を用いることで、児童生徒の基礎基本の定着を図ったり、意欲の向上を図ったりすることができた。				
	C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	24
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	「家庭学習手引き」の作成・配布						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育					その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	3 基礎基本の定着					1-4	3-6
事業の目的・概要	【目的】「家庭学習の手引き」を作成・配布して、家庭学習の習慣化を図る。 【概要】「家庭学習の手引き」を活用して、家庭学習の習慣化を図る。							
事業の効果	【効果】「家庭学習の手引き」を活用することで、家庭学習への意欲向上や実践力向上を図り、基礎基本の定着につなげる。							
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習の手引き」を作成・配布する。 「家庭学習の手引き」を用いて指導する。 							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位				H25			
	「家庭学習の手引き」を作成・配布とその活用についての指導/回				1			
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)							
	予算額(千円)							
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※教育委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0:【説明】 0:	
	成果・効果						
課題							
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	「家庭学習の手引き」を作成・配布 「家庭学習の手引き」を用いて指導				
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25		
		「家庭学習の手引き」を作成・配布とその活用についての指導/回		1		
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0:【説明】 0:
	成果・効果	「家庭学習の手引き」を活用することで、家庭学習への意欲向上や実践力向上を図り、基礎基本の定着につなげた。				
課題	大栄小学校で新一年に配布してきたものが、今年度でなくなる。					
改善方針	大栄中学校区で、平成26年度に再度、作成する。					
内部評価	評価	【意見等】「家庭学習の手引き」を活用することで、家庭学習への意欲向上や実践力向上を図った。				
	C					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	23
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	大栄小「まなびの教室」の設置						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育					P11 P21	有 15
	具体的な目標	5 個に応じた指導の育成					その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 発達障がいのある児童、またはその疑いのある児童の学習や生活におけるつまずきや困り感を軽減するために、一人一人に合わせた指導を行う。</p> <p>【概要】 大栄小学校に、通級指導教員を1名置く。通常は、在籍している学級で学習し、週に1～2回程度「まなびの教室」に出かけて学習する。</p>							
事業の効果	<p>【効果】 自分に合った学び方や生活の仕方、友達とのかかわり方を学ぶことによって、自分に自信が付き、楽しく学校生活を送ることができる。</p>							
具体的な取り組み	<p>通級指導担当教員は、次のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童にあわせた指導。 ・在籍学級担任と連携。(在籍学級での様子の観察及び在籍学級における配慮への助言)。 ・保護者への支援。 <p>北栄町教育委員会は、通級指導委員会を設置し、通級指導教室の円滑な運営を図るとともに、指導のより一層の充実を図る。 ・入退級の審査 ・事例検討</p>							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位				H25			
	入級対象児童数				27			
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)				2,143			
	予算額(千円)				2,143			
主な予算科目				消耗品費243 工事請負費586 備品購入費1,314				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・開設:平成25年6月1日 ・対象:町内小学校の自閉症・情緒障がい・学習障がい等のある(疑い可)児童 ・内容:障がいによる学習・生活の困難改善・克服のため週1、2回程度の指導、保護者支援 ・指導:指導教員1名配置					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H25					
		入級対象児童数/名		17					
		うち 北条小		4					
	大栄小		13						
事業費(千円)		今年度予算額	2,143	今年度決算見込額		差引	2,143	【説明】	
		前年度決算額					0		
成果・効果	9月1日現在、17名(大栄小13、北条小4)が入級し、指導している。一人一人にあわせた指導を行うことによって、子どもたちは「できた」「わかった」喜びを味わうことができている。また、通級指導教員が担任と連絡を密にすることにより、担任の本児への理解が深まり、学級での指導・支援に役立てられている。								
課題	途中入級の児童が増え、教材を作成する時間や教育相談のための時間等の確保が難しくなってきた。さまざまな困り感を持っている子どもたちが落ち着いて学ぶための、机・椅子等備品が不足している。また、一人一人に合わせた教材を作成するために参考となる書籍等が足りない。								
改善方針	年度当初時間割を組むときに、途中入級の児童数を想定し、工夫して組んでいく。通級指導委員会で、通級による指導の必要性や優先順位などをしっかり審議する。必要な備品教材等は予算化する。								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・開設:平成25年6月1日 ・対象:町内小学校の自閉症・情緒障がい・学習障がい等のある(疑い可)児童 ・内容:障がいによる学習・生活の困難改善・克服のため週1、2回程度の指導、保護者支援 ・指導教員1名配置							
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H25					
		入級対象児童数/名		20					
		うち北条小		16					
	大栄小		4						
事業費(千円)		今年度予算額	2,143	今年度決算見込額	1,864	差引	279	【説明】	
		前年度決算額					0		
成果・効果	一人一人にあわせた指導を行うことによって、子どもたちは「できた」「わかった」喜びを味わい、「こうすればできる」手ごたえをつかむことができつつある。また、通級指導教員が担任と連携することにより、学級での指導・支援に役立てられている。他校通級の児童には、保護者への支援も十分にできた。								
課題	途中入級の児童が増え、教材を作成する時間や教育相談のための時間等の確保が難しくなってきた。さまざまな困り感を持っている子どもたちが落ち着いて学ぶための、机・椅子等備品が不足している。また、一人一人に合わせた教材を作成するために参考となる書籍等が足りない。								
改善方針	年度当初時間割を組むときに、途中入級の児童数を想定し、工夫して組んでいく。通級指導委員会で、通級による指導の必要性や優先順位などをしっかり審議する。必要な備品教材等は予算化する。								
内部評価	評価	【意見等】	一人一人にあわせた指導を行うことによって、子どもたちは「できた」「わかった」喜びを味わい、「こうすればできる」手ごたえをつかむことができつつある。また、通級指導教員が担任と連携することにより、学級での指導・支援に役立てられている。他校通級の児童には、保護者への支援も十分にできた。						
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	24
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	大栄小「ことばの教室」の設置						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育					P21	有 16
	具体的な目標	5 個に応じた指導の育成					その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 言語にかかわる学習や生活におけるつまずきや困り感を軽減するために、一人一人に合わせた指導を行う。</p> <p>【概要】 通常は、在籍している学級で学習し、週に1～2回程度「ことばの教室」に出かけて学習する。1対1の個別指導が中心。</p>							
事業の効果	<p>【効果】 必要な言葉のトレーニングやコミュニケーションの力を高めるトレーニングを行うことにより、自分に自信が付き、楽しく学校生活を送ることができる。</p>							
具体的な取り組み	<p>通級指導担当教員は、次のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の児童にあわせた指導。 在籍学級担任と連携。(在籍学級での様子の観察及び在籍学級における配慮への助言)。 保護者への支援。 <p>北栄町教育委員会は、通級指導委員会を設置し、通級指導教室の円滑な運営を図るとともに、指導のより一層の充実を図る。 ・入退級の審査 ・事例検討</p>							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)		90	90				
	予算額(千円)		90	90	90			
主な予算科目		消耗品費90	消耗品費90	消耗品費90				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※評価委員 記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	<ul style="list-style-type: none"> 開設:平成17年度 対象:東伯郡内小学校の言葉やコミュニケーションに不安がある児童 内容:構音・吃音・言語障がい等による学習・生活の困難改善・克服のため週1、2回程度の指導、保護者支援 指導:大栄小に指導教員1名配置 			
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	
		入級対象児童数		26	26	27	
		うち 北条小		0	2	2	
		大栄小		21	19	20	
町外小学校		5	5	5			
事業費(千円)		今年度予算額	90	今年度決算見込額	90	差引	0【説明】
		前年度決算額	90				90
成果・効果	9月1日現在で27人(大栄小20、北条小2、琴浦町3、湯梨浜町2)が入級し指導している。構音・吃音の児童は、個別指導で舌を動かす方法や正しい発音等を学び、少しずつ改善している。コミュニケーションに課題がある児童は、小集団指導により、友達に思いや考えを伝えることを楽しみ、自信をつけている。						
課題	通級による指導を希望する児童が年々増えてきている。そのため、指導時間、教材準備で精一杯になり、在籍校での通級児童の様子を参観する時間がとれていない。						
改善方針	通級指導委員会での入退級について審議し、入級時に立てた目標が達成された場合等は退級とする。大栄小学校の行事の時を利用して、他校児童の在籍学級での学習を参観し、通級で付けた力が活かされるようにする。						
外部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 開設:平成17年度 対象:東伯郡内小学校の言葉やコミュニケーションに不安がある児童 内容:構音・吃音・言語障がい等による学習・生活の困難改善・克服のため週1、2回程度の指導、保護者支援 指導:大栄小に指導教員1名配置 					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	
		入級対象児童数		26	26	30	
		うち 北条小		0	2	3	
		大栄小		21	19	22	
町外小学校		5	5	5			
事業費(千円)		今年度予算額	90	今年度決算見込額	90	差引	0【説明】
		前年度決算額	90				90
成果・効果	構音・吃音の児童は、個別指導で舌を動かす方法や正しい発音等を学び、少しずつ改善している。コミュニケーションに課題がある児童は、小集団指導により、友達に思いや考えを伝えることを楽しみ、自信をつけている。						
課題	通級による指導を希望する児童が年々増えてきている。そのため、指導時間、教材準備で精一杯になり、在籍校での通級児童の様子を参観する時間がとれていない。						
改善方針	通級指導委員会での入退級について審議し、入級時に立てた目標が達成された場合等は退級とする。大栄小学校の行事の時を利用して、他校児童の在籍学級での学習を参観し、通級で付けた力が活かされるようにする。						
内部評価	評価	C	【意見等】入級し指導している構音・吃音の児童は、個別指導で舌を動かす方法や正しい発音等を学び、少しずつ改善している。コミュニケーションに課題がある児童は、小集団指導により、友達に思いや考えを伝えることを楽しみ、自信をつけている。				

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	25
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	全小中学校 校務用パソコンの更新(年次更新)							今年のごと	チラン等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	6 より豊かな教育のための環境整備						4-4	
事業の目的・概要	<p>【目的】 学校教職員用パソコンを計画的に更新することにより、授業教材作成や保護者・教育委員会連絡用務など学校教育業務の効率的・効果的な実施を推進する。</p> <p>【概要】 導入後5年を経過した校務用パソコンを平成24年度から年次計画により計画更新する。 ※平成25年度:40台更新⇒全小・中学校パソコン計画更新完了</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・学習教材や指導計画案等の作成及び教育素材の情報収集等による学習の充実を図ることができる。</p> <p>・町教育委員会等の事務的業務の円滑な実施・連携が実施できる。</p> <p>・昨今の動静による教育の情報化に円滑に対応することができる。</p>								
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月議会終了後:設計起案 平成25年4月:入札実施 平成25年5月末:小中学校導入完了 								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H24		H25		全体整備数(校務用)		(最も古いもの)
	導入台数		41		40		北条小 36	H21 24	
	導入時期(使用開始)		6月		6月		大栄小 36	H21 11	
			小 19台	小 18台	北条中 33	H24 17			
事業費			中 22台	中 22台	大栄中 31	合計 136		H21 20	
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		701						
	予算額(千円)		1,321		1,037				
主な予算科目		賃貸借料		賃貸借料					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	
	成果・効果							
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画どおり発注事務等を行い、平成26年6月1日に40台の更新を行った。 ・指名競争入札により設計額に対し導入額が72.9%に抑えることができた。 						
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位						
		導入台数	H24	H25	全体整備数(校務用)		(最も古いもの)	
		導入時期(使用開始)	6月	6月	北条小 36		H21	24
	事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	1,037 701	今年度 決算見込額	712	差引	325	【説明】賃貸借料(5年リース) -11 月額71,190円×10ヵ月
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・H18導入のパソコンなどを速やかな更新導入により学習や事務業務の円滑な実施が可能となった。 ・全小・中学校の校務用パソコンが計画どおり更新され、全教職員がパソコン不具合のない効率的な業務の執行が可能となった。 							
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・最も古いモデルのパソコンが平成21年度導入となり、当面は更新の必要性はないが、長期的な更新計画を策定しておく必要がある。 							
改善方針	<p>【中断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体整備パソコンの計画的な更新が完了したため、当面は更新業務は行わない。 ・パソコン環境の進歩等を読み取り、今後計画的な更新計画を策定する。 							
内部評価	評価	C	【意見等】					・昨今、さまざまな業務においてパソコン環境は不可欠なものであり、今回、新しいパソコン環境が整備されたことは、教育環境にとって効果的であり、児童生徒への学習や教員の負担軽減に役立つものとする。

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	26
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	英語指導助手(ALT)の配置							今年のごと	チラシ等					
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育						その他共通ビジョン項目						
	具体的な目標	7 国際化に応じた教育の充実												
事業の目的・概要	<p>【目的】 ALTとの英語の授業や英語に触れる活動、日常的なふれあい等を通じて、外国の様子や文化を理解しその良さを認めるとともに自分の国の良さを知り、英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 2名配置(北条中学校、大栄中学校)し、中学校英語科、保育所・こども園・小学校外国語活動の指導補助にあたっている。中学校勤務3日、小学校勤務1日、教育委員会・保育所・こども園勤務0.5日</p>													
事業の効果	<p>【効果】 中学校:英語科の授業において教師とチームティーチングを組んで指導することによって、英語によるコミュニケーション能力(話す・聞く・各・読む)が育つ。</p> <p>保育所・こども園、小学校:担任とALTが、英語に慣れ親しむ活動、外国語活動を展開することによって、世界の国々に興味関心を持つとともに、英語によるコミュニケーションの素地が養われる。</p>													
具体的な取り組み	<p>中学校英語科(英語教師とALTとのチームティーチング、英語弁論大会の指導)</p> <p>小学校5・6年生外国語活動(担任とALTのチームティーチング)</p> <p>保育所・こども園、小学校1~4年の外国語活動(英語に触れる活動)</p> <p>給食・休憩時間、行事等学校生活の中で子どもたちと触れ合う。</p> <p>週に1回公民館で町民対象の夜間の英会話教室(自主運営)を担当</p>													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位													
事業費			H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	決算額(千円)		8,315		8,678									
	予算額(千円)		8,483		9,002		7,824							
主な予算科目		報酬、旅費、保険料、備品購入費、負担金		報酬、旅費、保険料、備品購入費、負担金		賃金、旅費、保険料、賃貸料、負担金								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	英語指導助手(ALT) ・対象: 保育所・こども園園児、小学校児童、中学校生徒、町民 ・内容: 外国語活動、英語科の指導補助、英会話教室 ・指導: 各中学校に1名配置				
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費(千円)		今年度予算額	7,824	今年度	7,352	差引	472【説明】
			前年度決算額	7,678	決算見込額			7,678
成果・効果	子どもたちは、ALTと学習したり、給食時間・休憩時間等にかかわることにより、異文化への興味関心を持つとともに、英語で話したい聞きたいという意欲や積極性が高まった。							
課題	保育所・こども園、小学校においては、英語で打ち合わせをすることが難しかった。							
改善方針	小学校においては、外国語教育指導員とALTと担任で打ち合わせをする。 保育所・こども園では、ジェスチャーや具体物を用いながらコミュニケーションを図っていく。							
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	英語指導助手(ALT) ・対象: 保育所・こども園園児、小学校児童、中学校生徒、町民 ・内容: 外国語活動、英語科の指導補助、英会話教室 ・指導: 各中学校に1名配置						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費(千円)		今年度予算額	7,824	今年度	7,352	差引	472【説明】
			前年度決算額	7,678	決算見込額			7,678
成果・効果	子どもたちは、ALTと学習したり、給食時間・休憩時間等にかかわることにより、異文化への興味関心を持つとともに、英語で話したい聞きたいという意欲や積極性が高まった。							
課題	保育所・こども園、小学校においては、英語で打ち合わせをすることが難しかった。							
改善方針	小学校においては、外国語教育指導員とALTと担任で打ち合わせをする。 保育所・こども園では、ジェスチャーや具体物を用いながらコミュニケーションを図っていく。							
内部評価	評価	【意見等】 ALTと学習したり、給食時間・休憩時間等にかかわることにより、異文化への興味関心を持つとともに、英語で話したい聞きたいという意欲や積極性が高まった。						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	27
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	外国語教育事業の実施(1~4年)						今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 国際化に応じた教育の充実							
事業の目的・概要	<p>【目的】 子どもたちが、英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける</p> <p>【概要】 小学校1~4年生で、年間10回ずつ「英語に触れる活動」を行う。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 外国語に触れる活動を通し、自分たちとは違う言葉・文化に気付いたり、自国や世界の国々に興味を持ったりすることができる。</p>								
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「学年に応じた目標・評価の観点」「年間指導計画」「こんな気持ちで外国語活動を！！～教師の心構え～」を作成し、それに基づき実施。 ・担任・ALT・外国語教育指導員で、事前に、活動案を基に授業の目標や活動内容などの打ち合わせを行う。 ・ゲーム・歌など体験的な活動を通して、楽しみながら英語に触れる活動を行う。 								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		837	774					
	予算額(千円)		897	894	891				
	主な予算科目		賃金 840 消耗品費 54	賃金 840 消耗品費 51	賃金 840 消耗品費 51				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	外国語教育事業(1~4年) ・子どもたちが英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける ・各学年、年間10回ずつ「英語に触れる活動」を行う					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	891 774	今年度 決算見込額	774	差引	0 0	【説明】
成果・効果	英語で話すALT(外国語指導助手)や外国語教育指導員の目や表情を見ながら集中して聞き、自分から積極的に話しかけようとした。 英語に触れる活動を通して、英語や異国の文化に対する関心が高まった。								
課題	担任、ALT、外国語教育指導員で打ち合わせをする時間の確保が難しい。								
改善方針	活動案を共有フォルダに入れて活用することにより、打ち合わせの効率化を図る。								
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	外国語教育事業(1~4年) ・子どもたちが英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける ・各学年、年間10回ずつ「英語に触れる活動」を行う							
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	891 774	今年度 決算見込額	774	差引	117 774	【説明】
成果・効果	英語で話すALT(外国語指導助手)や外国語教育指導員の目や表情を見ながら集中して聞き、自分から積極的に話しかけようとした。 英語に触れる活動を通して、英語や異国の文化に対する関心が高まった。								
課題	担任、ALT、外国語教育指導員で打ち合わせをする時間の確保が難しい。								
改善方針	活動案を共有フォルダに入れて活用することにより、打ち合わせの効率化を図る。								
内部評価	評価	C	【意見等】 ALT(外国語指導助手)や外国語教育指導員との関わりの中で、目や表情を見ながら集中して聞き、子どもたちが自分から積極的に話しかけようとした。 英語に触れる活動を通して、英語や異国の文化に対する関心が高まった。						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	28
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	外国語教育指導員の配置							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 国際化に応じた教育の充実								
事業の目的・概要	<p>【目的】 小学校児童が、英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付ける。</p> <p>【概要】 北条小学校、大栄小学校に各1名配置。(週1日、7時間勤務) 1～4年生の英語に触れる活動、5・6年生の外国語活動を担任とともに行う。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 外国語指導員が話す英語に関心を持って聞き取ったり、英語で伝えようとしたりし、英語を使ってのコミュニケーションの素地を養うことができる。 英語を話す指導員の姿に触れることで、英語で話すことへのあこがれや意欲が育つ。</p>									
具体的な取り組み	担任と一緒に5・6年生の外国語活動、1～4年生の英語に触れる活動を行う 内容や児童の実態に応じて、担任、ALT(外国語指導助手)と一緒に授業を行うこともある。 授業の打ち合わせ 教材研究・教材準備									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位									
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		780	735						
	予算額(千円)		840	840	840					
主な予算科目		賃金		賃金						
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	外国語教育指導員 ・対象: 小学校児童 ・内容: 1~4年英語に触れる活動、5・6年外国語活動の指導を担当と一緒に ・指導: 各小学校に1名配置					
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	840 735	今年度 決算見込額	723	差引	117 735
成果・効果	外国語指導員が話す英語に関心を持って聞き取ったり、英語で積極的に伝えようとした。							
課題	担任、ALTとの授業の打ち合わせが多く、勤務時間を超過してしまうことがある。							
改善方針	事前に活動案を担当が準備し、打ち合わせの効率化を図る。 活動案、教材は学校で共有する。							
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	外国語教育指導員 ・対象: 小学校児童 ・内容: 1~4年英語に触れる活動、5・6年外国語活動の指導を担当と一緒に ・指導: 各小学校に1名配置						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	840 735	今年度 決算見込額	723	差引	117 735
成果・効果	外国語指導員が話す英語に関心を持って聞き取ったり、英語で積極的に伝えようとした。							
課題	担任、ALTとの授業の打ち合わせが多く、勤務時間を超過してしまうことがある。							
改善方針	事前に活動案を担当が準備し、打ち合わせの効率化を図る。 活動案、教材は学校で共有する。							
内部評価	評価	【意見等】	外国語指導員が話す英語に関心を持ち、英語を使ってのコミュニケーションの素地を養うことができた。 英語を話す指導員の姿に触れることで、英語で話すことへのあこがれや意欲が育っている。					

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	25
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	特別支援教育補佐員の配置						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	4 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育					P8 P19 P20	無
	具体的な目標	8 特別支援教育の充実					その他共通ビジョン項目 4-5	
事業の目的・概要	<p>【目的】 個別に配慮を要する児童生徒の支援に加え、平成25年度は、命にかかわる児童への学校生活において十分な配慮を行うとともに各児童の特性に合った学習指導を行う。</p> <p>【概要】 各小学校に2名、各中学校に1名の特別支援教育補佐員を配置し、個別に配慮を要する児童生徒の学校生活における支援を行う。</p>							
事業の効果	<p>【効果】 ・通常学級に在籍する児童生徒を個別に支援することで困り感を解消できる。 ・病気や障がいにより学校生活に個別の配慮が必要な児童に対し個別に支援することで困り感を解消する。 ・各児童生徒の特性にあった学習指導を行い、子どもたちの豊かな育ち・学びの推進を図る。</p>							
具体的な取り組み	<p>・各小学校 2名、各中学校 1名配置 ※特別支援教育補佐員(臨時職員):週5日 7時間45分勤務 ・通常学級に在籍する個別に配慮を要する児童生徒への学習等の支援を行い、困り感の解消をする。 ・通常学級全体の学級経営をよりきめ細かく対応し、各児童生徒の基礎学力の向上を図る。 ・病気や障がいにより個別の支援が必要な児童に対し学校生活の支援をすることで、個々の学習や生活習慣、社会性を習得する。</p>							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25			
	認定就学者(北条小1人)		0	0	1			
病気等配慮(大栄小2人)		0	1	2				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	
	決算額(千円)		7,655	7,700				
	予算額(千円)		7,959	7,740	11,658			
主な予算科目		賃金4人(小・中各1人)	賃金4人(小・中各1人)	賃金6人(小各2人、中各1人)				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	個別の支援が必要な児童生徒が増えてきているが、増員する必要はないか。
			B					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	現状と予算、学校運営を検討し必要であれば増員の要求をした。
			C					
※評価委員記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A	= 目標を大幅に達成できた	D	= 目標を一部達成できなかった
B	= 目標をいくらか超えて達成できた	E	= ほぼ全く達成できなかった
C	= 目標どおり達成できた		

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・小学校2校に各2名、中学校2校に各1名 合計6名を配置。 ・北条小: ダウン症1名、心疾患1名、大栄小: 重度アレルギー1名、肺疾患1名を中心に学校生活及び学習を支援 ・小・中学校4校: 特別支援学級入級児童生徒及び通常学級に在籍する個別に配慮を要する児童生徒に対し、学校生活・学習の困り感を解消する支援				
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25		
		認定就学者数(北条小)		0	0	1		
		病気等配慮必要者数(北条小)		0	0	1		
		病気等配慮必要者数(大栄小)		0	1	2		
	事業費(千円)		今年度予算額	11,658	今年度		差引	11,658
		前年度決算額	7,700	決算見込額			7,700	
成果・効果	・ダウン症児童の特性に合った学習や生活の支援が実施できた。 ・心・肺疾患、重度アレルギー児童に対し個別な配慮を行うことにより、安全な学習や生活を送ることができた。 ・特別支援学級、通常学校に在籍する配慮を要する児童生徒の学習・生活の支援を行い豊かな育ちに取り組んだ。							
課題	・通常学級に潜在する個別に配慮を要する児童の把握・支援が必要。							
改善方針	●「継続」 ・児童生徒に対しきめ細かな学習・生活を支援を行い、豊かに育ち・学ぶことができる学校環境づくりが必要。							
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・小学校2校に各2名、中学校2校に各1名 合計6名を配置。 ・北条小: ダウン症1名、心疾患1名、大栄小: 重度アレルギー1名、肺疾患1名を中心に学校生活及び学習を支援。 ・小・中学校4校: 特別支援学級入級児童生徒及び通常学級に在籍する個別に配慮を要する児童生徒に対し、学校生活・学習の困り感を解消する支援。						
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25		
		認定就学者数(北条小)		0	0	1		
		病気等配慮必要者数(北条小)		0	0	1		
		病気等配慮必要者数(大栄小)		0	1	2		
	事業費(千円)		今年度予算額	11,658	今年度		差引	11,658
		前年度決算額	7,700	決算見込額			7,700	
成果・効果	・ダウン症児童の特性に合った学習や生活の支援が実施できた。 ・心・肺疾患、重度アレルギー児童に対し個別な配慮を行うことにより、安全な学習や生活を送ることができた。 ・特別支援学級、通常学校に在籍する配慮を要する児童生徒の学習・生活の支援を行い豊かな育ちに取り組んだ。							
課題	・通常学級に潜在する個別に配慮を要する児童の把握・支援が必要である。							
改善方針	●「継続」 ・障がいや疾病等個別に配慮を要する児童生徒に対しきめ細かな学習・生活を支援を行い、豊かに育ち・学ぶことができる学校環境づくりが必要である。							
内部評価	評価	【意見等】・担任を中心としながら、特別支援教育補佐員が個別に配慮を要する児童の生活及び学習を支援することにより、児童生徒全体の豊かな育ちと学びを行う環境とすることができた。 ・命にかかわる疾病等による児童を支援することで安全な学校生活を行うことができた。						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	29
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	学校における人権教育の推進							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	1 学校人権教育の推進								
事業の目的・概要	【目的】 豊かな心を持つ人を育成する。 【概要】 各学校が人権教育全体計画を作成し、教育活動を実施する。									
事業の効果	【効果】 人権教育全体計画を作成して教育活動を実施することで、豊かな心を持つ人を育成することにつながる。									
具体的な取り組み	人権教育全体計画の作成 人権教育全体計画に沿った教育活動の実施									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H25							
	人権教育全体計画の作成/回		1							
	人権教育推進についての振り返り/回		1							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)									
	予算額(千円)									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
			C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】 0
	成果・効果							
	課題							
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	人権教育全体計画の作成 人権教育全体計画に沿った教育活動の実施						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H25				
		人権教育全体計画の作成/回		1				
		人権教育推進についての振り返り/回		1				
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】 0	
	成果・効果	人権教育全体計画を作成して教育活動を実施することで、豊かな心を持つ人を育成することにつながる。						
課題	特になし							
改善方針	取組のさらなる充実を図る							
内部評価	評価	【意見等】計画に基づき、実施することができた。						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	26
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	社会教育講演会事業						今年のごと	チラシ等	
							P26	有 17	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	2 生涯学習の推進							
事業の目的・概要	【目的】 生涯学習の推進 【概要】 宝くじ文化公演会の開催								
事業の効果	【効果】 町民の教養・文化活動への関心を高める。								
具体的な取り組み	・宝くじ文化公演会の開催 日時：10月12日(土曜日) 10:00～ 場所：大栄農村環境改善センター 講師：渡部陽一 氏 演題：世界からのメッセージ ～希望のある明日のために～								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		人						
	入場者数		300						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		27	14					
	予算額(千円)		36	35	35				
主な予算科目		消耗品、食糧費	消耗品、食糧費	消耗品、食糧費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	講演を聞きたいが入場できない人に対し聞かれるよう配慮してはどうか。	
		D	C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	(H23)整理券配布を1人3枚限定から(H24)1人2枚に限定した。	
		C	B						
※評価委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位									
		事業費 (千円)		今年度予算額	35	今年度		差引	35	【説明】	
				前年度決算額	14	決算見込額			14		
	成果・効果	入場整理券(500枚)配布済み。※1人2枚まで									
課題											
改善方針											
外部評価	予算編成に対する意見										

(3) 最終評価

事務局	事業実績	総席数404席の内、入場者375人									
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		人							
		入場者数		375							
		事業費 (千円)		今年度予算額	35	今年度		差引	11	【説明】消耗品21千円、食糧費3千円	
			前年度決算額	14	決算見込額	24		14			
成果・効果	町民の教養・文化活動への関心を高められた。										
課題	未就学児を運れた人が入場できるようにする。										
改善方針	託児の実施										
内部評価	評価	C									
		【意見等】									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	27
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	社会教育推進事業(生涯学習出前講座提供事業)						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町					P26	有 18
	具体的な目標	2 生涯学習の推進					その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	【目的】 地域や団体が主体的に学習できる体制を作ることで、学習への意欲の向上を図る。 【概要】 生涯学習出前講座の実施							
事業の効果	【効果】 「いつでも・どこでも・だれでも」生涯学習への意欲向上が図れる。 自治会・住民団体等の主体的な活動を支援することで自発的で、活力のある地域づくりにつなぐ。							
具体的な取り組み	年間を通じ、生涯学習出前講座72講座を提示し、提供する。							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		回	回	回			
	回数		38	36	38以上			
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	
	決算額(千円)		23	15				
	予算額(千円)		74	67	67			
	主な予算科目		報償費(謝礼) 消耗品	報償費(謝礼) 消耗品	報償費(謝礼) 消耗品			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
		D	C					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
		D	B					
※評価委員 記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		回						
		講座開催回数		21						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	67 15	今年度 決算見込額	差引	67 15	【説明】		
	成果・効果	各自治会、いきいきサロン、老人クラブからの申し込みが多い。								
課題										
改善方針										
外部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	H25. 12. 27現在で36講座を実施した。										
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位										
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	67 15	今年度 決算見込額	4	差引	63 15	【説明】事務用品代4千円			
		成果・効果	自治会長会等でのチラシ配布・周知等によりだいぶ定着してきている。現在、1団体実施予定。目標を達成する見込みあり。									
	課題	自治会・団体以外の利用が少ない。										
改善方針	町報・HP等を活用して、団体以外の方の利用を促す。											
内部評価	評価	C	【意見等】 今後は、メニューの上手な活用方法などの周知を工夫し、出前講座の良さをより知っていただく取組みも重要。									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	28
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	町民音楽祭開催							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						P27	無
	具体的な目標	2 地域文化とのふれあいを深める教育の推進						その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】音楽に触れる機会を作ると共に町内で音楽(合唱など)活動にがんばっている人たちに発表の場を提供する。</p> <p>【概要】町民音楽祭(北栄町コーラスフェスティバル)の開催(11月中・下旬:中学校の文化祭終了後予定)</p>								
事業の効果	<p>【効果】これまで町として合唱・コーラス等の発表の場が少なく、こうしたイベントを通じて活動の活発化をはかる。</p>								
具体的な取り組み	<p>町民音楽祭の開催 ※11月中・下旬:中学校文化祭終了後(予定) (開催だけでなく、練習場所の提供など。基本的に運営は実行委員会がおこなう。)</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	参加グループ		6	8	7				
	観覧者		200	280	300				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		45	45					
	予算額(千円)		53	98	111				
	主な予算科目		印刷製本費 (ポスター等製作)	印刷製本費 (ポスター等製作)					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了				
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位					
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 0	
	成果・効果						
課題							
改善方針							
外部評価	予算編成に 対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	平成25年11月10日(日)第3回北栄町コーラスフェスティバルの開催								
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
		参加グループ		6	8	7				
		観覧者		200	280	300				
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	111 45	今年度 決算見込額	100	差引	11【説明】ポスター・チラシ代92千円 45 事務用品代8千円		
	成果・効果	小学生から愛好家団体まで幅広い年齢層の方の参加があった。								
課題	学生の出番が終わると観客が減ってしまった。 実行委員会形式が未定着									
改善方針	最後まで聞いてもらう工夫が必要(順番を変える)。									
内部評価	評価	【意見等】 みんなの町民音楽祭、住民主体の音楽祭として、より定着させていく取組みが必要。								
	C									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	29
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	人権の花運動の実施						今年のごと	チラン等	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						P25	有 19
	具体的な目標	3 人権教育の推進						その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 花を育てることを通して、命の尊さを学び、友達と協力する心、豊かな心、思いやりの心を養う。</p> <p>【概要】 5月21日(火)、北条小学校、大栄小学校で人権擁護委員が花の苗654株等を贈呈。児童と一緒にプランターへの移植作業を行う。以後、児童が水遣り等の管理を行い栽培する。</p>								
事業の効果	【効果】 人や物を大切にし、相手を思いやる心が育つ								
具体的な取り組み	6種類の花の苗、計654株を北条小学校と大栄小学校に贈呈。 北条小学校は栽培委員会、 大栄小学校は環境ボランティア委員会 が中心となって水遣りや花壇への植え替えなど、花の管理を行う。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	贈呈花苗数(株)		700	600	654				
参加児童・教職員(人)		477	470	470					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		85	90					
	予算額(千円)		86	92	93				
主な予算科目		需用費	需用費	需用費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	苗より種からという意見も取り入れてほしい。以前から経費や趣旨の面から「種から」との意見を事業主体へ伝えてほしいと言っていたが、伝わっているのか。	
		C	C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	従来どおり花苗から育てるが、事業の主旨をしっかりと児童に伝える。	
		C	C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み	5月21日、人権擁護委員によって、花苗654株や「思いやりの心を育てよう 人権の花運動」と記したプランター等を両小学校に贈呈し、人権擁護委員と児童と一緒にプランターへの移植作業を行った。また、児童や教職員が協力して水遣り等を行い花を育てた。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		贈呈花苗数(株)		700	600	654			
		参加児童・教職員(人)		477	470	910			
	事業費(千円)		今年度予算額	97	今年度	97	差引	0	【説明】 資材単価のアップ
			前年度決算額	90	決算見込額			-7	
成果・効果	花を育てることを通して、生命を慈しむ心、相手を思いやる優しい心を育むことができ、人権尊重精神の素地形成に効果があった。また、来校者が人権標語入りのプランター等を見ることにより、人権啓発の推進に資するものとなっている。								
課題	北条小学校は栽培委員会中心、大栄小学校は環境ボランティア委員会が中心となって栽培・管理しているが、その他の児童に対して、事業の趣旨をより理解してもらうための対応も必要。贈呈式以降の人権擁護委員と児童等との関わりが少ない。								
改善方針	人権擁護委員による校内での人権学習参加を行い、事業趣旨等の説明を行う。(引き続き継続)								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	5月21日、人権擁護委員によって花苗654株や「思いやりの心を育てよう 人権の花運動」と記したプランター等を両小学校に贈呈し、人権擁護委員と児童と一緒にプランターへの移植作業を行った。また、児童や教職員が協力して水遣り等を行い花を育てた。							
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		贈呈花苗数(株)		700	600	654			
		参加児童・教職員(人)		477	470	910			
	事業費(千円)		今年度予算額	97	今年度	97	差引	0	【説明】 資材単価のアップ
			前年度決算額	90	決算見込額			-7	
成果・効果	花を育てることを通して、生命を慈しむ心、相手を思いやる優しい心を育むことができ、人権尊重精神の素地形成に効果があった。また、来校者が人権標語入りのプランター等を見ることにより、人権啓発の推進に資するものとなっている。								
課題	北条小学校は栽培委員会中心、大栄小学校は環境ボランティア委員会が中心となって栽培・管理しているが、その他の児童に対して、事業の趣旨をより理解してもらうための対応も必要。贈呈式以降の人権擁護委員と児童等との関わりが少ない。								
改善方針	人権擁護委員による校内での人権学習参加を行い、事業趣旨等の説明を行う。(引き続き継続)								
内部評価	評価	C							
	意見等								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	30
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	人権教育小地域懇談会の開催							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町							P27	無
	具体的な目標	3 人権教育の推進							その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 町民の人権意識を高めるとともに、差別や偏見などを自らの問題として捉え、積極的に正していこうと行動できる人を育てる。</p> <p>【概要】 さまざまな人権問題のなかから、全63自治会が学習テーマを決定し、自主的、主体的な取り組みとして懇談会等を実施する。</p>									
事業の効果	【効果】 人権が尊重され、暮らしやすいまちづくりを推進する。									
具体的な取り組み	さまざまな人権課題や学習方法に対応出来るよう、学習メニュー案を複数提示するとともに、自治会独自の学習テーマにも柔軟に対応して、自治会が主体となって行うことを周知するなかで、自らの問題としてより多くの方に参加していただく。									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	実施自治会数		63	63	63					
	参加者数		1,080	1,008	1,100					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		549	520						
	予算額(千円)		551	688	672					
	主な予算科目		報償費 需用費 備品購入費	報償費 需用費 備品購入費	報償費 需用費 備品購入費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	平成23年度評価「D」よりさらに参加者が減っている。まず会場にきてもらうことが必要。 話すのが苦手な人に手立てが必要。 参加しにくい雰囲気がある。意見が言えなくなっている。 ビデオ視聴、話を聞くだけでも良いのではないか。 広く人権を考えてもらう研修として、参加しやすいメニュー設定の工夫を図る。		
		D	D							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
		C	D							
※評価委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み	9月～11月に全63自治会で実施。学習メニュー案を九つ設定。話すのが苦手な人に対する手立てとして、ビデオ視聴やミニ講演等のあとに懇談を行わない学習パターンを追加。また、「堅苦しい」などの固定化したイメージを払拭し、さまざまな人権課題に対応した会であることをアピールするため、会の名称を「人権を学ぶ会」に変更。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実施自治会数		63	63	63			
		参加者数		1,080	1,008	1,074			
	事業費(千円)		今年度予算額	672	今年度決算見込額	514	差引	158	【説明】 報償費の減
			前年度決算額	520				6	
成果・効果	参加者の人権意識の醸成と高揚を図り、人権が尊重された住みよい地域社会づくりを推進した。参加者アンケートで、「懇談がないことにより気楽に参加できた。」「ビデオを見るだけでも勉強になった」など、好意的な意見が多く寄せられており、参加者が僅かながら増加した一因と考える。								
課題	懇談を行わない学習パターンは、人権意識が深まらない、本来の学習のスタイルではないなどの否定的な意見があり、再度、手法について関係者の意思統一が必要。								
改善方針	しばらくは、参加者を増やすことを目的として、懇談のない学習パターンを設けることを継続し、自然発生的に懇談が始まっても、発言を強制しないことを基本として、臨機応変に対応する。(引き続き継続)								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	学習メニュー案を九つ設定。話すのが苦手な人に対する手立てとして、ビデオ視聴やミニ講演等のあとに懇談を行わない学習パターンを追加。また、「堅苦しい」などの固定化したイメージを払拭し、さまざまな人権課題に対応した会であることをアピールするため、会の名称を「人権を学ぶ会」に変更。全63自治会で実施した。							
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実施自治会数		63	63	63			
		参加者数		1,080	1,008	1,074			
	事業費(千円)		今年度予算額	672	今年度決算見込額	514	差引	158	【説明】
			前年度決算額	520				6	
成果・効果	参加者の人権意識の醸成と高揚を図り、人権が尊重された住みよい地域社会づくりを推進した。参加者アンケートで、「懇談がないことにより気楽に参加できた。」「ビデオを見るだけでも勉強になった」など、好意的な意見が多く寄せられており、参加者が僅かながら増加した一因と考える。(懇談がないパターンは増加、あるパターンは減少となった)								
課題	懇談を行わない学習パターンは、人権意識が深まらない、本来の学習のスタイルではないなどの否定的な意見があり、再度、手法について関係者の意思統一が必要。								
改善方針	しばらくは、参加者を増やすことを目的として、懇談のない学習パターンを設けることを継続し、自然発生的に懇談が始まっても、発言を強制しないことを基本として、臨機応変に対応する。(引き続き継続)								
内部評価	評価	【意見等】 まず、受け入れられるという観点、すべての人の人権が尊重されることから再出発することが大切。							
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	31
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	小中学生の人権学習会の開催							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						P27	無
	具体的な目標	3 人権教育の推進						その他共通ビジョン項目 3-7	
事業の目的・概要	<p>【目的】 さまざまな人権問題に関わる差別や偏見に気づき、解消する力を育てる。</p> <p>【概要】 参加を希望する児童・生徒を対象として、学校の人権学習と連動した人権学習を行い、人権に関する知識や認識を広げたり、深めたりして差別を解消する力を育てる。</p>								
事業の効果	【効果】 人権に関する知識や認識が深まり差別を解消する力が育つ。								
具体的な取り組み	<p>町内小中学校単位で実施し、学校教諭が学校の人権学習と連動した人権学習を指導する。</p> <p>学校を通して参加を希望する児童・生徒を募集する。</p> <p>会場は、北条小学校が大野児童館、北条中学校が北条文化会館、大栄小学校と大栄中学校が大栄文化センターで開催する。</p> <p>小学校が年間20回程度、中学校が年間32回程度実施する。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	実施回数(回)		126	128	100				
参加児童・生徒(人)		38	36	36					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		1,075	1,084					
	予算額(千円)		1,322	1,316	916				
主な予算科目		報償費 需用費	報償費 需用費	報償費 需用費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	差別に立ち向かう力を養ってほしいと同時に差別をしない子どもを育てることも必要である。	
課題に対する改善状況	内部評価	B	B						
		C	C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	大栄小学校児童、大栄中学校生徒の参加希望者は大栄文化センターを会場に実施中。北条小学校児童は大野児童館を会場に実施し、12月6日に終了。いずれも各小・中学校の教職員が指導者となって、学校の人権学習と連動した学習を行っている。					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実施回数(回)		126	128	57			
		参加児童・生徒(人)		38	36	20			
		事業費(千円)		今年度予算額 前年度決算額	916 1,316	今年度 決算見込額	911	差引	5 405
成果・効果	人権に関する正しい知識や理論を学ぶことにより、差別や偏見に負けず、それを正していくための力を身に付けることができる。また、地域の歴史や現状を学習し、地域に愛着と誇りを持つことができる。								
課題	人権学習に特化し、さらに学習対象者を地区児童・生徒に限定せず、参加を希望するすべての児童・生徒とすることで、差別や偏見解消の取り組みが広がりのあるものとなることを狙ったが、地区外の児童・生徒の参加はなく、地区内児童・生徒の中にも不参加者がでた。参加者を増やす取り組みが必要。								
改善方針	地区内はもとより、地区外児童・生徒及びその保護者に対して、地域における人権学習の意義について事前に十分な説明を行い、参加の動機付けを図る。(引き続き継続)								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	大栄小学校児童は10人、大栄中学校生徒は4人、北条小学校児童は6人の参加。北条中学校生徒は参加無し。小学校は20回、中学校は32回実施。							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実施回数(回)		126	128	69			
		参加児童・生徒(人)		38	36	20			
		事業費(千円)		今年度予算額 前年度決算額	916 1,316	今年度 決算見込額	911	差引	5 405
成果・効果	人権に関する正しい知識や理論を学ぶことにより、差別や偏見に負けず、それを正していくための力を身に付けることができる。また、地域の歴史や現状を学習し、地域に愛着と誇りを持つことができた。								
課題	人権学習に特化し、さらに学習対象者を地区児童・生徒に限定せず、参加を希望するすべての児童・生徒とすることで、広がりのある差別や偏見解消の取り組みとなることを狙ったが、地区外の児童・生徒の参加はなく、地区内児童・生徒の中にも不参加者がでた。参加者を増やす取り組みが必要。								
改善方針	地区内はもとより、地区外児童・生徒及びその保護者に対して、地域における人権学習の意義について事前に十分な説明を行い、参加の動機付けを図る。(引き続き継続)								
内部評価	評価	D	【意見等】地区児童・生徒に限定せず、参加を希望するすべての児童・生徒に対して人権学習に取り組む。						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	32
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	人権教育講演会の開催							今年のごと	チラシ等	
								P25	有 20	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	4 人権尊重まちづくりの推進								
事業の目的・概要	【目的】 人権に関する講演会を開催し、人権課題に対する理解を深め、人権意識の高揚を図る。 【概要】 外部講師により人権に関する講演会を開催する。									
事業の効果	【効果】 さまざまな人権課題に対する認識が深まり、人権意識の高揚が図れる。									
具体的な取り組み	7月18日(木)午後7時30分から、大栄農村環境改善センターで、講師に教育サポーターの仲島正教さんを招き、「あーよかったな あなたがいて ~つながりと感動~」という演題で、幼児期から思春期かけての子育てを通じた人権教育を内容とした講演会を開催。									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	参加者数(人)		301	-	400					
	参加者の満足度(%)		60	-	75					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		237	0						
	予算額(千円)		272	0	229					
	主な予算科目		報償費 需用費		報償費 需用費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	定員400名の会場を設定するなら、参加者の増加が必要。集客方法について、広報活動を重点的に検討。		
	C									
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
	C									
※評価委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み	7月18日(木)午後7時30分から、大栄農村環境改善センターで、講師に教育サポーターの仲島正教さんを招き、「あーよかったな あなたがいて ~つながりと感動~」という演題で、幼児期から思春期かけての子育てを通した人権教育を内容とした講演会を開催。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		参加者数(人)		301	-	247			
		参加者の満足度(%)		60	-	96			
	事業費(千円)		今年度予算額	225	今年度決算見込額	225	差引	0	【説明】 H24は未実施(人権フェスティバルに代えた)
成果・効果	例年、各種人権問題に関する「気づき」の場となっている。今回は、参加者の満足度が極めて高く、子どもの人権を考えることを通して人権全般について認識が高まった。								
課題	参加者数が目標400人に対して約61%の247人にとどまった。PTA関係者には多く参加していただいたが、一般参加者をさらに増やす必要がある。								
改善方針	事業所や各種団体等に対して直接周知や参加依頼を行う。(引き続き継続)								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	7月18日(木)午後7時30分から、大栄農村環境改善センターで、講師に教育サポーターの仲島正教さんを招き、「あーよかったな あなたがいて ~つながりと感動~」という演題で、幼児期から思春期かけての子育てを通した人権教育を内容とした講演会を開催。							
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		参加者数(人)		301	-	247			
		参加者の満足度(%)		60	-	96			
	事業費(千円)		今年度予算額	225	今年度決算見込額	225	差引	0	【説明】 H24は未実施(人権フェスティバルに代えた)
成果・効果	参加者の満足度が極めて高く、子どもの人権を考えることを通して人権全般について認識が高まった。								
課題	参加者数が目標400人に対して約61%の247人にとどまった。PTA関係者には多く参加していただいたが、一般参加者をさらに増やす必要がある。								
改善方針	事業所や各種団体等に対して直接周知や参加依頼を行う。								
内部評価	評価	【意見等】							
		D							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	33
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	人権教育事業所研修の実施							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						P27	無
	具体的な目標	4 人権尊重まちづくりの推進						その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 事業所経営者や従業員の方で人権教育講演会や懇談会等に参加しにくい方へ人権問題に関心を持っていただくため、事業所の自主的な実施の依頼や、こちらから講師として出向き研修を実施する。</p> <p>【概要】 事業所に自主的に人権研修を実施していただくよう要請し、学習内容の助言等を行ったり事業所に出向いて研修を実施する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 人権研修機会が増え、より多くの人に人権研修を行っていただくことにより、人権尊重のまちづくりが一層推進できる。</p>								
具体的な取り組み	事業所に対し、事業所経営者や従業員を対象とした人権研修の実施を依頼し、学習内容や学習教材のアドバイスをしたり、講師として指導を行う。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名／単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	実施事業所数		18	15	16				
参加者数(人)		802	674	700					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		0	0	0				
	予算額(千円)		0	0	0				
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	事業所を増やしてほしい。	
		C	C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	新規の事業所に実施を呼びかけるとともに、実施困難な事業所には、町主催の人権教育講演会などへの参加を促す予定。	
		C	C	C					
※評価委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	現在随時実施中。12月末で11事業所(508人)が実施。					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実施事業所数		18	15	11			
		参加者数(人)		802	674	508			
	事業費(千円)		今年度予算額	0	今年度		差引	0	【説明】
		前年度決算額	0	決算見込額	0		0		
成果・効果	人権研修機会や教材等の提供を行い、北栄町内事業所(職員)に対する人権意識高揚を図っている。								
課題	町内大手や中堅事業所は例年実施しているところが多いが、中小事業所は開催が進んでいない。								
改善方針	中小事業所に対して、文書等により開催の呼びかけを行ってみる。また、独自実施が困難な事業所に対しては、県・町等行う講演会等の案内を行い職員個々での参加を促していただく。(引き続き継続)								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	人権教育推進員が主になって、各事業所が必要とする研修課題に関する教材等の助言や講師として参加。16事業所、延べ700人(見込み)の参加。							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実施事業所数		18	15	16			
		参加者数(人)		802	674	700			
	事業費(千円)		今年度予算額	0	今年度		差引	0	【説明】
		前年度決算額	0	決算見込額	0		0		
成果・効果	人権研修機会や教材等の提供を行い、北栄町内事業所(職員)に対する人権意識高揚を図った。								
課題	町内大手や中堅事業所は例年実施しているところが多いが、中小事業所は開催が進んでいない。								
改善方針	中小事業所に対して、文書等により開催の呼びかけを行ってみる。また、独自実施が困難な事業所に対しては、県・町等行う講演会等の案内を行い職員個々での参加を促していただく。(引き続き継続)								
内部評価	評価	【意見等】	新規の事業所に実施を呼びかけるとともに、実施困難な事業所には、町主催の人権教育講演会などへの参加を促す予定。						
	C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	34
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	人権教育推進指導員、地区推進員等の研修						今年のごと P27	チラシ等 無	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	5 関係諸機関、団体との連携及び指導者の育成							
事業の目的・概要	<p>【目的】 町又は自治会における人権教育の推進役としてスキルアップを図る。</p> <p>【概要】 研修会の開催や資料の提供。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 推進指導員においては、小地域懇談会等での適切な指導や助言ができ、地区推進員においては、研修テーマや研修方法について主体的に決定し、運営することができる。</p>								
具体的な取り組み	<p>人権教育推進指導員は、人権教育小地域懇談会の前に会議を2回開催し、事前研修を行うとともに、小地域懇談会の全日程終了後、総括会議を開き、改善点等について検討する。 人権教育地区推進員も、小地域懇談会前に2回の会議を開催し、実施に当たっての留意事項等について把握をしていただく。また、2月頃に外部講師による研修会を開催する。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	推進指導員の会議参加(人)		32/46	31/42	34/42				
	地区推進員の研修会参加(人)		207/332	218/335	224/333				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		60	56					
	予算額(千円)		60	80	80				
主な予算科目		報償費		報償費	報償費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
		C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
		C							
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	「人権を学ぶ会」の開催に向けて人権教育推進指導員会議を3回、人権教育地区推進員会議を2回開催した。12月に4回目の推進指導員会議、2月に3回目の地区推進員会議(研修会)を予定。						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
		推進指導員の会議参加(人)		32/46	31/42	30/39				
		地区推進員の研修会参加(人)		207/332	218/335	138/222				
	事業費(千円)		今年度予算額	80	今年度決算見込額	52	差引	28	【説明】 推進指導員の人数不足	4
	前年度決算額		56							
成果・効果	個々の人権に関する問題意識を高めていった。特に、3回目の推進指導員会議では、「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」について理解を深め、町民に対する人権啓発推進を図った。									
課題	人権教育地区推進員は、毎年半数以上が新任者であり、多くの自治会では自主的な人権学習の実施につながっていない。また、人権教育推進指導員が減り、一人当たり自治会訪問回数が増えるなど、負担感が高くなっている。									
改善方針	人権教育地区推進員が真の「推進員」となるよう、2月に実施する地区推進員研修会で、役割認識を高める内容の研修を行う。また、推進指導員の確保に向けて、有識者や各種関係団体等に対して要請を行っていく。(引き続き継続)									
外部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	「人権を学ぶ会」の開催に向けて人権教育推進指導員会議を3回、人権教育地区推進員会議を2回開催した。12月に4回目の推進指導員会議、2月に3回目の地区推進員会議(研修会)を開催。								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
		推進指導員の会議参加(人)		32/46	31/42	39/52				
		地区推進員の研修会参加(人)		207/332	218/335	138/332				
	事業費(千円)		今年度予算額	80	今年度決算見込額	52	差引	28	【説明】 推進指導員の人数不足	4
	前年度決算額		56							
成果・効果	個々の人権に関する問題意識を高めていった。特に、3回目の推進指導員会議では、「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」について理解を深め、町民に対する人権啓発推進を図った。									
課題	人権教育地区推進員は、毎年半数以上が新任者であり、多くの自治会では自主的な人権学習の実施につながっていない。また、人権教育推進指導員が減り、一人当たり自治会訪問回数が増えるなど、負担感が高くなっている。									
改善方針	人権教育地区推進員が真の「推進員」となるよう、地区推進員研修会で、役割認識を高める内容の研修を行う。また、推進指導員の確保に向けて、有識者や各種関係団体等に対して要請を行っていく。(引き続き継続)									
内部評価	評価	【意見等】 指導員を増やす具体的な取組みと住民主体の人権を学ぶ会の開催実現に対する取組みを行うこと								
	D									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	30
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	研修会、講座、教室等の開催(交流)							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 隣保館活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を通して、人権啓発と人権課題の解決を図る。</p> <p>【概要】 地域社会全体のなかで福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を行う。</p>								
事業の効果	【効果】 人権啓発と人権課題の解決を推進することができる。								
具体的な取り組み	習字教室、生花教室、創作教室などの各種教室の開催による地域交流活動や人権教育講座、現地研修の開催などにより、福祉の向上や人権啓発、人権課題の解決を推進する。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	教室等実施回数		178	179	年間158回				
	参加者数								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		390	415					
	予算額(千円)		472	496	496				
主な予算科目		報償費		報償費	報償費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	習字教室、生花教室、創作教室などの各種教室、人権教育講座、現地研修の開催中。 大栄文化センター のべ41回開催。北条文化会館 のべ60回開催。					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		教室等実施回数		178	179				
		参加者数							
	事業費(千円)		今年度予算額	496	今年度決算見込額	448	差引	48【説明】	
		前年度決算額	415				-33		
成果・効果	各種教室、人権教育講座の開催を通して、地域住民の交流を図ると共に、人権問題に関する住民意識の高揚を図っている。								
課題	各種教室生や人権教育講講座の参加者が少ない。								
改善方針	町報、館だよりをはじめとする広報を年度中途においても定期的に行い、参加者を増やす取り組みを行う。また、直接声掛けをおこない勧誘する。(引き続き継続)								
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	習字教室、生花教室、創作教室などの各種教室、人権教育講座、現地研修の開催。 大栄文化センター のべ66回開催。北条文化会館 のべ85回開催。(見込み)							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		教室等実施回数		178	179	151			
		参加者数							
	事業費(千円)		今年度予算額	496	今年度決算見込額	448	差引	48【説明】	
		前年度決算額	415				-33		
成果・効果	各種教室、人権教育講座の開催を通して、地域住民の交流を図ると共に、人権問題に関する住民意識の高揚を図っている。								
課題	各種教室生や人権教育講講座の参加者が少ない。								
改善方針	町報、館だよりをはじめとする広報を年度中途においても定期的に行い、参加者を増やす取り組みを行う。また、直接声掛けをおこない勧誘する。(引き続き継続)								
内部評価	評価	D	【意見等】実施回数より参加人数に着目し、交流、理解が促進される取組みを検討すること。						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	31
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	集会・教室等の開催							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 児童館活動の推進								
事業の目的・概要	<p>【目的】 季節に応じた行事などを実施し、児童館利用の推進を図り、児童の健全育成と情操を豊かにする</p> <p>【概要】 季節に応じた行事などを実施し、児童館活動の推進を図る</p>									
事業の効果	【効果】 児童の健全育成と情操を豊かにすることが期待できる									
具体的な取り組み	年間を通して、ちまき作り・七夕祭り・夏休み自由研究・正月遊び大会・ひな祭りなどの季節に応じた行事や、工作教室、交通安全教室、防災教室、こどもふれあい祭りなど各種行事を開催する。									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	教室等実施回数		39	39	年間36回					
参加者数										
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		143	129						
	予算額(千円)		247	223	139					
主な予算科目		賞金 需用費 負担金	賞金 需用費 負担金	賞金 需用費 負担金						
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	ちまき作り、お茶会(お月見)、たこ作りなどの季節に応じた行事や、さつまいもやじゃがいも植え・収穫などの農業体験、工作教室などを通して情操を育てている。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		教室等実施回数		39	39	24			
		参加者数							
		事業費(千円)	今年度予算額	139	今年度	139	差引	0	【説明】
	前年度決算額	129	決算見込額			-10			
成果・効果	工作教室、実験教室、農業体験、ちまきづくり、児童館宿泊、卓球大会、交通安全教室などの各種行事を実施。仲間作りと情操を育む場となっている。								
課題	利用者の範囲が、児童館所在地区の児童等がほとんどとなっている。								
改善方針	じどうかんだより(学校経由で配布)で、全町民を対象とした施設であることを周知。また、その他の広報手段を通して周知を図る。(引き続き継続)								
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	ちまき作り、お茶会(お月見)、たこ作りなどの季節に応じた行事や、さつまいもやじゃがいも植え・収穫などの農業体験、工作教室などを通して情操を育てた。							
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		教室等実施回数		39	39	32			
		参加者数							
		事業費(千円)	今年度予算額	139	今年度	139	差引	0	【説明】
	前年度決算額	129	決算見込額			-10			
成果・効果	工作教室、実験教室、農業体験、ちまきづくり、児童館宿泊、卓球大会、交通安全教室などの各種行事を実施。仲間作りと情操を育む場となっている。								
課題	利用者の範囲が、児童館所在地区の児童等がほとんどとなっている。								
改善方針	じどうかんだより(学校経由で配布)で、全町民を対象とした施設であることを周知。また、その他の広報手段を通して周知を図る。(引き続き継続)								
内部評価	評価	D	【意見等】 広く町内児童の健全育成に関われる取り組みを実施すること。児童館登録児童については、家庭も含めた関わりが持てる取り組みを進めること。						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	32
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	安全な遊び場の提供							今年のごと	チラン等	
教育ビジョン	小項目	5 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 児童館活動の推進								
事業の目的・概要	<p>【目的】 遊びを通して児童の健全育成と情操を豊かにする</p> <p>【概要】 遊戯室や室内遊具、図書の利用など</p>									
事業の効果	【効果】 遊びを通して児童の健全育成と情操を豊かにすることができる									
具体的な取り組み	原則日曜、祝祭日、年末年始の休みを除き、児童館を開館。									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	利用者数				前年度並み					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		8,281	8,308						
	予算額(千円)		8,647	8,760	8,649					
	主な予算科目		賃金 需用費 負担金	賃金 需用費 負担金	賃金 需用費 負担金					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28			
			C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	遊戯室を解放して遊びの場としている。また、図書室では、児童だけでなく、幼児と保護者が読み聞かせなどで利用している。					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		利用者数							
		事業費(千円)	今年度予算額	8,649	今年度決算見込額	8,649	差引	0【説明】	-341
	成果・効果	遊びを通して、健康な体づくりを推進。特に雨天時や猛暑、厳寒時などの遊びの場として有効。							
課題	利用者の範囲が、児童館所在地区の児童等がほとんどとなっている。								
改善方針	じどうかんだより(学校経由で配布)で、全町民を対象とした施設であることを周知。また、その他の広報手段を通して周知を図る。(引き続き継続)								
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	工作教室、実験教室、農業体験、ちまきづくり、児童館合宿、卓球大会、交通安全教室などの各種行事を実施。また、遊戯室を解放して遊びの場としている。							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25	H26	H27	H28
		利用者数							
		事業費(千円)	今年度予算額	8,649	今年度決算見込額	8,649	差引	0【説明】	-341
	成果・効果	遊を通して、健康な体づくりを推進。特に雨天時や猛暑、厳寒時などの遊びの場として有効。							
課題	利用者の範囲が、児童館所在地区の児童等がほとんどとなっている。								
改善方針	じどうかんだより(学校経由で配布)で、全町民を対象とした施設であることを周知。また、その他の広報手段を通して周知を図る。(引き続き継続)								
内部評価	評価	【意見等】全町民対象の施設として事業展開をすること。							
	D								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	34
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	スポーツ県外派遣費補助金							今年のごと	チラシ等					
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目						
	具体的な目標	3 部活動やスポーツクラブの充実と全国大会派遣												
事業の目的・概要	<p>【目的】 北栄町スポーツ県外派遣費補助金 県外のスポーツ大会に出場する小・中学生に対し、参加経費の一部を補助することにより、スポーツ振興に寄与する。</p> <p>【概要】 鳥取県・鳥取県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小・中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助する。</p>													
事業の効果	【効果】 本事業の実施により、町のスポーツ競技力向上を図る。													
具体的な取り組み	北栄町スポーツ県外派遣費補助金(平成26年1月6日現在) 申請 6件													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位													
事業費			H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	決算額(千円)		347		327									
	予算額(千円)		100		100		100							
主な予算科目		負担金補助及び交付金		負担金補助及び交付金		負担金補助及び交付金								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員 記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0	【説明】
							0	
	成果・効果							
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	北栄町スポーツ県外派遣費補助金(平成26年1月6日現在) 6件					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位	件				
		補助件数	6				
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	241 327	今年度 決算見込額	237	差引
	成果・効果	県外のスポーツ大会に出場する小・中学生に対し、参加経費の一部を補助することにより、スポーツ振興に寄与した。					
課題	補助申請者が、スポーツクラブなどに所属していない場合、申請事務が申請者の負担となってしまう。						
改善方針	事務局による申請書類作成の補助を行う。						
内部評価	評価	C	【意見等】				

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	35
担当課名	教育総務課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	生徒派遣費補助金							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	3 部活動やスポーツクラブの充実と全国大会派遣							
事業の目的・概要	<p>【目的】 文部科学省・中学校体育・文化連盟などが主催・共催する全国大会・中国大会に参加する経費を補助することにより、保護者の経済的負担軽減を図るとともに、学校教育における体育・文化活動の振興を図る。</p> <p>【概要】 学校教育に位置づけられる部活動が県大会などの選考会を経て参加する全国・中国大会の参加生徒及び外部指導者1名に対し、旅費、宿泊費、参加費の全額を補助する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・部活動において全国・中国大会出場を目標に掲げ活動の推進を図る。 ・運動部においては、体力の向上、文化部においては、芸術性の感性を磨くとともに、共通して専門的技量の向上を図る。 ・団体種目では、仲間づくりや協調性など人間力の向上を図る。</p>								
具体的な取り組み	<p>・部活動において県大会などの選考会を経て参加する全国・中国大会の参加費(旅費・宿泊費・参加費)の全額を補助する。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25				
	参加経費(2中学校)		1000 千円	893 千円	800 千円				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		864	887					
	予算額(千円)		1,000	893	800				
主な予算科目		補助金	補助金	補助金					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位								
		事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0:【説明】 0:			
		成果・効果								
	課題									
改善方針										
内部評価	予算編成に対する意見									

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・北条中:13部(全校199名)のうち3部 生徒5名、外部指導者2名、大栄中:12部(全校211名)のうち2部 生徒8名、外部指導者1名が、中国大会へ参加し、参加経費を補助し保護者の負担軽減を図った。 ・北条中:柔道部生徒1名、外部指導者1名、大栄中:柔道部 生徒1名、外部指導者1名が、全国大会へ参加し、参加経費を補助し保護者の負担軽減を図った。 ・部活動の取り組みの成果として、技術の向上や他県代表との競技を通じての交流を図ることができた。 								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25				
		中国大会参加(北条中)		1部 4名	0部 0名	3部 5名	バド、卓球、柔道			
		中国大会参加(大栄中)		3部 10名	2部 11名	2部 8名	柔道、陸上			
	全国大会参加(北条中)		1部 1名	1部 2名	1部 1名	柔道				
全国大会参加(大栄中)		1部 7名	1部 7名	1部 1名	柔道					
事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	800 887	今年度 決算見込額	686	差引	114:【説明】補助金 201			
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が高い志を持ち部活動に取り組むとともに、競技技術の向上や豊かな人間づくりの取り組みができています。 ・参加経費を補助することにより保護者の負担軽減を図っているとともに、家庭の事情に関係なく大会に参加できる環境づくりを行っている。 									
課題	・特になし。									
改善方針	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に位置づけられている部活動に伴う必要最低限必要な大会参加経費の補助であり、学校教育上必要なものであり、かつ、教育的な意義は高いと考える。 									
内部評価	評価	【意見等】						<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に位置づけられている部活動における参加経費の補助であり、必要なものであると考える。 ・高い志を掲げ、自ら取り組んだり、仲間づくり、協調性などが養うことができる。 ・保護者の負担軽減となっている。 		
		C								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	36
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	指定管理者北栄スポーツクラブによる各種スポーツ大会の実施						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町					その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	4 各種スポーツ大会の開催					6-6	
事業の目的・概要	<p>「北栄スポーツクラブ事業」として、</p> <p>【目的】 北栄スポーツクラブを指定管理者として町内体育施設の管理、主な社会体育事業の実施を委託し、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため、「だれもが、いつでも、どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する。</p> <p>【概要】 ① 北栄スポーツクラブ活動(事業名 北栄スポーツクラブ(ジュニアの部、成人の部)活動) ② 主な社会体育事業の実施(事業名 指定管理者北栄スポーツクラブによる各種スポーツ大会の実施) ③ 町内体育施設の管理(事業名 北栄スポーツクラブによる施設管理の実施)</p>							
事業の効果	【効果】 北栄スポーツクラブを指定管理者として、施設の管理と事業の実施を一括して行うことにより、施設の効率的な運用と事業の効果的な実施が期待できる。							
具体的な取り組み	① 北栄スポーツクラブ活動 ○ジュニアの部 18団体 別紙「①平成25年度ジュニアクラブ活動状況」参照 ○成人の部 59団体 別紙「②成人の部」参照 ② 主な社会体育事業の実施 別紙「③平成25年度北栄スポーツクラブ各種大会開催状況」参照 《実施中》 ○実施済大会(平成26年1月6日現在) 北条地区春季野球大会、大栄ナイター野球リーグ、北条ナイター野球リーグ、夏季グラウンド・ゴルフ大会、県シニア軟式野球交流大会、北栄町ゴルフ大会、東伯郡民体育大会、北条地区夏季野球大会、親子水泳教室、ナイトウオークin北栄、自然体験セミナーin隠岐、北栄町ソフトボール大会、カヌー教室、中部地区駅伝競走大会、北栄町町民運動会、秋季野球大会、米子・鳥取間駅伝競走大会、北栄町駅伝競走大会、北条地区女子バレーボール大会、大栄地区バレーボール大会、北栄町剣道大会、北栄町バドミントン大会、北栄町バットゲームスター大会、元旦マラソン&ウオーキング大会 ③ 町内体育施設の管理 B&G海洋センター、北条体育館、大栄体育館、大誠体育館、勤労者体育センター、北条ふれあい会館、大栄ふれあい会館、北条野球場、大栄野球場、北条運動場、大栄運動場、北条多目的広場							
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28
事業費	決算額(千円)		34,968	34,132				
	予算額(千円)		36,149	35,195	37,287			
	主な予算科目		委託料	委託料	委託料			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	
※教育委員 記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0
		成果・効果						
	課題							
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	北栄スポーツクラブを指定管理者として町内体育施設の管理、主な社会体育事業の実施を委託し、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため、「だれもがいつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツを推進した。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	37,287 34,132	今年度 決算見込額	36,161	差引	1,126 34,132
		【説明】施設管理費などの実績による減						
	成果・効果	平成25年度からソフトボール大会で北栄町全体としての開催を実現した。町全体で開催していない大会はあと残すところ、バレーボール大会のみとなり、来年度の町全体での開催に向けて大会要項の調整中である。現在は、大栄大会・北条大会を別々に開催しているが是非、北栄町全域での開催を実現し						
課題	スポーツ人口の拡大のために、町民大会の参加人数をさらに増やすことが必要である。							
改善方針	年間総合得点表彰制度(年間グランプリ表彰)を導入し、町民大会の参加者数増のきっかけとする。							
内部評価	評価	C	【意見等】住民が様々な形でスポーツに関わり、健康の維持につながるよう事業を整理し体系化した上で、効果的なPRを行い、認知度あげていく取組みが必要。町民運動会について、改善を継続的に続ける。					

①平成25年度ジュニアクラブ活動状況

団体名	活動日	時間	活動場所など	登録人数	指導者人数
北条剣道	月・水・土曜日	19:00～20:30	北条ふれあい会館	13	8
北条野球	火・木曜日	17:00～19:00	北条運動場(4月～11月・3月)	21	10
			北条体育館(土曜日の雨天時と12月～2月土曜日)		
	土曜日	13:00～17:00	北条小学校体育館(12月～2月火曜日)		
北条卓球	月・水曜日 土曜日	17:30～19:30 9:00～12:00	北条小学校体育館	8	4
北条バレーボール	月・木曜日 土曜日	17:30～20:00 13:00～17:00	海洋センター・アリーナ	10	4
北条ミニバスケットボール	火・水・金曜日 土曜日	17:30～20:00 9:00～12:00	北条体育館	27	5
北条バドミントン	月・木曜日	19:00～20:30	北条体育館	25	4
北条サッカー	月・木曜日	18:00～21:00	北条運動場(月・土曜日)	36	5
			北条小学校校庭(木曜日)		
	土曜日	8:30～13:00	北条小学校体育館(月・木曜日雨天時)		
大柴剣道	月・水・土曜日	18:30～20:30	大柴武道館	4	10
大柴サッカー (おだいはFC)	月・木曜日	17:30～19:00	大柴小学校グラウンド	19	10
	水曜日(第2・第4)	18:00～19:00	お台場公園多目的広場(土曜日)		
	土曜日	9:00～11:30	大誠体育館(第2・第4水曜日)		
			勤労者体育センター(月・木・土曜日雨天時)		
大柴バドミントン	月・木曜日	18:30～20:00	大柴中学校体育館(月曜日) 大柴体育館(木曜日)	35	8
大柴バレーボール	火・木・土曜日	17:30～20:00	大柴小学校体育館	9	6
大柴ミニバスケットボール	月・水曜日	18:00～20:00	大柴小学校体育館(月・水曜日、金曜日11月～2月)	16	4
	金曜日	19:00～21:00	大柴中学校体育館(金曜日4月～10月・3月)		
	水・金曜日(4月～10月・3月)	16:00～19:00	大柴運動場		
大柴野球	土曜日	13:30～18:00	勤労者体育センター(土曜日雨天時)	22	7
	日曜日(4月～10月・3月)	8:30～12:00	大柴中学校体育館(水曜日10月～3月、金曜日11月～2月18:30～20:30)		
大柴卓球	火・金曜日	17:30～20:00	大柴体育館	16	2
水泳	月・木曜日(6月～9月)	18:30～20:00	海洋センター・プール(6月～9月)	26	7
	木曜日(10月～5月)	18:30～20:00	海洋センター・アリーナ(プール閉館時)		
柔道	月・木曜日	18:30～20:30	大柴武道館	15	7
陸上	水曜日 金曜日	16:00～18:00 17:00～18:30	大柴小学校グラウンド (雨天時:大柴小学校体育館)	28	3
ドッジボール (くろぼくガッツ)	火・木曜日	18:00～20:00	勤労者体育センター(火曜日)	21	6
	土曜日	8:50～12:00	大誠体育館(木曜日) 大柴小学校体育館(土曜日)		
合計				351	110

②成人の部

NO. 1

部 名	活 動 日 時	場 所	人 数
バスケットボール部	毎週 金 20:00~22:00	北条中学校体育館	22
北条バレーボール部	毎週 火・金 20:00~22:00	北条体育館	35
北条バドミントン部	毎週 月・木 20:00~22:00	北条体育館	
水 泳 部	毎週 月・木 (5~9月) 19:00~20:30	海洋センター・プール	5
北条サッカー部	毎週 火 (3~12月) 20:00~22:00	お台場多目的広場	22
	毎週 火 (1・2月) 20:00~22:00	北条中学校	
北条剣道部	毎週 月 20:00~22:00	北条ふれあい会館	
北条卓球部	毎週 火・水・金 19:30~21:30	北条小学校体育館	17
北条グラウンドゴルフ部	毎週 木・木・土(4~8月) 6:30~ 8:30	グリーンランドほうき	56
	(9・10・11・12・3月) 13:30~15:30		
北条ゲートボール部	毎週 火・木・土 13:30~15:30	希望の館	1
北条ソフトボール部	随 時	北条運動場	12
陸 上 部	随 時	北条中学校グラウンド	1
北条軟式野球部	随 時	北条野球場	47
銃 剣 道 部	随 時	各	自
ゴ ル フ 部	随 時	各	1
綱 引 き 部	随 時	各	自
大栄バレーボール部	毎週 火 20:00~22:00	大栄中学校体育館	21
	毎週 火・金 20:50~21:50	大栄体育館	
大栄バドミントンクラブ	毎週 月・木 20:00~22:00	大栄体育館	6
テ ニ ス 部	毎週 木 (4~10月) 20:00~22:00	お台場テニスコート	2
	毎週 木 (11~3月) 20:00~22:00	大栄中学校体育館	
柔 道 部	毎週 月・木 18:30~20:30	大栄武道館	
ソフトテニス部	毎週 水・土 14:00~17:00	大栄テニスコート	
大栄軟式野球部	随 時	大栄野球場	
大栄サッカー部	随 時	お台場多目的広場	
大栄剣道部	随 時	大栄武道館	11
大栄卓球部	随 時	大栄体育館	
大栄ソフトボール部	随 時	大栄野球場	
大栄ゲートボール部	随 時	社会福祉センターグラウンド	
駅 伝 部	随 時	各	自

クラブ名	種 目	活 動 日 時	場 所	人 数
アカシヤ	インディアカ	毎週 木 20:00~21:00	海洋センター	2
くるりん	新 体 操	毎週 日 17:00~18:00	海洋センター	18
ヨーガ	ヨーガ	随 時	海洋センター	
ひまわり	エアロビック	随 時	北条ふれあい会館	
バウンドテニス	バウンドテニス	毎週 水・日 19:30~21:30	海洋センター	6
フルーツ	バウンスポール	毎週 月・金 14:00~16:00	海洋センター	12
うさぴょん	トランポリン	毎週 日 19:30~21:30	海洋センター	18
		毎月第2土曜日 13:00~16:00		
		毎月第4日曜日 9:30~12:30		
コスモス	ソフトバレー	毎週 月・金 20:00~22:00	海洋センター	26
ナデシコ	ソフトバレー	毎週 水 20:00~22:00	海洋センター	13
ト ト ロ	バドミントン	毎週 土 19:30~22:00	北条体育館	20
		毎週 月・木 20:00~22:00		
さつきクラブ	バウンスポール	毎週 土 19:30~21:30	海洋センター	3
ビーチバレー	ビーチバレー	毎週 月・木 14:00~16:00	海洋センター	14
悠々クラブ	太 極 拳	毎週 水 19:30~21:30	北条ふれあい会館	10
		毎週 土 14:00~16:00		
杏仁クラブ	太 極 拳	第1、第2、第3金 19:30~21:30	北条ふれあい会館	3
ペタンク	ペタンク	毎週 土 13:30~14:30	海洋センター	8
北条太極拳	太 極 拳	随 時	海洋センター	
北条三浦会	踊 り	随 時	北条ふれあい会館	3
大栄太極拳	太 極 拳	毎週 水 20:00~21:30	勤労者体育センター	18
大栄チェリーズ	バウンドテニス	毎週 水・日 19:00~22:00	大栄ふれあい会館	8
ピンポン教室	ピンポン	毎週 金 19:30~21:30	大栄体育館	7
コスモス	バドミントン	毎週 土 10:00~12:00	大栄体育館	7
ヤマケنز	バスケットボー	毎週 月 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	4
マリーシックス	バレーボール	毎週 木 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	10
役場バドミントン	バドミントン	毎週 火 17:30~19:30	大栄体育館	
アスリートスマッシュ	バドミントン	毎週 火・金 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	18
大栄羽球	バドミントン	毎週 月・水・木・土 18:30~21:30	大栄体育館	6
		毎週 火・金 19:30~21:30	大誠体育館	
ふれあいバドミントン	バドミントン	毎週 日・火 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	
F O R U M	ソフトバレー	毎週 土 20:00~22:00	大栄ふれあい会館	10
A B Cミラン	フットサル	毎週 金 20:00~22:00	勤労者体育センター	5
居合道部	居 合 道	毎週 日 9:00~12:00	海洋センター	8
パットクラブ	パットゲームスター	毎週 金 9:00~11:00	海洋センター	2
ボウリング部	ボウリング	随 時	各 自	

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	37
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	すいか・ながいも健康マラソン大会の実施						今年のごと	チラン等						
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町					その他共通ビジョン項目							
	具体的な目標	4 各種スポーツ大会の開催												
事業の目的・概要	<p>【目的】 「名探偵コナンに会える」北栄町で、全国に名を誇る大栗すいか・砂丘ながいも畑の中を楽しく走り、健康・体づくりを推進し、さらに、環境にやさしい風車や白砂青松の砂丘地など、本町の文化・産業を全国に広く発信しながら、魅力あるふるさとづくりを推進する。</p> <p>【概要】 お台場公園多目的広場を発着点として、3km、5km、10kmの各コースで実施。参加者には、大会オリジナルTシャツ、すいか食べ放題、ながいもトロロ汁を準備し、本町の文化・産業を知っていた</p>													
事業の効果	<p>【効果】 マラソン大会を開催することにより、健康・体づくりを推進しながら、北栄町を広く全国に発信し、本町の文化・産業の発展に資する。</p>													
具体的な取り組み	<p>第26回大会 平成25年7月7日(日)開催 お台場公園多目的広場を主会場として、3km、5km、10kmの3コースで実施する。</p>													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位													
事業費			H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	決算額(千円)		15,760		14,904									
	予算額(千円)		16,667		15,716		17,079							
	主な予算科目		需用費 報償費 委託料		需用費 報償費 委託料		需用費 報償費 委託料							
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額		差引	0【説明】 0	
成果・効果								
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	平成25年度には26回を数え、北栄町のマラソン大会として、広く認知していただいている。 平成25年度参加申込者数 5,079人						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位		人				
		参加申込者数		5,079				
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	16,932 14,903	今年度 決算見込額	14,674	差引	2,258【説明】入札請負差額などによる減 14,903
成果・効果	広く全国から毎年、募集定員を上回る参加をいただいております。本町の文化・産業を全国に広く発信しながら、魅力あるふるさとづくりに寄与しています。							
課題	7月の暑い時期の開催であるので、熱中症対策のさらなる強化、また、多くの参加者に対応するための会場アクセスの改善が必要である。							
改善方針	次回大会では、熱中症対策として給水車増車、ミスト発生装置設置などの熱中症対策、また、シャトルバス増車などの会場アクセス改善などの関係者からの意見要望に対する改善策の実施を図る。							
内部評価	評価	【意見等】	参加人数増への対応、熱中症への対策など、継続的に課題に対して検討し、見直していくことが大切。					
	B							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	38
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	東伯郡民体育大会主会場地に伴う取り組み強化(練習環境整備等)							今年のごと	チラシ等					
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目						
	具体的な目標	4 各種スポーツ大会の開催												
事業の目的・概要	<p>【目的】 郡民体育大会主会場地としての取り組みを進めることにより、町民の運動に対する意識を向上させ、町が進める「健康なまちづくり」の実現に資する。</p> <p>【概要】 郡民体育大会が本町を主会場地として開催されることを好機ととらえ、男女総合優勝を目指して対策を強化する。</p>													
事業の効果	<p>【効果】 町民の運動に対する意識の向上 競技力の向上</p>													
具体的な取り組み	<p>スポーツクラブを中心に次の取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結団式の開催。 ・強化練習のための施設使用料免除期間の早期開始。 ・練習用消耗品の支給等。 													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位													
	男女総合優勝													
	男子	1位												
女子	1位													
事業費									H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)										140			
	予算額(千円)										187			
主な予算科目										(町予算) テント等リース料				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
						0	
	成果・効果						
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	結団式:5/26開催 競技関係者約90人の参加 開会式:7/14 出場選手団:1,073人 結果:男子2位、女子3位					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	187 0	今年度 決算見込額	140	差引
						47	【説明】テント等リース料
	成果・効果	運動に対する意識の向上。 競技力の向上。 新たな出場選手の開拓。					
	課題	全種目出場による参加点の獲得。					
改善方針	スポーツ人口の拡大と潜在的な運動・競技経験者の顕在化のため、周知広報と選手確保に努める。						
内部評価	評価	【意見等】	1位ではなかったが、参加人数、エントリー種目について検討し、成績も僅差だった。本年の取組みを継続することで、改善につなげていく。				
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	40
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	民芸実習館活用講座							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	5 文化・体育施設の充実及び有効活用							
事業の目的・概要	<p>【目的】 木工・陶芸・油絵・水墨画等の製作の場となる民芸実習館の活用と維持管理 町民の文化・芸術活動の推進と学習機会の提供</p> <p>【概要】 教室の活動及び公民館講座を開催し、施設の活用と生涯学習の活動の場の提供</p>								
事業の効果	<p>【効果】 町民の文化・芸術活動の機会となり、地域住民の生涯学習の場となっており、施設活用にもつながっている。</p>								
具体的な取り組み	<p>① はじめての陶芸教室・・・全町民に募集し、1回10名程度で実施する。 講師に謝金あり</p> <p>② 木工教室・・・全町民に募集をし、5名程度で実施する。 講師謝金あり 後にはサークル化する。</p> <p>③ 絵画教室・・・全町民に募集をし、随時教室生受け入れる。後には、サークル化する。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25				
	はじめての陶芸教室参加者		0	3回延21名	1回10名				
	はじめての陶芸教室中級講座		0	0	1回10名				
	木工教室参加者		0	0	各回5名程度				
	絵画教室参加者		0	0	10名程度				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
	主な予算科目								
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況							
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位							
		はじめての陶芸教室参加者							
		はじめての陶芸教室中級講座							
		木工教室参加者							
		絵画教室参加者							
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0		
成果・効果									
課題									
改善方針									
内部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	民芸実習館の木工機械や施設を整備することにより、絵画教室や木工教室を実施し、講座からサークル化し、当初の目的である、町民の文化・芸術活動の推進を図ることができた。また、継続的な施設の活用へと繋げることができた。								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H23	H24	H25				
		はじめての陶芸教室参加者		0	3回延21名	1回延10名				
		はじめての陶芸教室中級講座		0	0	2回延19名				
		木工教室回数・参加者		0	0	2回延10名				
		絵画教室回数・参加者		0	0	2回延17名				
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	240 204	今年度 決算見込額	240	差引	0	H25 204	絵画教室・木工教室開設講座	
成果・効果	<p>① 陶芸・・・講座の開設を継続して実施し、陶芸に興味のある人を増やすことができた。</p> <p>② 木工・・・施設の機械の整備をし、施設の活用につなげた。また、木工に慣れ親しみ木工人口を増やした。</p> <p>③ 絵画・・・絵画に興味のある人に声掛けし、文化芸術に親しむ機会の提供ができ、サークル化し、施設の活用結びつけた。</p>									
課題	<p>① 陶芸・・・釜の管理指導者がなく、外部に委ねている為サークル化が課題である。</p> <p>② 木工・・・1回に5名程度しか利用できない為、教室生に限度がある</p> <p>③ 絵画・・・教室生の増加</p>									
改善方針	<p>① 陶芸・・・釜の管理指導者の養成</p> <p>② 木工・・・随時募集</p> <p>③ 絵画・・・随時募集</p>									
内部評価	評価	【意見等】	要望のあった教室を立ち上げ、サークル化まで到達したことは評価できる。 施設・設備を改善し、全町民に教室生の募集をかけ、講座を教室として立ち上げることができた。							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	35
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	訪問型ニュースポーツ体験事業							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町							P29	有 21
	具体的な目標	6 地域住民の健康増進							その他共通ビジョン項目	
事業の目的・概要	<p>【目的】 従来の「来場型」事業に参加するまでの積極性はなくても、「身近な場所で気軽にできるなら、やってみよう」という参加者層を取り込むことにより、気軽に参加できる生涯スポーツを推進する。</p> <p>【概要】 自治会公民館など参加者の希望する身近な場所に町スポーツ推進委員が訪問し、参加者の希望に応じたニュースポーツ種目を指導する。</p>									
事業の効果	<p>【効果】 気軽にスポーツに親しむ機会を提供し、新たな事業対象者を取り込むことにより、生涯スポーツ人口の裾野を広げていく。</p>									
具体的な取り組み	<p>小学校親子会、自治会のいきいきサロンなどを対象とし、町スポーツ推進委員がニュースポーツ、体操、レクリエーションなどの体験・指導を行う。</p> <p>平成24年度実績、16回。</p>									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		回							
	実施回数		16 超							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
	決算額(千円)		43	6						
	予算額(千円)		43	15	15					
	主な予算科目		消耗品費	消耗品費	消耗品費					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	利用者の大部分は、小学校親子会であり、今後、よりいっそう利用者層を広げていくためにも、本事業について、複数回にわたり町広報に掲載する等して、町民の方に本事業を周知していく必要がある。		
		C	C							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
		C	B							
※評価委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		回							
		実施回数(9月末現在)		13							
		事業費(千円)	今年度予算額	15	今年度		15	差引	0	【説明】ラインテープほか事業用消耗品	6
	成果・効果	住民に身近な機会、場所でニュースポーツを体験していただくことができる。 スポーツ推進委員の活動が住民に認知される。									
課題	平日の開催や、指導依頼が集中する時期の場合、訪問する委員の確保が難しい。										
改善方針											
外部評価	予算編成に対する意見										

(3) 最終評価

事務局	事業実績	小学校親子会、自治会等の求めに応じてスポーツ推進委員を派遣し、ニュースポーツの指導普及に努めた。									
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		回							
		実施回数		19							
		事業費(千円)	今年度予算額	15	今年度		15	差引	0	【説明】ラインテープほか事業用消耗品	6
	成果・効果	住民に身近な機会、場所でニュースポーツを体験していただくことができた。 スポーツ推進委員の活動が住民に認知された。 自治会運動会、生き生きサロンでの利用が広がった。									
課題	平日の開催や、指導依頼が集中する時期の場合、訪問する委員の確保が難しい。										
改善方針	派遣が特定の委員に偏らないよう、委員相互の協力態勢の強化に努める。										
内部評価	評価	A	【意見等】町報掲載のほか、生涯学習出前講座のメニューの一つに掲げ、周知に努めている。								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	36
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	ウォーキングのまち北栄町推進事業							今年のごと	チラン等				
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						P29	無				
	具体的な目標	6 地域住民の健康増進						2-4	6-5				
事業の目的・概要	<p>【目的】 年齢、体力にかかわらず気軽に取り組み、有酸素運動で心肺機能、体を鍛えられるウォーキングにより運動の裾野を拡大する。</p> <p>【概要】 北栄町の恵まれた自然環境、文化遺産をテーマに年間を通じてウォーキング大会を実施する。</p>												
事業の効果	<p>【効果】 ウォーキングの推進により、日頃の運動不足を解消し基礎体力をつけ、肥満や生活習慣病を防ぐ。</p>												
具体的な取り組み	<p>年4回、テーマに沿ったコースを設定して実施。</p> <p>1 日本海日の出ウォーク(日の出を見ながら海岸沿いを歩く。)</p> <p>2 歩いて見て飲んでわくわくウォーク(北条ワイン貯蔵庫の見学など)</p> <p>3 国史跡由良台場築造150年事業協賛 幕末の歴史探訪ウォーク(由良台場、史跡の見学など)</p> <p>4 第1回ほくえいサザンクロスウォーク(東西約5キロと南北約18キロの2コースを設定)</p>												
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位	人											
	参加人数(延べ)	150											
事業費		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	決算額(千円)	143		76									
	予算額(千円)	167		117		135							
	主な予算科目	需用費 報償費		報償費 需用費		需用費 報償費							
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	可能であれば歴史探訪ウォークと事業を一本化してはどうか。					
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	歴史探訪ウォークの目的に沿ったテーマとコースをとり入れ、事実上、一本化している。					
		B	C										
※評価委員 記入欄 事業メモ													

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		人					
		参加者数(延べ)		55(9/15現在)					
		事業費(千円)	今年度予算額	135	今年度	差引		135【説明】	
	成果・効果	年4回計画のうち、9月15日現在、当初計画の通り2回実施 第1回 7月14日実施 日本海日の出ウオーク(座禅体験付き) 参加者数28人 第2回 9月15日実施 歩いて見て飲んでわくわくウオーク(北条ワイン試飲付き) 参加者数23人							
課題									
改善方針									
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	当初計画の通り、年4回実施 第1回 7月14日実施 日本海日の出ウオーク(座禅体験付き) 参加者数28人 第2回 9月15日実施 歩いて見て飲んでわくわくウオーク(北条ワイン試飲付き) 参加者数23人 第3回 10月20日実施 幕末の郷土探訪ウオーク(国史跡由良台場築造150年事業協賛) 参加者数26人 第4回 11月17日実施 第1回ほくえいサザンクロスウオーク(ウォーキング立県19のまちを歩こう事業認定大会) 南北踏破ロングコース、東西川風コース 参加者数42人								
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		人						
		参加者数		延べ119人						
		事業費(千円)	今年度予算額	142	今年度	差引		8【説明】事業実施内容(講師の有無)		
	成果・効果	北栄町の恵まれた自然環境、文化遺産をテーマに年間を通じてウォーキング大会を実施し、ウォーキングによるまちづくりを推進した。								
課題	町関係団体の実施する他のウォーキング大会との内容的な重複が見られる。 困難な部分もあるが、他の大きな事業と開催期日が重なったり、連日となることがある。									
改善方針	次年度は、町関係団体の実施する他のウォーキング大会との調整を行い、同時開催による事業の一本化を図り、効果的な事業運営を図る。									
内部評価	評価	【意見等】参加人数を1回あたり40人程度となる工夫が必要。								
	D									

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	42
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	公民館講座の充実						今年のごと	チラン等	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 公民館活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 幅広い年代に多様な学習機会を提供するという公民館の役割を果たすため、多様な講座を開設し、公民館に足を運ぶきっかけになるよう、学習機会を提供する。</p> <p>【概要】 青少年講座・シニアクラブ・成人対象講座・自治会生涯学習部長研修会など年代・目的に合わせた講座を開設し、年間計画を立案し実施する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 *幅広い年代の集う公民館として学習機会を提供する。 *中央公民館としての責務を遂行するため、地域活動の中で自治会の果たす役割について研修を行い、自治会の公民館活動を支援するために中央公民館が情報提供や相談の機能を発揮する機会となる。</p>								
具体的な取り組み	<p>① シニアクラブ・・・開講式・総合学習8回・コース別学習10回・屋外研修・スポーツ交流会・閉講式を実施</p> <p>② 成人対象講座・・・トールペイント講座</p> <p>③ 自治会生涯学習部長研修会・・・6/3に実施・翌年3/2に実施予定</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25				
	シニアクラブ会員数		158	148	153				
	成人対象講座参加延人数								
	自治会生涯学習部長研修会								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)								
	予算額(千円)								
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度						
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 0	
	成果・効果						
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	シニアクラブ・成人対象講座・自治会生涯学習部長研修会などを実施し、幅広い年代に多様な学習機会を提供するという公民館の役割を果たすことができた。					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位	H23	H24	H25		
		シニアクラブ会員数	158	148	153		
		成人対象講座参加延人数	着付け教室 2回延5名	アロマココロとカラダ教室 3回延64名	トールペイント2 回開催 18名参加		
	自治会生涯学習部長研修会参加者数	31自治会38名	27自治会30名	29自治会41名			
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	776	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 776	
成果・効果	幅広い年代に多様な学習機会を提供し、公民館の利用活用のきっかけとなった。						
課題	内容によっては、男性の参加が少なく、成人講座内容を精査して実施する必要がある。予算の範囲内で充実した内容が必要である。即サークルとして立ち上げることは難しい。						
改善方針	シニア・12月にアンケートを実施し会員の要望を考慮した内容で実施する。 講座・事業内容に実践的な講座を計画し、地域活動へとつなげていけるようにつなげづくりとする。						
内部評価	評価	【意見等】	要望に対してだけでなく、課題に対して取り組みを具体的に進めること				
	C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	37
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	北栄ゆら由良 川くだり						今年のごと P31	チラン等 無	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 公民館活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 名探偵コナンにあえる町北栄町と由良川の素晴らしさ、地域活動の大切さを身近に感じる</p> <p>【概要】 人と人との繋がりとおふれあいを深めるとともに地域の活性化を促進する。</p>								
事業の効果	【効果】 河川環境保護・地域の仲間づくりによる地域活性化の促進する。								
具体的な取り組み	平成元年度に旧大栄町30周年記念事業として開催。平成15年に15回大会で幕を閉じる。平成18年度に北栄町事業として再開し、平成20年度に実行委員会を組織し、町と教育委員会で共催。イカダ作り、大会参加、オールと漕ぎ、ともに汗を流すことにより、人間関係が深まり、地域あるいは職場に活力が生まれる。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23	H24	H25				
	参加チーム数(イカダ)		28	15					
		参加チーム数(ボート)H24~		19					
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		744	524					
	予算額(千円)		870	870	730				
		町補助金		町補助金	町補助金				
主な予算科目									
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	(H23)毎年参加チームが微減している企画の根本的なてこ入れが必要である。 (H24)沿道地域の参加者が少なく、コースのあり方など検討が必要である。	
		C	C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	(H23)町の事業仕訳では、「改善して継続」と判断された。教育的な目的と他の要素を組み込んだ内容を実行委員会で検討する。 (H24)大会参加者アンケートや意見交換会での意見を踏まえ、イカダを通じた地域活性化をテーマに実行委員会で協議する。	
		D	D						
※評価委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了						
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H24	H25				
		参加チーム数(イカダ)		15	22				
		参加チーム数(ボート)H24~		19	5				
	事業費(千円)		今年度予算額	730	今年度決算見込額	730	差引	0	【説明】町内事業者による寄付金
		前年度決算額	524				524		
成果・効果	実行委員会で運営を進める中、アンケート・意見交換会の内容反映に極力努力し、参加しやすさに取り組んだ。結果、参加増となった。								
課題	参加数増になったものの、微増である。 参加への経費負担への配慮として、参加賞及び各賞のあり方を変更したが、参加数が増えた場合対応できるか。(本年度スポンサー費135,000円(昨年度比較35,000円増)) イカダ作成への経費負担、労力負担が参加において大きな課題となっている。								
改善方針	x								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	イカダの部参加チーム数が昨年15チームから22チームと増加した。								
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位		H24	H25					
		参加チーム数(イカダ)		15	22					
		参加チーム数(ボート)H24~		19	5					
	事業費(千円)		今年度予算額	624	今年度決算見込額	601	差引	23	【説明】	
		前年度決算額	524				524			
成果・効果	実行委員会で運営を進める中、アンケート・意見交換会の内容を事業に反映させ、参加しやすさ改善していった。その結果、参加増となった。									
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①参加数増になったものの、微増である。 ②参加への経費負担への配慮として、参加賞及び各賞のあり方を変更したが、参加数が増えた場合対応できるか。(本年度スポンサー費135,000円(昨年度比較35,000円増)) ③イカダ作成への経費負担、労力負担が参加において大きな課題となっている。 ④実行委員会が本来の動きになっていないため、事務局中心の運営になっている。 ⑤一部の盛り上がりとなり、町全体のイベントとなっていない 									
改善方針	イカダ製作に多額の費用が掛かることから、参加チーム数を増やすことは困難。									
内部評価	評価	C								
	【意見等】	イベントの目的に沿った事業の充実を図ること。 実行委員会を機能させること。 以上を踏まえた上で、事業の存続について検討すること。								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	43
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	北栄文芸の編集発刊						今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町					その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 公民館活動の推進						
事業の目的・概要	【目的】 文芸に親しみ文化活動の成果を発表する場として、文芸作品を募集し編集、発刊する							
	【概要】 町民、町内勤務者、出身者を対象として、短歌・川柳・俳句・随筆などの作品を募集し、住民の文芸活動の意欲を高める							
事業の効果	【効果】 小学生から高齢者まで幅広い世代から募集し、文芸活動の意欲を図る。							
具体的な取り組み	町民、町内勤務者、出身者を対象として、短歌・川柳・俳句・随筆などの作品を募集し、文芸誌を発刊。							
指標 (具体的な数値目標)	指標名／単位							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)		768	718				
	予算額(千円)		770	726	725			
主な予算科目		印刷製本費		印刷製本費	印刷製本費			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	投稿者の固定化の改善が数年間見られない。投稿者を増やす意見はあるのか。
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	作品募集はおこなっているが、投稿者が少ない。
※教育委員 記入欄 事業メモ								

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A =目標を大幅に達成できた	D =目標を一部達成できなかった
B =目標をいくらか超えて達成できた	E =ほぼ全く達成できなかった
C =目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業 進捗	事業 完了 状況	完了済み						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	725 718	今年度 決算見込額	691	差引	34 718	【説明】
	成果・ 効果								
課題									
改善 方針									
内部評価	予算編成に 対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業 実績	今年度、4回文芸誌を発行した。							
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	725 718	今年度 決算見込額	691	差引	34 718	【説明】
	成果・ 効果	随筆、俳句など文芸作品の発表の場となっている。一定の作品投稿のもと、町内外の施設等に北栄文芸を配布した。							
課題	毎回、一定の作品投稿はあるが、投稿者がほぼ固定されているため、新規投稿者の作品募集が必要。								
改善 方針	日本海新聞の文芸欄に投稿されているが、北栄文芸に投稿されていらずやらない方があり、投稿していただけるよう呼びかける。								
内部評価	評価	【意見等】 投稿者を増やす根本的な手段を工夫すること。編集委員の増員を図ること。							
	D								

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	44
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	美術展の開催							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	7 公民館活動の推進								
事業の目的・概要	<p>【目的】 町民等から多くの優れた美術作品を募り、展示することによって、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、美術・文化の振興に寄与する。</p> <p>【概要】 日本画、洋画等11部門で作品を募集し、中から美術展賞、奨励賞を選び表彰する。審査員、招待作家、無鑑査作家の作品も展示する。</p>									
事業の効果	【効果】 美術展および公民館まつりとも町民に根付いている。									
具体的な取り組み	日本画、洋画等11部門で作品を募集し、中から美術展賞、奨励賞を選び表彰する。審査員、招待作家、無鑑査作家の作品も展示する。									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23		H24					
	出展数		102		139					
事業費(公民館まつり含む)			H23		H24		H25		H26	
	決算額(千円)		1,414		1,443					
	予算額(千円)		1,501		1,641		1,615			
主な予算科目		報償費、印刷製本費、委託料		報償費、印刷製本費、委託料		報償費、印刷製本費、委託料				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	実施への努力を評価したい。入場者及び出品数が増加している。		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	引き続き関係各方面に出展を呼びかける。		
※教育委員記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	完了済み						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
		事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 0			
	成果・効果								
課題									
改善方針									
内部評価	予算編成に 対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	11部門で出展数は154点でそれを多くの住民に鑑賞していただくことができた。なお、来館者数は811人。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		出展数	H23	H24	H25			
			102	139	154			
	事業費(公民館 まつり含む)(千 円)	今年度予算額 前年度決算額	1,615 1,443	今年度 決算見込額	差引	1,615【説明】 1,443		
成果・効果	美術展への出展は単に作品を作成することにとどまらず、出展目標を掲げながら実力向上に励み、製作意欲が増す。 遠方に出かけなくても県下でも格調高く評価されている町美術展において県展無鑑査作家等の優秀な作品を鑑賞することができる。							
課題	公民館まつりには出展されるが、美術展には出展されない方ある。切り絵、版画、彫刻の出展者が少ない。							
改善方針	広報の工夫をし、出展者・鑑賞者が固定しないよう町外に広く呼びかけていく。 作者が高齢化し、公民館講座・文化教室などで教室生育成の掘り起しが必要である。							
内部評価	評価	【意見等】 全体的に出展数は十分あるが、部門によって出展数に差がある。(切り絵、版画、彫刻の掘り起しが必要) 若年層の参加を増やす取り組みを検討すること。						
	B							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	45
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	公民館まつりの開催						今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 公民館活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 公民館活動と地域活動の輪をひろげていくため、相互の交流を図り、豊かな人間関係の形成と、学習・文化活動を深めていくことを目的とする。</p> <p>【概要】 公民館及び自治会公民館等で活動するあらゆる個人・クラブ・団体が日頃の成果を発表する</p>								
事業の効果	<p>【効果】 実行委員会で自主的に運営されており、地域住民に事業が定着しており、個人・クラブ・団体の日頃の成果の場となっている。</p>								
具体的な取り組み	公民館及び自治会公民館等で活動するあらゆる個人・クラブ・団体が日頃の成果を発表する								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23		H24				
	出展数		298		306				
	演目数		50		57				
事業費(美術含む)			H23		H24		H25	H26	
	決算額(千円)		1,414		1,443				
	予算額(千円)		1,501		1,641		1,615		
主な予算科目		報償費、印刷製本費、委託料		報償費、印刷製本費、委託料		報償費、印刷製本費、委託料			
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	一部の人のまつりとなっている。イベントの固定となっているひとつである。作品展、芸能発表、出品、出演者を幅広く求め、楽しみにしている人も多い。	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	関係各方面に出展、出演を呼びかける。	
※教育委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位					
		事業費(千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】
						0	
	成果・効果						
	課題						
改善方針							
内部評価	予算編成に対する意見						

(3) 最終評価

事務局	事業実績	<p>作品展、芸能発表会とも盛大に開催することができた。 作品の展示も来場者が見やすく工夫がされていた。 開会式にも多くの参加者があった。</p>					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位	H23	H24	H25		
		出展数	298	306	354		
		演目数	50	57	54		
		事業費(美術展含む)(千円)	今年度予算額 前年度決算額	1,615 1,443	今年度 決算見込額	差引	1,615 1,443
	【説明】						
成果・効果	<p>実行委員会を主体に事業が進められ、活動の発表と鑑賞を通じて町民が集い、交流をし親睦を深めよりよい地域づくりと生涯学習意欲を進めることができた。 また、自治会単位での参加もあり広がりを見せている。</p>						
課題	<p>出品者・参加者に高齢化が目立つため、教室生・若年層の掘り起し及び様々な分野からの参加が必要である。</p>						
改善方針	<p>実行委員に高齢化がみられるため、運営を継続していくためにも、毎年、少人数ずつ若年化を図っていききたい。</p>						
内部評価	評価	【意見等】 様々な世代からの参加を見据えた取り組みを検討すること。					
	B						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	46
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	文化教室等の成果還元活動推進							今年のごと	チラシ等
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	7 公民館活動の推進							
事業の目的・概要	【目的】 教室活動の拡充や、さらなる活動へチャレンジするため 【概要】 各教室で身につけた学習知識や技術を、講座及び展示・発表等の方法により地域住民に提供する活動を実施するための費用の助成を行う								
事業の効果	【効果】 町内各施設での作品の展示、芸能を披露し、地域住民に潤いを感じてもらい、また、教室生の文化活動意欲を高めていく。								
具体的な取り組み	町内各施設での作品の展示、芸能の披露。								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23		H24				
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		111	114					
	予算額(千円)		120	120	120				
主な予算科目		町補助金	町補助金	町補助金					
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	地域間での工夫が必要である。 この事業に限らず、町全体の中で、合併での一体的な取り組み、PR活動の抜本改革における取り組みを再度見直し・改善する必要がある。	
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
※教育委員 記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額	120	今年度 決算見込額	120	差引	0【説明】
	成果・効果	前年度決算額 114						
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	各教室で身につけた学習知識や技術を、講座及び展示・発表等の方法により地域住民に提供する活動に対し助成を行った。						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額	120	今年度 決算見込額	100	差引	20【説明】
	成果・効果	前年度決算額 114						
課題	各教室で身につけた学習知識や技術を、舞踊、民踊等であれば、老人保健施設で発表、また、ちぎり絵、書道等であれば、金融機関、公民館で展示により意欲的に活動できるよう助成をすることができた。							
改善方針	加入される方がなく、会員が徐々に少なくなっている文化教室がある。趣味を持っている人、持っていない人にかかわらず、家に閉じこもりがちな町民をいかに文化教室へ加入していただけるように中央公民館が手助けが必要である。							
内部評価	評価	【意見等】 若者のグループなど、新しい団体の参加を増やす取り組みを。						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	46
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	文化教室等の成果還元活動推進							今年のごと	チラシ等	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	7 公民館活動の推進								
事業の目的・概要	【目的】 教室活動の拡充や、さらなる活動へチャレンジするため 【概要】 各教室で身につけた学習知識や技術を、講座及び展示・発表等の方法により地域住民に提供する活動を実施するための費用の助成を行う									
事業の効果	【効果】 町内各施設での作品の展示、芸能を披露し、地域住民に潤いを感じてもらい、また、教室生の文化活動意欲を高めていく。									
具体的な取り組み	町内各施設での作品の展示、芸能の披露。									
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位		H23		H24					
事業費			H23		H24		H25		H26	
	決算額(千円)		111		114					
	予算額(千円)		120		120		120			
主な予算科目		町補助金		町補助金		町補助金				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	地域間での工夫が必要である。 この事業に限らず、町全体の中で、合併での一体的な取り組み、PR活動の抜本改革における取り組みを再度見直し・改善する必要がある。		
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28			
※教育委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了					
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額	120	今年度 決算見込額	120	差引	0【説明】
	成果・効果	前年度決算額 114						
	課題							
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	各教室で身につけた学習知識や技術を、講座及び展示・発表等の方法により地域住民に提供する活動に対し助成を行った。						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		事業費 (千円)	今年度予算額	120	今年度 決算見込額	100	差引	20【説明】
	成果・効果	前年度決算額 114						
課題	各教室で身につけた学習知識や技術を、舞踊、民踊等であれば、老人保健施設で発表、また、ちぎり絵、書道等であれば、金融機関、公民館で展示により意欲的に活動できるよう助成をすることができた。							
改善方針	加入される方がなく、会員が徐々に少なくなっている文化教室がある。趣味を持っている人、持っていない人にかかわらず、家に閉じこもりがちな町民をいかに文化教室へ加入していただけるように中央公民館が手助けが必要である。							
内部評価	評価	【意見等】 若者のグループなど、新しい団体の参加を増やす取り組みを。						
	C							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

内部 評価用

整理番号	48
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	指定管理者まちづくりネットによる大栄分館の管理及び各種事業の実施							今年のごと	チラン等					
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目						
	具体的な目標	7 公民館活動の推進												
事業の目的・概要	<p>【目的】 住民参画によって、地域のニーズにこたえるため、中央公民館大栄分館の管理運営及び事業をNPO法人まちづくりネットに委託する。指定管理機関H24～H26</p> <p>【概要】 大栄分館の管理運営業務のほか、子どもほくえい塾、各種講座、講演会、子どもミュージカル等の事業実施</p>													
事業の効果	【効果】 町民ミュージカルなどの新規事業も継続され、積極的に取り組んでいただき、地域の生涯学習の拠点となっている。													
具体的な取り組み	<p>活動計画に沿って事業実施</p> <p>① 子どもほくえい塾</p> <p>② 公民館講座事業・・・まちづくり講演会・環境講演会・料理教室・消費者講座・子ども公民館まつり</p> <p>③ 子どもミュージカル</p>													
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位													
事業費									H23	H24	H25	H26	H27	H28
	決算額(千円)													
	予算額(千円)													
主な予算科目														
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28							
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28							
※教育委員記入欄 事業メモ														

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0【説明】 0		
成果・効果								
課題								
改善方針								
内部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	活動計画に沿って事業実施 ① 子どもほくえい塾 ② 公民館講座事業・・・まちづくり講演会・環境講演会・料理教室・消費者講座・子ども公民館まつり ③ 子どもミュージカル						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費 (千円)		今年度予算額 前年度決算額	11,804 11,575	今年度 決算見込額	11,804	差引	0【説明】 11,575
成果・効果	町民ミュージカルなどの新規事業も継続され、積極的に取り組んでいただき、地域の生涯学習の拠点となっている。							
課題								
改善方針								
内部評価	評価	【意見等】実績を踏まえ、明らかにした上で評価すること。						
	B							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	38
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	図書館まつりの開催						今年のごと P31	チラシ等 無	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 図書館活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 文字・活字文化の日、古典の日、文化の日などを中心に「図書館まつり」を開催し、町民に読書の大切さ、図書館の楽しさを発信する。開館20周年記念事業の一環として開催する。</p> <p>【概要】 講演会、各講座、子ども向けの催し、お薦めの本の展示、ビデオ鑑賞会、ブックリサイクルなど多数の内容を提供し、町民の参加型で開催する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・目標－読書活動推進のため、図書館活動を広く町民に周知する事業に取り組み、来館を促す。 ・効果－多彩な催しを提供することで、図書館を利用したことがない人が来館するきっかけとなったり、図書館活動を知っていただける良い機会となって、以後利用につながる人が多い。</p>								
具体的な取り組み	<p>期間中は講座や子ども向けの催しなど総合的に行い、来館を促す。 特別講座「源氏物語」「福本和夫を識る」「郷土史入門」については、土日開催し、各講座25名程度の参加者を目標とする。また、子ども向けの催し(絵本の読みきかせや工作教室など)についても、25名程度の参加者を目標とする。平日はシネマ上映を予定。各回とも20名程度の参加者を目標とする。なお、期間中はお薦めの本の展示やブックリサイクルを行う。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
	講演会参加者数	25名							
	子ども向けの催し参加者数	25名							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		254	332					
	予算額(千円)		340	310	348				
	主な予算科目		・講師報償費 ・印刷製本費	・講師報償費 ・印刷製本費	・講師報償費 ・印刷製本費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
			C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28		
			C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	10/26(土)から11/3(日)開催予定。初日の26日には、図書館開館20周年記念事業の一つとして「世界ミステリー文庫」開設に合わせ、オープニングセレモニーを開催する。				
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
	事業費(千円)		今年度予算額	348	今年度決算見込額	348	差引	0【説明】
		前年度決算額	332				332	
成果・効果	多彩な催しを提供することで、図書館を利用したことがない人が来館するきっかけとなったり、図書館活動を知っていただける良い機会となって、以後利用につながるが多い。							
課題								
改善方針								
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	図書館開館20周年を記念し、初日のオープニングセレモニーでは、「世界ミステリー文庫」開設とボランティア表彰、20歳の方へのプレゼントのPRなどを行い、期間中はブックリサイクル、各種講座、児童向けのイベントなどを盛大に開催。たくさんの方にご来館いただき、期間中の入館者延総数は2,033人(昨年は2,455人)。						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		各種講座参加者	源氏物語78人	福本和夫23人	郷土史20人	ips細胞20人		
		子ども向けイベント参加者	人形劇等25人	読み聞かせ21人				
	事業費(千円)		今年度予算額	348	今年度決算見込額	336	差引	12【説明】
		前年度決算額	332				332	
成果・効果	多彩な催しを提供することで、図書館を利用したことがない人が来館するきっかけとなったり、図書館活動を知っていただける良い機会となって、以後の利用につながる。							
課題	文字・活字文化の日、古典の日、読書週間期間中を考慮に入れての実施にした。しかし、実施期間が長い感があるので、来年度は短縮する方向にしてはと考える。							
改善方針	来年度は短期間集中型で実施したい。							
内部評価	評価	【意見等】開館20周年に向けて、記念行事を行い、利用促進等を図る。講座については、会場規模の件で場所変更も考慮するのがいいのでは、という意見が出ていたが、図書館資料利用促進につなげるため、図書館で開催の予定。						
		C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	39
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	開館20周年記念事業(図書館コンサート)の開催							今年のしごと	チラシ等	
								P31	無	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町							その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 図書館活動の推進								
事業の目的・概要	【目的】	広い空間と高い天井の館内で、赤ちゃんから高齢者まで幅広い方を対象に開館20周年を記念し、図書館コンサートを年3回開催する。この取り組みにより、利用促進と図書館活動事業の周知を図る。								
	【概要】	大人から子どもまで広く親しまれている「童謡・唱歌」コンサートを開催し、参加したすべての人たちと共に時間を共有し、日本の芸術に触れる。								
事業の効果	【効果】	効果一図書館事業のみに止まらず、生涯学習の中の芸術的な分野を提供することで、図書館利用の促進、資料の活用に期待できる。								
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目「図書館トーク&ギターコンサート」大山町 門脇さんを予定。 ・2回目一町内で活躍している「童謡・唱歌を歌う会」のメンバーによる「童謡・唱歌」コンサート。10～15曲程度を予定し、その中には参加者と一緒に歌う曲も盛り込んでもらう。曲目は未定。童謡・唱歌が誕生した経過等も語ってもらう。館内には「童謡・唱歌」に関する本やその他関連資料を展示し、貸出に供する。 ・3回目一鳥取中央育英高校音楽部による「クリスマスコンサート」。好評につき、恒例行事として数年前から継続。クリスマス曲を中心に、歌や合奏、ハンドベルなどを披露。 									
指標 (具体的な数値目標)	参加者数	各回とも100人								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28		
事業費	決算額(千円)									
	予算額(千円)								80	
	主な予算科目								演奏者謝金	
過去の評価 における課題	外部 評価	23	24	25	26	27	28			
課題に対する 改善状況	内部 評価	23	24	25	26	27	28			
※評価委員 記入欄 事業メモ										

※ 評価確認事項

★評価の観点

① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準	
A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	第1回目「ギターコンサート」を8/16(金)に開催した。 今後の予定としては、第2回「童謡・唱歌を歌う」コンサートを10月に、第3回「クリスマスコンサート」を12月に開催する。				
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		参加者数		55名				
		事業費(千円)		今年度予算額 80,000 前年度決算額 0	今年度 決算見込額 60,000	差引	20,000	【説明】 0
	成果・効果	高い天井、広い空間の中で、ギターという趣のある楽器の生演奏に浸ることで、心安らぐひとときになった。参加者からも好評だった。						
課題	参加の呼びかけ、PRを徹底し、より多くの参加者を募りたい。							
改善方針	「童謡・唱歌を歌う」「クリスマスコンサート」は引き続き継続							
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	3回開催 ・1回目-「ギターコンサート」(大山町 門脇さん) ・2回目-「童謡・唱歌を歌うコンサート」(童謡・唱歌を歌う会) ・3回目-「クリスマスコンサート」(鳥取中央育英高校音楽部)						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位						
		1回目参加人数		55名				
		2回目参加人数		53名				
	3回目参加人数		60名					
事業費(千円)		今年度予算額 80,000 前年度決算額 0	今年度 決算見込額 40,000	差引	40,000	【説明】 0		
成果・効果	生涯学習の中の芸術的な分野を提供することで、新たな図書館利用者の掘り起こしと資料の活用につながる。(各コンサートの関連本の展示など)							
課題	生の芸術に触れる絶好の機会なので、様々な器楽表現を提供する機会としたい。							
改善方針	次年度も3回程度開催予定。参加呼びかけ、PRを徹底し、より多くの参加者を募りたい。							
内部評価	評価	C					(意見等)	

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	40
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	土曜講座						今年のごと	チラシ等	
							P31	無	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 図書館活動の推進							
事業の目的・概要	【目的】	「源氏物語を読む」「郷土史入門」講座を定期的を開催することにより、図書館資料の活用を促進し、読書活動の推進、生涯学習に資する。							
	【概要】	「源氏物語を読む」ー図書館資料を活用しながら、逐語訳で読んでいく。 「郷土史入門」ーテーマにそって講座を開設。							
事業の効果	【効果】	・目標ー読書活動推進のため、図書館活動を広く町民に周知する事業に取り組み、来館を促す。 ・効果ー自ら学ぶ機会を提供し開催することで、参加者の個人学習の意欲をそそり、豊かな人生を育むことで、図書館が生涯学習の拠点となる。また、図書館利用の促進につながる。							
具体的な取り組み	・「源氏物語を読む」・・・1000年という長い歴史を経て今もなお読み継がれている「源氏物語」の時代背景、日本の伝統文化などを講師の説明を交えながら講読する。今年度は第5巻「若紫」。毎月第2・4土曜日に開催。 ・「郷土史入門」・・・①郷土史概説、②日本の文化、日本の歴史、地域史、風土記、社会制度、時代背景など③自然、地理、産業などの内容について、講座を開設する。今年度は年8回開催予定。関連資料の展示								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
	参加者数	各講座とも25名							
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		160	295					
	予算額(千円)		160	333	328				
	主な予算科目		講師報償費	講師報償費	講師報償費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
			C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	広報周知方法の徹底	
			C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了 「源氏物語を読む」…現在、第5巻「若紫」を講読中。 「郷土史入門」…9/21(土)から毎月1回開催予定。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位							
		「源氏」参加者		20~25人					
		事業費 (千円)	今年度予算額	328	今年度 決算見込額	328	差引	0【説明】	
		前年度決算額	295				295		
成果・効果	講座を開催することで、関連した本の貸出・閲覧等につながっている。また、他の分野の本の貸出にもつながっている。								
課題	平成21年からの開講で、今年で5年目。事務局が運営を行ってきたが、徐々に参加者の自主的な運営(参加受付、会場準備、片付けなど)をと思っているが、なかなか実行に移せないでいる。								
改善方針	引き続き継続。自主的な運営に持っていきたい。								
外部評価	予算編成に対する意見								

(3) 最終評価

事務局	事業実績	・源氏物語-毎月第2・4(土)に開催。3月まで継続中。 ・郷土史入門-9月から毎月第3土曜日に開催。3月まで継続中。						
	指標 (具体的な 数値目標) の達成度	指標名/単位						
		「源氏物語」参加者人数		20人~25人				
		「郷土史入門」参加者人数						
		事業費 (千円)	今年度予算額	328	今年度 決算見込額	309	差引	19【説明】
		前年度決算額	295				295	
成果・効果	講座を開催することで、関連した本の貸出・閲覧等につながっている。また、他の分野の本の貸出にもつながっている。							
課題	源氏物語講座は平成21年からの開講で、今年で5年目。事務局が運営を行ってきたが、徐々に参加者の自主的な運営(参加受付、会場準備、片付けなど)に取り組むことが必要。 郷土史入門講座は平成24年からの開講で、2年目。							
改善方針	引き続き継続。							
内部評価	評価	D						
	意見等							

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	41
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	図書館情報システムの活用						今年のごと	チラシ等	
							P31	無	
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町						その他共通ビジョン項目	
	具体的な目標	8 図書館活動の推進							
事業の目的・概要	<p>【目的】 図書館と北条分室、町内小・中学校の図書室とのネットワークの更なる充実を図ると共に、町民の求める資料の迅速な提供と、サービス向上に努める。</p> <p>【概要】 ・学校側が求める資料をシステム上で確認し、学校間相互貸借の円滑な運用を図る。 ・町民求める資料の検索、予約、県内外からの相互貸借等、システムを活用し提供する。</p>								
事業の効果	<p>【効果】 ・学校図書室の求める資料を提供し、学校支援を図る。 ・町民の求める資料の検索、予約、購入、県内外からの相互貸借など、システムを十分活用して、迅速な提供を図る。ホームページから資料の有無、図書館行事、利用状況などを確認できる。</p>								
具体的な取り組み	<p>・学校から町立図書館にシステムを活用して資料を依頼すると、町立図書館に相互貸借依頼が入る。町立図書館は資料を揃え、準備でき次第システム上でお知らせする。学校図書館司書が図書館へ来館し、資料を手渡す。あるいはシャトル便で送る。 ・システムによるスムーズな貸出返却作業、当館の資料検索並びに県内外の資料検索、予約・リクエストの受入など、全ての面で活用。</p>								
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位								
	貸出冊数		91,500冊						
	(一人当たりの貸出冊数)		6冊						
	※全国平均		5.1冊						
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	決算額(千円)		5,980	4,630					
	予算額(千円)		7,050	6,000	6,000				
	主な予算科目		図書購入費	図書購入費	図書購入費				
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28		
			C						
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	図書館システムの更なる活用のPR	
			C						
※評価委員記入欄 事業メモ									

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了	・図書館・北条分室並びに小中学校間の図書館システムを活用して、資料提供や情報を共有する。				
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H24	H25			
		貸出冊数(8月末現在)		40,187	39,612			
		事業費(千円)		今年度予算額 前年度決算額	6,000 4,630	今年度 決算見込額	4,630	差引
	成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室の求める資料を提供し、学校支援を図る。 ・町民の求める資料の検索・予約・購入・県内外からの相互貸借など、システムを活用して、迅速な提供を図る。 						
課題	8月末現在の貸出冊数が、昨年と比較すると525冊の減少となっている。							
改善方針	引き続き継続。貸出冊数増加に向けて、対策を考え利用促進につなげたい。							
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	図書館と北条分室、町内小・中学校の図書室とのネットワークの更なる充実を図ると共に、町民の求める資料の迅速な提供と、サービス向上に努めた。						
	指標 (具体的な数値目標) の達成度	指標名/単位		H24	H25			
		貸出冊数(12月末現在)		70,155	70,219			
		事業費(千円)		今年度予算額 前年度決算額	6,000 4,630	今年度 決算見込額	4,630	差引
	成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室の求める資料を提供し、学校支援を図る。 ・町民の求める資料の検索・予約・購入・県内外からの相互貸借など、システムを活用して、迅速な提供を図る。 						
課題	図書館システムが更新時期にきている。保守も26年度で終了となるため、それに向けて予算化が必要。(バージョンが古くなり、貸出処理などをしている画面がフリーズしたりするので、利用者に迷惑がかかってしまうことがある)							
改善方針	貸出冊数増加に向けて、来館を促すような特集、展示等を考え、利用促進につなげたい。							
内部評価	評価	【意見等】						
		C						

●平成25年度教育行政評価 事業評価シート

外・内部 評価用

整理番号	42
担当課名	生涯学習課

(1) 評価事務事業：当初確認事項

事業名	ビデオ鑑賞会の開催							今年のごと	チラシ等		
教育ビジョン	小項目	6 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町							その他共通ビジョン項目		
	具体的な目標	8 図書館活動の推進									
事業の目的・概要	<p>【目的】 名画に触れることで心を潤し、感動を共有する機会を提供する。また、名作本に関連した映画を上映することで、図書館資料と結びつけ、利用促進を図る。</p> <p>【概要】 子ども向けー毎月最終土曜日に上映。今年度は年間を通して「名探偵コナン」を上映する。大人向けー毎週日曜日に上映。今年度は「家族」をテーマに上映する。</p>										
事業の効果	<p>【効果】 ・上映することで、その映画に関連のある図書を求める利用者がある。利用に結びつく。</p> <p>・町民の教養、文化芸術への関心を高める。</p>										
具体的な取り組み	<p>子ども向けー毎月最終土曜日午後13:30から上映。</p> <p>大人向けー毎週日曜日午後13:30から上映。</p> <p>町報、町放送、ホームページで周知するとともに、毎回上映の際には館内放送でお知らせし、PRにつとめる。</p>										
指標 (具体的な数値目標)	指標名/単位										
	参加者数		各回10人								
事業費			H23	H24	H25	H26	H27	H28			
	決算額(千円)										
	予算額(千円)										
主な予算科目											
過去の評価における課題	外部評価	23	24	25	26	27	28	広報周知の徹底			
			C								
課題に対する改善状況	内部評価	23	24	25	26	27	28	広報周知の徹底			
			C								
※評価委員記入欄 事業メモ											

※ 評価確認事項

★評価の観点	
① 継続・単年	⇒ 「事業費」・「過去の課題」欄等 を参照
② 対象者、参加者	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
③ 参加者の満足度	⇒ 「事業の効果」・「指標」欄 を参照
④ 予算措置	⇒ 「事業費」欄 を参照
⑤ 教育ビジョンへの貢献度	⇒ 「事業の効果」欄 を参照

※ 上記「評価の観点」に基づき、事業評価シートの作成及び評価を行う。

※評価確認事項

(2) 中間評価

★評価の基準

A = 目標を大幅に達成できた	D = 目標を一部達成できなかった
B = 目標をいくらか超えて達成できた	E = ほぼ全く達成できなかった
C = 目標どおり達成できた	

※ 上記「評価の基準」に基づき、事業評価の判定を行う。

事務局	事業進捗	事業完了状況	未完了					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位						
		大人向け 参加者	10~15人					
		子ども向け 参加者	1~5人					
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0	
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 上映することで、その映画に関連のある図書の出借や問い合わせ等があり、利用に結びついている。 町民の教養、文化芸術への関心を高める。 							
課題	大人向けの上映は毎週日曜日。参加者は定着しつつある。しかし、毎月最終土曜日に上映する子ども向けの参加者が少ない。							
改善方針	大人向けの上映は「引き続き継続」、子ども向けの上映は「事業内容を見直し、事業実施を検討」							
外部評価	予算編成に対する意見							

(3) 最終評価

事務局	事業実績	名画に触れることで心を潤し、感動を共有する機会を提供できた。また、名作本に関連した映画を上映することで、図書館資料と結びつけ、利用促進を図った。					
	指標 (具体的な数値目標)の達成度	指標名/単位					
		大人向け 参加者	10~15人				
		子ども向け 参加者	1~5人				
	事業費 (千円)	今年度予算額 前年度決算額	今年度 決算見込額	差引	0	【説明】	0
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 上映することで、その映画に関連のある図書の出借や問い合わせ等があり、利用に結びついている。 町民の教養、文化芸術への関心を高める。 						
課題	大人向けはテーマを決めて毎週日曜日に上映。参加者は定着しつつあるが、子ども向けの参加者が少ないので、PRを徹底することが必要。						
改善方針	由良駅の愛称が「コナン駅」となったことにちなみ、図書館に立ち寄った観光客でも鑑賞できるよう「名探偵コナン」作品を上映する。上映回数や時間等は今後検討していく。						
内部評価	評価	【意見等】 広報周知の徹底					
	D						